



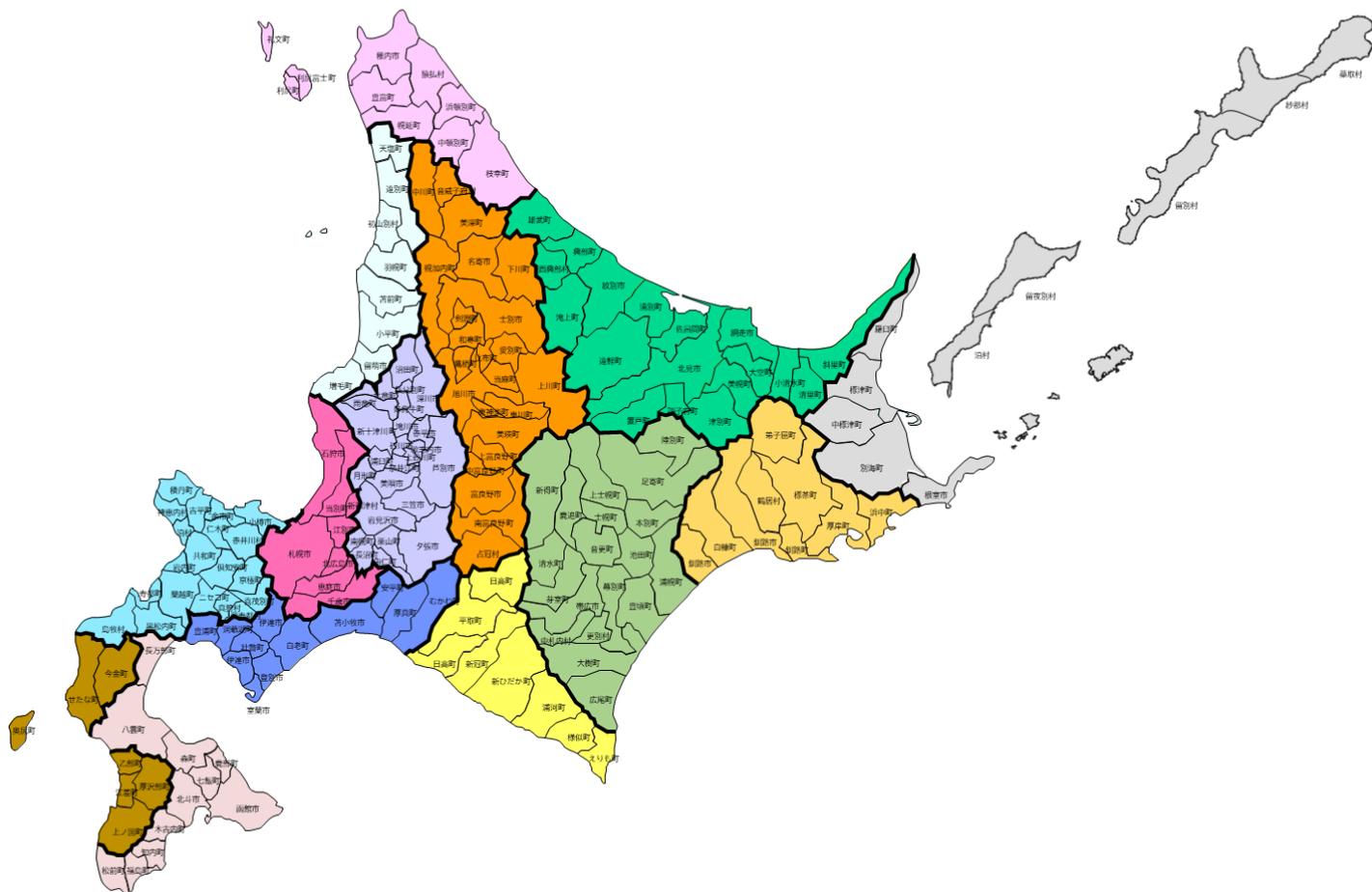
企業の皆様と 共に取り組む プロジェクト

2024

- 企業版ふるさと納税
- 協働
- 遊休施設の利活用



北海道 179 市町村と 14 (総合) 振興局



14(総合)振興局

空知総合振興局

石狩振興局

後志総合振興局

胆振総合振興局

日高振興局

渡島総合振興局

檜山振興局

上川総合振興局

留萌振興局

宗谷総合振興局

オホーツク
総合振興局

十勝総合振興局

釧路総合振興局

根室振興局

CONTENTS

1 ほっかいどう応援団会議とは

2 企業版ふるさと納税制度の概要

3 企業版ふるさと納税の活用事例

3 交流人口・関係人口

- | | | |
|----|-------|--|
| 3 | 室蘭市 | まちの資源を活かし、新たな「ひと」の流れをつくる事業 |
| 4 | 網走市 | デジタルファーストで交流人口を拡大 |
| 4 | 苫小牧市 | 交流人口の増加に向けた「都市再生コンセプトプラン」の実現 |
| 5 | 江別市 | 大学生が地域に出会う「ジモ×ガク」 |
| 5 | 登別市 | 海外との交流の場と機会の拡大 |
| 6 | 新篠津村 | 天文台をキーに交流人口増を！地域を元気にする「空のまち」構想 |
| 6 | 長万部町 | 東京理科大学と連携したまちづくり事業 |
| 7 | 厚沢部町 | 次の100年を創造する地域の家族と繋がりをつくる保育園留学 |
| 7 | 真狩村 | 交流・関係人口や移住者の増加に向けて |
| 8 | 上砂川市 | 魅力と活力があふれるまちづくり事業 |
| 8 | 沼田町 | サテライトオフィス及びワーケーションの推進 |
| 9 | 美瑛町 | 関係人口の創出・拡大からひと・しごとを呼び込む循環づくり |
| 9 | 中富良野町 | 観光入込客数の増加や農産物のPR |
| 10 | 南富良野町 | 重点「道の駅」や周辺での賑わい創出支援 |
| 10 | 中川町 | 中川町地域商社と東京都世田谷区サテライトスペース連携事業 |
| 11 | 幌加内町 | ニッチな場所でワーケーションしてみませんか？ |
| 11 | 遠別町 | まちのシンボルが地域の交流拠点として再生 |
| 12 | 利尻富士町 | 関係人口拡大、移住・定住促進事業 |
| 12 | 西興部村 | ギター工場等人材確保プロジェクト |
| 13 | 新冠町 | 新冠町へひとの流れをつくるまちづくり |
| 13 | 様似町 | アポイ岳ユネスコ世界ジオパークによるまちづくり |
| 14 | えりも町 | 映画「北の流氷」 |
| 14 | 新ひだか町 | 「二十間道路桜並木」の感動の世界へ |
| 15 | 音更町 | 移住・定住を推進し、音更町への新しいひとの流れをつくる事業 |
| 15 | 新得町 | 新得らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す事業 |
| 16 | 芽室町 | 新たな人の流れを作る事業 |
| 16 | 広尾町 | サンタの森を活用し、林業振興・交流人口の拡大をめざす！ |
| 17 | 広尾町 | 広尾サンタランドの魅力を発信、関係人口の増加をめざす！ |
| 17 | 本別町 | 本別公園魅力創出事業 |
| 18 | 標茶町 | 観光情報と環境保全啓発の発信拠点再整備による交流人口の拡大と上質な滞在環境の創出 |
| 18 | 羅臼町 | 人手不足におけるマッチング事業の推進と移住定住事業 |

19 まちづくり

- 19 函館市
1 市民一人ひとりの幸せを大切にすること業
2 函館の経済を支え強化すること業
3 快適で魅力あるまちづくりを進めること業
- 19 旭川市
新時代をリードする北・北海道の中心都市
- 20 千歳市
賑わいの創出と地域の活性化を図ること業
- 20 砂川市
安心して暮らし続けられるまちを目指して
- 21 富良野市
パウダースノー実証こと業
- 21 恵庭市
アプリを使ったつながるまちづくり
- 22 石狩市
産業と共に成長する一人ひとりに寄り添った住みよいまちへ
- 22 当別町
ロイズタウン駅を中心としたまちの新たな周遊空間の創造
- 23 知内町
知内町ふるさと創生こと業
- 23 鹿部町
地域経済の好循環拡大と定住移住に取り組む
- 24 江差町
観光客や住民が集う拠点施設を整備～北の江の島構想～
- 24 乙部町
住み続けられる魅力あるまちづくり
- 25 せたな町
稼ぐ地域づくりと安心して働けるまちづくり
- 25 黒松内町
訪れたいまちをつくる
- 26 奈井江町
奈井江版生涯活躍のまちこと業
- 26 妹背牛町
地域特性を最大限に生かしたゼロカーボンシティこと業
- 27 鷹栖町
オール鷹栖による持続可能な地域づくり拠点形成こと業
- 27 比布町
プロスポーツチームと共に歩むプロジェクト
- 28 羽幌町
町立天売高等学校の魅力化
- 28 佐呂間町
佐呂間町まち・ひと・しごと創生推進こと業
- 29 安平町
未来へつながる地域コミュニティ施設の再生プロジェクト
- 29 日高町
「日高町まち・ひと・しごと創生推進計画」に沿った各種こと業
- 30 新冠町
思いやりと笑顔あふれるまちづくり
- 30 音更町
ひとが集う、安全・安心で快適に住み続けられるまちをつくること業
- 31 中札内村
まちなかににぎわいを創出すること業
- 31 浦幌町
想いをつないで未来を創る、“わたしたちのまち”うらほろ
- 32 釧路町
釧路町の認知度向上を目指して
- 32 厚岸町
離れたくないまち“あっけし”実現プロジェクト
- 33 中標津町
外国『人財』の誘致と多文化共生のまちづくり

34 自然・環境

- 34 釧路市
特別天然記念物北海道タンチョウ生息域外保全促進こと業
- 34 長万部町
地域のマイクログリッド化こと業
- 35 乙部町
交流・関係人口や観光客の増加に向けて
- 35 京極町
北海道遺産「ふきだし湧水」を守る
- 36 長沼町
タンチョウも住めるまちづくり
- 36 栗山町
ハサンベツ里山の保全活動こと業
- 37 東神楽町
ゼロカーボン象徴！緑に囲まれた新庁舎！
- 37 東川町
天人峡地区の復興へ向けて
- 38 厚真町
被災から、森林再生に向けて
- 38 鹿追町
「バイオガスプラント」を核としたまちづくり
- 39 鹿追町
とかち鹿追ジオパークと共に持続可能な未来へ
- 39 鶴居村
自然環境に配慮した森づくりを目指して
- 40 羅臼町
世界自然遺産地域で取り組むゼロカーボンシティ

41 文化・スポーツ・歴史

- 41 帯広市 フードバレーとかちマラソン
- 41 北見市 トップアスリートのニーズに対応する先導的なカーリングホールの活用
- 42 美唄市 ベースボールを核とした地域活性化
- 42 名寄市 冬季スポーツ拠点化プロジェクト
- 43 深川市 「スポーツ」がもたらす効果でコロナ禍や人口減少に負けないまちづくり
- 43 北広島市 北海道ボールパークFピレッジJ R新駅建設プロジェクト
- 44 東川町 世界中の写真と出逢い、世界中の人々がふれあい、世界中が笑顔に溢れる写真文化首都
- 44 東川町 「デザインミュージアムの実現に向けて」
- 45 上富良野町 活火山の恵みと脅威を活力に
- 45 遠軽町 10トンディーゼル機関車に再び汽笛を
- 46 厚真町 「浜厚真」を盛り上げたい！
- 46 浦河町 浦河町出身田中光敏監督による映画製作の実現
- 47 様似町 映画「北の流氷」（仮題）制作の実現に向けて
- 47 幕別町 幕別町アイヌ文化拠点空間整備事業
- 48 鶴居村 音楽祭による新たな地域文化の創出に向けて
- 48 白糠町 「ウレシパ・シラリカ」ロケツーリズム推進プロジェクト

49 くらし・子育て・健康

- 49 小樽市 安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりプロジェクト
- 49 室蘭市 子育て世代が希望をもって住み続けられるまちづくり事業
- 50 釧路市 安心して子どもを生み育てられる環境を整備
- 50 網走市 医療提供体制のさらなる充実に向けて
- 51 芦別市 子ども一人ひとりのニーズに合わせた特別支援
- 51 士別市 めん羊振興事業
- 52 歌志内市 子どもを産み、育てやすい環境をつくる
- 52 伊達市 「こころ」も「からだ」も健康に暮らせるまち
- 53 木古内町 木古内町みらいある事業
- 53 七飯町 子どもたちの笑顔をたくさん見たい！
- 54 森町 子育てしやすい環境を目指して
- 54 倶知安町 くっちゃんて暮らす幸せを感じるための事業
- 55 仁木町 「NIKI交流プラザ（仮称）」の整備
- 55 増毛町 「高血圧ゼロ」で元気に長生きできるまち
- 56 初山別村 地域公共交通対策事業
- 56 中頓別町 新たな交通手段により誰もが安心して暮らせる町へ
- 57 壮瞥町 選ばれるまちを目指して
- 57 新冠町 結婚・出産・子育ての希望を叶えるまちづくり
- 58 音更町 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちをつくる事業
- 58 士幌町 結婚・出産・子育てへの支援を充実させる事業
- 59 清水町 子どもを安心して産み・育てられるまち
- 59 池田町 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業
- 60 標津町 標津町まち・ひと・しごと創生事業
- 60 羅臼町 地域公共交通の充実
- 61 羅臼町 憩いの場の整備と公共施設の適正管理

62	室蘭市	まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の場の創出事業
62	名寄市	「北・北海道物流拠点構想」の実現に向けて
63	三笠市	国産クリーン水素の製造拠点へ
63	八雲町	北海道初のトラウトサーモン海面養殖事業で地域活性化を図る！
64	奥尻町	奥尻町まち・ひと・しごと創生推進事業
64	共和町	「らいでん」ブランドを守る農業の担い手確保と育成
65	岩内町	施設一体型義務教育学校導入プロジェクト
65	余市町	よいちガストロミーーツーリズムプロジェクト
66	赤井川村	新規就農者育成プロジェクト
66	赤井川村	エネルギー転換によるゼロカーボンシティを目指して
67	南幌町	地域活性化と交流人口増加を目指す観光拠点整備事業
67	月形町	産業を元気にして、月形町ににぎわいを創る
68	新十津川町	安定した就業創出事業
68	秩父別町	ゼロカーボンシティの実現に向けて
69	北竜町	ひまわりを活用した魅力あるまちづくり
69	愛別町	人と文化が輝く愛別
70	和寒町	産業の振興により安定した雇用と活気をつくる事業
70	下川町	SDGsを取り入れ、人も資源もお金も循環・持続するまちを目指して
71	美深町	まちの特性をいかした産業を振興し、働く場をつくる事業
71	幌加内町	日本一のそば加工施設づくり
72	湧別町	まちのひとと農業を守り、未来へつなぐ
72	雄武町	雄武町の強みを活かした産業と雇用の場をつくる事業
73	大空町	ひがしもこと芝桜公園リニューアルに向けた再整備事業
73	新冠町	産業振興の活性化によるまちづくり
74	音更町	地域経済を活性化させ、雇用の場をつくる事業
74	大樹町	大樹発！航空宇宙関連産業の集積による地域創生の推進
75	豊頃町	豊頃町まち・ひと・しごと創生推進事業
75	足寄町	定住促進・農山村地域の機能維持及び地域ネットワークの構築
76	別海町	酪農支援プロジェクト
76	羅臼町	町民が「幸福」と感じられるまちづくりを目指す未来創造事業

77	岩見沢市	新たな農業体制の構築による地域産業の持続性確保・農業所得向上
77	猿払村	IoTを活用し猿払に最適な施設園芸を！
78	上士幌町	ICT先端技術を活用したスマートタウンの推進
78	更別村	更別村スーパービレッジ構想
79	羅臼町	住民サービスの向上を目指した自治体DXの推進

- 80 札幌市 さっぽろ圏域を支える「ひと」の育成
- 80 釧路市 1人の雇用を生む100社の育成を目指して
- 81 赤平市 赤平市しごと・ひと・まち創生推進事業
- 81 滝川市 国学院大学北海道短期大学の学生と一緒に応援してください！
- 82 北斗市 ～若者の市内回帰の促進を～
- 82 福島町 人材の育成により次世代のリーダー等を育成
- 83 奥尻町 奥尻町まち・ひと・しごと創生推進事業
- 83 岩内町 岩内高等学校との連携事業
- 84 上川町 風土水×地方×都市が育むWell-beingなライフスタイル推進プロジェクト
- 84 音威子府村 村立おといねっぶ美術工芸高校の魅力化
- 85 幌加内町 日本一のそばの里で自分の魅力を再発見できる高校で学ぶ
- 85 枝幸町 地域医療を支える人材育成・確保
- 86 平取町 子どもを産み育てやすく、豊かな心を育む環境をつくる事業
- 86 鹿追町 「持続可能な社会の創り手」を育てるまちづくり
- 87 羅臼町 町内各学校の教育環境の充実

88 協働事業の活用事例

- 88 室蘭市 室蘭から新しいビジネスがはじまる。「サテライトオフィス室蘭」
- 88 苫小牧市 苫小牧での就職を促したい！
- 89 名寄市 名寄市のスポーツ競技施設を活用したスポーツツーリズム等の開発・販売
- 89 北斗市 企業誘致に係る連携・支援
- 89 ニセコ町 SDGs～未来へ向けた持続可能なまちづくり
- 90 岩内町 岩内町発祥の地域素材を活用した「イワナイブランド」の確立
- 90 仁木町 企業と連携して次世代観光拠点を整備
- 90 赤井川村 赤井川村での事業拠点の開設
- 91 長沼町 タンチョウも住めるまちづくり
- 91 東川町 東川オフィシャルパートナー制度
- 91 音威子府村 村立おといねっぶ美術工芸高校の魅力化
- 92 小平町 おびら和牛の振興に向けて
- 92 枝幸町 労働力・人材不足の解消
- 92 利尻富士町 新産業開拓プロジェクト
- 93 音更町 おとふけ町ビジネス創出拠点「昭和商业学校Palette」
- 93 豊頃町 過疎地における地域内交通手段の確保
- 93 鶴居村／黒松内町／美瑛町／赤井川村／標津町／江差町／清里町／京極町／中札内村
日本で最も美しいビューティフルデー

94	蘭越町	大湯沼自然展示館	104	稚内市	旧樺岡小中学校
95	積丹町	積丹岬キャンプ場	105	稚内市	旧豊別小中学校
95	積丹町	旧入舸小学校	105	稚内市	旧上修徳小中学校
96	古平町	古平家族旅行村	106	稚内市	旧東浦小中学校
96	古平町	古平町営牧場	106	稚内市	旧曙小学校
97	新冠町	旧節婦小学校	107	稚内市	旧下勇知小中学校
97	様似町	旧ソビラ荘（特別養護老人ホーム）	107	稚内市	旧稚内西小中学校
98	新ひだか町	旧春立小学校	108	稚内市	旧上勇知小中学校
98	新ひだか町	旧鳧舞小学校	108	士幌町	旧西上音更小学校
99	旭川市	旧千代ヶ岡小学校	109	上士幌町	旧北門小学校
99	旭川市	旧神居古潭小中学校	109	厚岸町	旧上尾幌小中学校
100	旭川市	旧旭川第2小学校	110	厚岸町	旧床潭小学校
100	比布町	旧蘭留小学校	110	標茶町	旧久著呂中央小中学校
101	上富良野町	旧江幌小学校	111	標茶町	旧弥栄小学校
101	上富良野町	旧東中中学校	111	北海道（南幌町）	旧北海道南幌高等学校
102	中富良野町	旧南中小学校	112	北海道（小樽市）	旧北海道小樽聾学校
102	南富良野町	旧北落合小学校	112	北海道（函館市）	旧北海道戸井高等学校
103	初山別村	旧豊岬小学校	113	北海道（留萌市）	旧北海道留萌高等学校
103	稚内市	旧更喜苫内小学校	113	北海道（浦幌町）	旧北海道浦幌高等学校
104	稚内市	旧曲淵小中学校			

持続可能な開発目標（SDGs（Sustainable Development Goals））とは

- ・2015年9月、国連において採択された国際社会共通の目標であり、先進国、開発途上国を問わず、その達成に向けた取組が広がっています。
- ・北海道においても、これから先の50年、100年後に向け、世界とともに歩む持続可能な地域づくりを進めていくため、先人から受け継いだ多種多様な地域資源を活かしながら、SDGsの達成に向けた取組を積極的に推進していくことが重要です。
- ・このため、道内の個人や企業・団体、NPO、行政機関など各層にSDGsが浸透し、幅広い分野や地域で具体的な取組が展開されるよう、多様な主体が連携・協働する全道的なネットワークとして、「北海道SDGs推進ネットワーク」を設立するなど、SDGs推進に貢献する取組を進めています。



『ほっかいどう応援団会議』とは

「ほっかいどう応援団会議」は、多様化・複雑化する地域課題の解決に向け、民間の皆様の知恵やノウハウをいただき、ともに北海道の未来づくりに取り組むことが必要との考えのもと、北海道に想いを寄せる方々の取組や想いを見える化するためのネットワークとして、令和元年9月に発足しました。



資金支援

- ・ふるさと納税
- ・企業版ふるさと納税
- ・その他の寄附・協賛

協働活動

- ・包括連携協定の締結
- ・タイアップ事業の実施

事業活動

- ・企業立地
- ・道産品販路拡大・PR など

応援団会議参加数（R6.3月時点）

企業・団体 1,134団体
個人（道ファン子） 15,314名

※個人の皆様は、「道産子」をもじって、「道ファン子」と呼んでいます



エールを北のチカラに。

ほっかいどう
応援団会議

参加方法

参加にあたって費用負担はございません。是非ご参加ください。

企業・団体の皆様

詳細は道庁官民連携推進局へ
直接お問い合わせください!!

☎ 011-204-5158
↓ hokkaido.ouen@pref.hokkaido.lg.jp

- ポータルサイト等で、参加企業の皆様の応援実績などをご紹介します!
- 知事・市町村長がトップセールスを行う「ほっかいどう応援セミナー」を開催!

ほっかいどう応援団会議
ポータルサイトはこちら



個人の皆様

下記QRコードから簡単登録!!
是非ご登録ください!!



- 北海道の応援につながる様々な情報を発信!

公式
アカウント
はこちら



公式
アカウント
はこちら



企業版ふるさと納税制度の概要

「企業版ふるさと納税」は、企業の皆様が、こころざしを寄附のかたちで地方公共団体の行う地方創生の取組を応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられる制度です。

企業の皆様にとっても大きなメリットのある制度です。本制度を活用し、北海道の未来づくりに向けた取組をとともに進めましょう！！

POINT 01 税軽減は寄附額の最大9割、実質負担は1割！

例えば、100万円の寄附をすると、最大約90万円の法人関係税が軽減



活用のチェックポイント

- 本社が所在する自治体への寄附は**対象外**
(本社が道内の企業は、道庁・所在市町村への寄附は対象外)
- 1回あたり**10万円以上**の寄附が対象
- 寄附企業への経済的な見返りは**禁止**

POINT 02 「社会・地域貢献」や「新たな事業展開」にもつながる！

社会・地域貢献

- ・ SDGsの達成
- ・ ふるさと、被災地の復興等への支援 etc

事業展開

- ・ 企業のPRに
- ・ 新たなパートナーシップの構築
- ・ 社員のモチベーションアップ etc

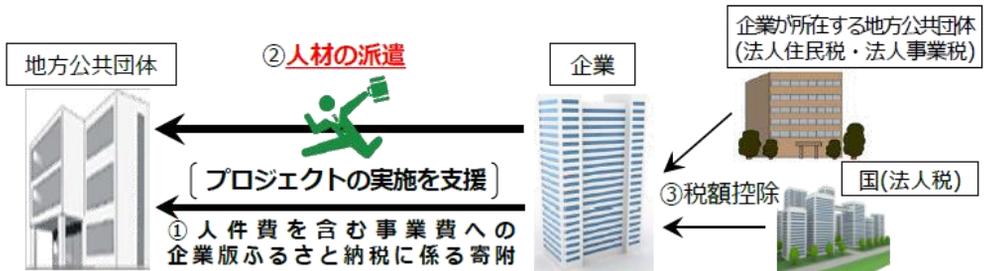
道では・・・

- 感謝状の贈呈のほか、ホームページ・啓発チラシ等で**企業名を紹介**

企業版ふるさと納税制度（人材派遣型）の概要

企業版ふるさと納税の仕組みを利用し、企業が専門的知識・ノウハウを有する人材を地方公共団体に派遣する制度で、その人件費等を含めた事業費を寄附した場合に、税の軽減効果を受けられる制度です。

制度活用イメージ



企業のメリット

- ・ 人件費相当額を含む寄附額の最大約9割に税の軽減効果
- ・ 企業ノウハウの活用による地域貢献
- ・ 人材育成の機会としての活用

地方公共団体のメリット

- ・ 専門的知識やノウハウを有する人材の登用による地方創生事業の充実・強化
- ・ 人件費の負担なく人材の受入が可能
- ・ 関係人口の創出・拡大

企業版ふるさと納税制度の詳細については、こちらをご確認ください

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/krs/tiikisousei-kigyouban-hurusatonouzei.html>



企業版ふるさと納税の活用事例

道内市町村において、企業の皆様から応援いただきたい特色のあるプロジェクトをご紹介します。

分野毎のプロジェクト内容はもちろん、関連するSDGsの目標や市町村担当者へのお問い合わせ先も掲載しています。

掲載プロジェクト

交流人口・関係人口

31 プロジェクト

くらし・子育て・健康

25 プロジェクト

まちづくり

29 プロジェクト

産業

30 プロジェクト

自然・環境

13 プロジェクト

ICT・AI

5 プロジェクト

文化・スポーツ・歴史

16 プロジェクト

人材育成・教育

16 プロジェクト

室蘭市

人口 76,385人 (2024.2)

主な観光ポイント
地球岬、室蘭水族館、白鳥大橋

まちの資源を活かし、新たな「ひと」の流れをつくる事業



地球岬



工場夜景

港や観光資源を活かし交流人口を拡大します

港や歴史・文化などの資源を活かした、交流人口の拡大に向けた取組を一層強化するとともに、観光消費額拡大に向けた「稼ぐ観光」を推進します。

また、従来の観光資源に限らない、新たな視点でまちの資源を活用することで、交流人口の拡大を図るほか、本市の資源や魅力を整理し、市民が共感し自ら発信する機運につなげるための取組を進めるとともに、地域の課題を資源として捉える発想を持ち、企業・大学と連携した取組を進めることで、関係人口を創出します。

プロジェクト

まちの資源を活かし、新たな「ひと」の流れをつくる事業

観光振興計画の推進（炭鉄港PRの推進等）／まちのイメージづくり・魅力発見事業 など

事業年度・事業費

令和2年度～6年度

—



室蘭が好き。みんなで暮らそう。住み続けたいまち



■お問合せ先

室蘭市総務部総務課

☎ 0143-25-2215

↓ soumu@city.muroran.lg.jp

網走市

人口 32,672人 (2024.2)
主な観光ポイント
網走監獄、流水館、能取岬

観光デジタルファーストで交流人口を拡大



新鮮な魚介類



牧草ロールと能取岬

観光PR動画等を活用した広告配信による観光プロモーション

網走市は、新鮮な魚介類の宝庫であるオホーツク海に面し、国の重要文化財の博物館網走監獄を有しています。雄大な自然景観や味覚、歴史・文化などの観光資源を活かし、動画の作成、ターゲットに応じた広告の配信を行います。外国人向けのプロモーション動画やWEB記事など、海外での広告配信を実施し幅広いアプローチを図ります。

プロジェクト

観光デジタルプロモーション事業

広報配信

事業年度・事業費

令和5年度～



オホーツク海の流氷



■お問合せ先

網走市企画総務部企画調整課

☎ 0152-67-5380

📧 ZUSR-KS-KIKAKU-KIKAKU@city.abashiri.hokkaido.jp

苫小牧市

人口 166,591人 (2024.2)
主な観光ポイント
樽前山、ウトナイ湖

交流人口の増加に向けた「都市再生コンセプトプラン」の実現



新たな賑わいの形を創出した「TOMAKOMAI MIRAI FEST」



先端技術を活用した「苫小牧スマートシティ構想」

Wポートシティの特性を生かした成長戦略

ウォークラブルなまちづくり、ウォーターフロントの魅力発信、次世代産業の展開、人材育成・多文化共生の4つの促進要因によって掲げられた「都市再生コンセプトプラン」。この実現に向け、都市再生コンテンツ創出事業では、TOMAKOMAI MIRAI FESTや苫小牧クラフトスパイス、レッドイーグルス北海道集客支援等、音楽・食・スポーツの3つの分野で賑わい創出事業を展開します。DXやGXを取り入れた複合ビルの建設や自動運転バス等、より快適な暮らしを目指すスマートシティ構想等といった幅広い分野でコンセプトプラン推進に取り組んでいます。

プロジェクト

苫小牧都市再生コンセプトプラン推進に係る事業

都市再生コンテンツ創出事業／スマートシティ／駅周辺ビジョン推進／MICE／ゼロカーボン など

事業年度・事業費

令和3年度～



駅前再整備のイメージパース



■お問合せ先

苫小牧市総合政策部未来創造戦略室

☎ 0144-84-6146

📧 mirai@city.tomakomai.hokkaido.jp

江別市

人口 118,515人 (2024.2)
主な観光ポイント
EBRI、江別蔦屋書店、ゆめちからテラス

大学生が地域に出会う「ジモ×ガク」



ワークショップー三笠市「ジオパーク博物館モニター」



イベント参加・運営ー南幌町「野菜祭（やさい）」

地域・地元で学び活躍する学生地域定着事業

江別市には、4つの大学があり、約1万人の学生が在籍しています。「ジモ×ガク」では、市内の大学生が、ボランティア活動や企業訪問などに参加し、多様な立場の方とのコミュニケーションや地域との関わりなどを通して、大学の外に出て様々な経験を得られるよう支援をしています。この事業は広域連携事業で、江別市のほかに、赤平市、芦別市、三笠市、栗山町、長沼町、南幌町、由仁町の計8市町を活動地域としています。参加学生からは、「ジモ×ガクに参加するようになって、誰かの為になる活動も悪くないと思うようになった。」など、好評を得ています。

プロジェクト

学生地域定着自治体連携事業

大学生の地域イベント参加・運営／ワークショップ参加／企業訪問・インターンシップ など

事業年度・事業費

平成27年度～

5,873千円 (R6)



企業見学ー江別市「米澤煉瓦株式会社」



■お問合せ先
江別市企画政策部企画課
☎ 011-381-1015
↓ daigaku@city.ebetsu.lg.jp

登別市

人口 44,349人 (2024.2)
主な観光ポイント
登別温泉、カルルス温泉、登別マリナーパークニクス

海外との交流の場と機会の拡大



JICA北海道による国際理解講座



ホストファミリーと海での写真
(デンマーク友好都市中学生派遣事業)

中学生を友好都市デンマーク王国へ派遣！

登別市はホームステイによる外国生活の体験、同年代の外国人生徒との交流等を図るため、市内中学校等の生徒から参加希望者を募集し、デンマーク王国ファボー・ミッドフン市に派遣します。

青少年との交流や日本とは異なる生活・文化の体験を通じ、生徒の豊かな人間性と広い視野を育むとともに、海外との交流を推進します。

プロジェクト

交流・関係人口の創出・拡大プロジェクト

国際交流推進事業／デンマーク友好都市中学生派遣事業 など

事業年度・事業費

令和5年度～

4,500千円



登別地獄祭り（登別温泉）



■お問合せ先
登別市総務部企画調整グループ
☎ 0143-85-1122
↓ kikaku@city.noboribetsu.lg.jp

新篠津村

人口 2,798人 (2024.2)
主な観光ポイント
たっぶ天文台、ワカサギ釣り体験、農村風景と温泉施設

天文台をキーに交流人口増を！ 地域を元気にする「空のまち」構想



しのつ湖を中心に温泉施設等がある観光エリア



田に映る星空は農村ならではの景色

立地を活かした新たな観光資源「天体観測」

本村は札幌市から約35km、車で約50分という位置にあり、農村環境を活かした観光体験を通じ交流・関係人口増加を目指す取組を進めています。平坦で視界を遮るものがなく、全域が農地化され山林と比べ危険が少ないといった特徴を活かせる「天体観測」を新たな観光テーマに掲げました。令和5年に大型反射望遠鏡を備えた天文台がオープンしました。天体観測を核にしたコミュニティの醸成による交流人口増を目指しています。またグライダー体験や地域のイベントなど空にまつわる資源を活用する「空のまち」構想で地域活性化を図ります。

プロジェクト

「空のまち」天文台プロジェクト

天文台整備運営事業／観光特産品開発支援事業 など

事業年度・事業費

令和4年度～6年度

65,000千円



星空観測体験会には多くの来場者が集まる



■お問合せ先
新篠津村企画政策課
☎ 0126-57-2111
↓ kikaku1@vill.shinshinotsu.hokkaido.jp

長万部町

人口 4,832人 (2024.2)
主な観光ポイント
おしゃまんべ公園、あやめ公園、写万部山

東京理科大学と連携したまちづくり事業



東京理科大学



毛がにまつり

大学生と共に、地域の賑わいをつくりたい

新型コロナウイルスの影響により、北海道長万部キャンパスの利用が3年間休止されていましたが、2023年度より再開され、街には活気が戻りつつあります。整備が進む北海道新幹線長万部駅の存在なども活かしながら、自然資源や地理的資源などを最大限活用し、魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。

プロジェクト

東京理科大学と連携したまちづくりプロジェクト

東京理科大生への生活環境支援・大学と連携した町内外から参加できるイベントづくり

事業年度・事業費

令和6年度～



長万部町



■お問合せ先
長万部町役場まちづくり推進課
☎ 0137-7-2-2450
↓ m.s-k@town.oshamambe.lg.jp

厚沢部町

人口 3,355人 (2024.2)
主な観光ポイント
道の駅あさぶ、レクの森

次の100年を創造する地域の家族と繋がりをつくる保育園留学



豊かな自然環境に恵まれた認定こども園「はぜる」



Wi-Fi完備の移住体験住宅

保育園留学による超長期的な関係人口創出へ

厚沢部町は、「世界一素敵な過疎のまち」を目指し、地域と子育て家族をつなぎ、未来をつくる「保育園留学」を実施しています。「保育園留学」は、1週間から3週間、こどもが保育園に通いながら家族で地域に滞在し、滞在先でのテレワークや農作物の収穫体験などができる新たな暮らし体験です。

家族ぐるみの超長期的な関係人口を創出し、今後は保育園留学の更なる推進と受入施設の増設や空き家の活用等を展開し、「子ども」「子育て家族」「過疎地域」にとってよりよい未来を目指します。

プロジェクト

100年後のまちの未来をつくる「保育園留学」

ワーケーション推進事業／子育て移住促進事業／保育園留学の寮整備事業 など

事業年度・事業費

令和4年度～8年度

193,893千円



アスパラ収穫体験の様子



■お問合せ先

厚沢部町政策推進課

☎ 0139-64-3312

📧 s-seisaku@town.assabu.lg.jp

真狩村

人口 1,945人 (2024.2)
主な観光ポイント
まっかり温泉、細川たかし像

交流・関係人口や移住者の増加に向けて



羊蹄山を望む真狩村市街地



読書祭りの様子

ワーケーションなど新たな事業を展開

真狩村は、羊蹄山の南麓に位置しており、そこからもたらされる美しい風景や食などの地域資源を活かし、交流・関係人口や移住者の増加に向けた取組を進めています。移住・定住を促す住宅環境の整備や、移住希望者を対象とした村の生活を体験する機会の創出、子育てや教育に関するサービスの充実に加え、交流・関係人口の拡大を図るため、新たな働き方として注目されているワーケーションの誘致など、さまざまな事業を展開していきます。

プロジェクト

交流・関係人口及び移住者拡大プロジェクト

ワーケーション推進事業／移住定住促進事業／子育て環境整備事業 など

事業年度・事業費

令和3年度～

30,000千円



2020年2月に分譲地「ひかり団地」を整備



■お問合せ先

真狩村企画情報課

☎ 0136-45-3613

📧 kikaku@vill.makari.lg.jp

上砂川町

人口 2,458人 (2024.2)
主な観光ポイント
上砂川岳温泉パンケの湯、悲別駅 (旧上砂川駅)、かみすながわ炭鉱館

魅力と活力があふれるまちづくり事業



夏の仮装盆踊り花火大会



夏の仮装盆踊り大会

イベントを通じ交流人口を拡大します

地域経済の持続的な発展を図るため、企業の育成、起業・創業の支援や活性化などによる商工業の振興と安定、労働力の確保に取り組みます。また、まちの賑わいを創出するため、観光資源の活用やイベントに取り組み魅力と活力があふれるまちを目指します。

プロジェクト

仮装盆踊り・花火大会助成事業

仮装盆踊り・花火大会への補助金の助成

事業年度・事業費

令和6年度

2,650千円



上砂川獅子神楽「大鶴舞」



■お問合せ先

上砂川町企画課企画振興係

☎ 0125-62-2223

↓ hirama.yuuta@town.kamisunagawa.lg.jp

沼田町

人口 2,824人 (2024.2)
主な観光ポイント
ほたるの里、ほろしん温泉ほたる館

サテライトオフィス及びワーケーションの推進



仕事に集中できるサテライトオフィス



ほたる学習館内のワーキングスペース

ワーケーションはぜひ沼田町へ

沼田町では、当町へのオフィス進出のきっかけとしてご利用いただくことができるお試しサテライトオフィスや、自然の中で快適に「ワーク」と「バケーション」の時間を過ごしていただけるワーケーション施設「ほたる学習館」の整備を進めてきました。

これらの施設を活用した、新たな働き方による関係人口の創出・拡大を目指します。

プロジェクト

地域資源を活かした関係人口の拡大プロジェクト

お試しサテライトオフィス／ワーケーション推進／企業誘致 など

事業年度・事業費

令和2年度～

—



豊かな自然の中でワーケーションしてみませんか



■お問合せ先

沼田町産業創出課

☎ 0164-35-2155

↓ sangyou@town.numata.lg.jp

美瑛町

人口 9,394人 (2024.2)
主な観光ポイント
白金温泉、丘陵地帯、拓真館

関係人口の創出・拡大から ひと・しごとを呼び込む循環づくり



廃校を利用した研修施設



Wi-Fiを完備した丘のまち交流館bi_yell

交流の場から生まれる地域の活力

美瑛町では、美しい丘陵景観や豊かな自然環境の中で暮らす魅力に加え、旭川空港から車で約15分という首都圏等からのアクセスの良さを活用して、テレワーク、ワーケーションの受け入れを推進しています。

令和3年度に2棟、令和4年度に民間で1棟のテレワーク拠点施設を整備し、町を訪れる多種多様な方々に活動していく場を提供しています。活動の中での町民との交流を通し、関係人口の輪を広げ、将来的な雇用の確保、地域産業の活性化に結び付けていきたいと考えています。

プロジェクト

関係人口を核としたWell-being なまちづくり

コ・ワーケーションビレッジ事業／テレワーク推進事業／移住対策事業

事業年度・事業費

令和3年度～7年度

142,883千円



1棟貸しのテレワーク拠点施設



■お問合せ先
美瑛町まちづくり推進課
☎ 0166-92-4330
✉ machi@town.biei.hokkaido.jp

中富良野町

人口 4,564人 (2024.2)
主な観光ポイント
町営ラベンダー園、ファーム富田

観光入込客数の増加や農産物のPR



夏の北星山ラベンダー園



初冬の北星山ラベンダー園
(この後スキー場になります)

夏季集中型の観光から通年型観光へ

中富良野町では、十勝岳連峰の雄大な景観と富良野盆地に広がる田園風景やラベンダー等の観光資源に恵まれ、年間100万人もの観光客が訪れています。

冬季を含め年間を通じてより多くの観光客にお越しいただき、その効果が地元経済へ波及するよう、テレワーク施設を整備し、テレワーク・ワーケーションによる関係人口の創出、地域事業者の活性化に繋がりたいと考えています。

プロジェクト

地域に広げる観光の波及効果

新たな観光拠点の整備／ご当地グルメ・特産品の開発／サイクルツーリズムの推進 など

事業年度・事業費

令和4年度～



個人利用向けテレワーク施設



■お問合せ先
中富良野町企画課
☎ 0167-44-2123
✉ kikaku@nakafurano.jp

南富良野町

人口 2,284人 (2024.2)
主な観光ポイント
かなやま湖、南富良野物産センター

重点「道の駅」や周辺での賑わい創出支援



生まれ変わる道の駅



かなやま湖でのカヌー体験の様子

アウトドア観光拠点と交流促進を目指して

「道の駅南ふらの」は令和2年1月に、国土交通省から重点「道の駅」に選定されました。

これを機に、インバウンドを含めた多様な来訪者に対応した情報発信機能の整備、都市間バス・デマンドバスの交通結節機能の強化、おむつや液体ミルクの備蓄など子育て世代にも安心の防災拠点整備などを進め、体験型アウトドア観光の拠点及び地元と来訪者との交流促進の場として、道の駅本体とその周辺地域の整備を進めていきます。

プロジェクト

道の駅再編整備事業

インバウンド等多様な顧客への情報発信拠点整備／バス交通との結節機能強化など

事業年度・事業費

令和2年度～

—



かなやま湖畔にあるキャンプ場



■お問合せ先
南富良野町企画課企画振興係
☎ 0167-52-2115
↓ kikaku@town.minamifurano.hokkaido.jp

中川町

人口 1,303人 (2024.2)
主な観光ポイント
中川町エコミュージアムセンター

中川町地域商社と東京都世田谷区サテライトスペース連携事業



パンケ山頂MTBコース



冬のMTB体験

森林内や使われなくなった牧場をMTBコースとして再生！

中川町では、町内にDMO機能を有する地域商社を、東京都世田谷区サテライトスペースを設け、都市と山村交流による関係人口の増加や移住の促進を進めています。令和3年～6年にかけて森林内や使われなくなった牧場にMTBコースを設置していきます。

また、北海道大学研究林との間で、「北海道大学中川研究林公認ガイド制度」の創設に取り組んでおり、エコモビリティ推進事業と連携した産業、雇用創出や関係人口の増加を目指します。

プロジェクト

中川町地域商社と東京都世田谷区サテライトスペース連携事業 (MTBコースの開発)

使われなくなった牧場にMTBコースの設置

事業年度・事業費

令和2年度～6年度

220,090千円



天塩川カヌー体験



■お問合せ先
中川町産業振興課産業振興室
☎ 01656-7-2816
↓ nakagawasangyo@town.nakagawa.hokkaido.jp

幌加内町

人口 1,288人 (2024.2)
主な観光ポイント
そばの作付面積・生産量日本一、朱鞠内湖、
日本最寒地記録マイナス41.2

ニッチな場所でワーケーションしてみませんか？



広大な雪原



朝もやフィッシング

寒い場所だけど熱い人たちがいる

幌加内町は、人口1,300人弱の小さな町ですが、サテライトフィス（注）を2箇所つくりました。人口減少を少しでも遅らせたい、新たな出会いを求めて、交流人口・関係人口を作り、移住者が増えて欲しいとの思いから、事業をスタートさせました。しかし、そのうち一か所には、訪れた人に宿泊してもらえ場所が不足しており、宿泊場所の建設・管理運営をしていただける事業者が必要な状況です。

プロジェクト

ワーケーションプロジェクト事業

ワーケーション等の宿泊施設／建設、管理運営／ワーケーションプロモーションなど

事業年度・事業費

令和6年度～



そば打ち体験



■お問合せ先

幌加内町地域振興室

☎ 0165-35-2121

↓ soumu1@town.horokanai.hokkaido.jp

遠別町

人口 2,319人 (2024.2)
主な観光ポイント
道の駅「えんべつ富士見」、旭温泉、富士見ヶ丘公園

まちのシンボルが地域の交流拠点として再生！



とんがりかん（外観）



無料で遊べる遊戯スペース

屋内こども遊戯場・テレワーク施設オープン

遠別町は、北海道の左上、稚内市から約90キロ南下した地点に位置し、農業・漁業の一次産業が主体で、利尻島を背景に日本海に沈む夕日が美しいまちです。

令和2年に閉館となったまちのシンボルマーク「とんがりかん」を子ども向けの屋内遊戯場とテレワーク・ワーケーション施設として再整備し、子育て環境の充実や交流・関係人口の増加を目指しています。子どもは遊び、大人は合い間にちょっとお仕事。海や夕日を一望できる展望スペースもあります。企業の皆様のご支援とご利用をお待ちしています。

プロジェクト

まちのシンボル「とんがりかん」再生プロジェクト

子ども向け屋内遊戯場とテレワーク施設を整備

事業年度・事業費

令和5年度～

437,320千円



テレワークスペースは25名程度利用が可能



■お問合せ先

遠別町総務課企画振興係

☎ 01632-7-2111

↓ kikaku@town.embetsu.hokkaido.jp

利尻富士町

人口 2,182人 (2024.2)
主な観光ポイント
利尻礼文サロベツ国立公園

関係人口拡大、移住・定住促進事業



町内初の民間賃貸住宅



移住・定住促進住宅（町営）

移住・定住需要の増加を見据えた取組の拡充

利尻富士町では、移住・定住の促進に向け、当該分野に関わる地域おこし協力隊の採用や、住宅整備などを進めており、近年は、リゾートバイトやモニターツアーを通して、島での生活を体験した若者が、そのまま移住を希望する例も見られています。
全国的にリモートワークやワーケーションが普及している状況を踏まえると、今後も移住の需要は増えることが予想されるため、U・I・Jターンを含めた移住希望者を対象としたポータルサイトの開設や、利尻富士町ワーケーション・お試し暮らし事業の展開などにより取組の拡充を図りたいと思いますので、企業の皆様のご支援をお待ちしております。

プロジェクト

移住・定住促進事業

移住・定住ポータルサイトの設立・運営
／ 移住後のコミュニティづくりのサポート
／ 移住・定住促進住宅の整備

事業年度・事業費

平成30年度～

195,995千円



利尻富士町ワーケーション事業



■お問合せ先
利尻富士町企画政策課
☎ 0163-82-2850
✉ kikaku@town.rishirifuji.hokkaido.jp

西興部村

人口 975人 (2024.2)
主な観光ポイント
森林公園、森の美術館「木夢」

ギター工場等人材確保プロジェクト



フジゲンギターのボディを製造しています

～村で輝く若い力を一人でも～

当村には、世界的ブランドである「フジゲン」のギターのボディを製造しているギター工場があります。そこで働く従業員は、ほとんどが村外からの移住者で若い人が多く、小さな村の中でひとときわ輝く存在です。しかし、近年、ギター工場だけでなく、村内の福祉施設などでも担い手不足の状態が続いており、技術の継承や安定した製品・サービスの供給を今後も確保していくことが課題となっていることから、SNSを活用して人材確保にスポットを当てた広告や動画の配信を行い、移住者の獲得を目指します。

プロジェクト

ギター工場等人材確保プロジェクト

SNSを活用して人材確保にスポットを当てた広告や動画の配信を行う

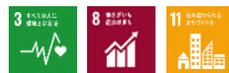
事業年度・事業費

令和6年度

3,190千円



西興部村イメージキャラクター
セトウシくん



■お問合せ先
西興部村企画総務課
☎ 0158-87-2111
✉ ni.kikaku@vill.nishiokoppe.lg.jp

新冠町

人口 5,135人 (2024.2)
主な観光ポイント
レコード館、サラブレッド銀座、判官館森
林公園

新冠町へひとの流れをつくるまちづくり



レコード館入口



レコード館内町内イベント

多様な人材の誘致による地域の活性化

馬がいる風景や豊かな自然、夏は涼しく冬は温暖という魅力的な地域資源を活かし、観光施設の充実による交流、関係人口創出や定住移住の促進に取り組めます。

プロジェクト

新冠町への人の流れをつくるまちづくり事業

観光施設の充実／移住定住の促進 など

事業年度・事業費

—
—



新冠大壁画



■お問合せ先
新冠町企画課まちづくりグループ企画係
☎ 0146-47-2498
↓ teijyu@niikappu.jp

様似町

人口 3,867人 (2024.2)
主な観光ポイント
アポイ岳、親子岩ふれ愛ビーチ

アポイ岳ユネスコ世界ジオパークによるまちづくり



ジオツアー



異業種交流会

ジオパークを核とした持続可能なまちづくり

アポイ岳を核心地域とする様似町は「アポイ岳ユネスコ世界ジオパーク」として、平成27年11月にユネスコ世界ジオパークに認定されました。

ジオパークは、貴重な地質遺産の保全とそれを活かした持続可能なまちづくりを行うことを目的としており、地域資源の啓発やガイド養成、観光まちづくりセミナーや異業種交流会の開催などにより、地域の人材育成に取り組むとともに、ジオツアーの造成や海外プロモーションを通じ、滞在型観光客の増加を図るなど、ジオパークを核とした総合的なまちづくりを実践しています。

プロジェクト

観光客誘致・人材育成事業

ジオパークガイド養成事業／ジオツアーの実施／情報発信ツールの整備・拡充 など

事業年度・事業費

平成30年度～
—



アポイ岳保全事業(トリムプロジェクト)



■お問合せ先
様似町企画調整課
☎ 0146-36-2122
↓ kikakutyouseika@samani.jp

えりも町

人口 4,168人 (2024.2)
主な観光ポイント
襟裳岬、豊似湖、風の館

映画「北の流氷」



1950年代の砂漠化したえりも岬



襟裳岬

映画製作の実現に向けて始動中！

浦河町、様似町、えりも町、及び広尾町の四町では、浦河町出身の田中光敏監督によるえりも岬の緑化事業を題材とした映画化の実現に向けて、取り進めております。

これは、1950年代に森林伐採で砂漠化した荒れ地に地元漁師らが木を植え続け、豊かな森と海をよみがえらせた史実です。

SDGsの目標にも通じる「えりもの緑化事業」の物語を、次世代に伝えていくため、映画製作の実現に向けてご協力をお願いします。

プロジェクト

映画「北の流氷」(仮題)製作推進事業

映画製作の推進/新たな観光誘致/えりも町のPR など

事業年度・事業費

令和3年度～



蘇った森と海



■お問合せ先
えりも町企画課映画製作係
映画「北の流氷」(仮題)製作準備委員会事務局
☎ 01466-2-4612
↓ erimo-kikaku@town,erimo.lg.jp

新ひだか町

人口 20,554人 (2024.2)
主な観光ポイント
二十間道路桜並木、三石海浜公園

「二十間道路桜並木」の感動の世界へ



北海道遺産「二十間道路桜並木」



若木の植樹

桜並木の計画的な保存・整備

新ひだか町の「二十間道路桜並木」は、幅36メートル(二十間)、長さ7キロメートルを誇り、町のシンボルであるとともに、花見シーズンには全国から多くの観光客が訪れます。しかし、桜の多くは樹齢100年を超え、自然災害による倒木や害虫被害などで本数が減少しており、桜並木全体の抜本的な整備が必要な状況です。

新たな桜の見どころをつくりだし、将来にわたり訪れる皆様に感動していただけるよう、計画的な保存・整備を進めていきます。

プロジェクト

二十間道路桜並木樹勢回復事業

老木の管理/若木の植樹 など

事業年度・事業費

平成30年度～

各年度6,000千円



外科処置後の整形



■お問合せ先
新ひだか町総務部まちづくり推進課
☎ 0146-49-0294
↓ keizai@town.shinhidaka.lg.jp

音更町

人口 42,904人 (2024.2)
主な観光ポイント
十勝川温泉、2つの道の駅、白樺並木

移住・定住を推進し、音更への新しい ひとの流れをつくる事業



音更町市街地の様子



広大な農村風景

定住・交流・関係人口の拡大

Uターン、進学、就職、住宅取得など様々な機会に応じた転出抑制、転入支援により定住人口の増加に向けた対策を実施するとともに、観光などによる交流人口や関係人口の拡大に向けて町民、関係機関が連携して取り組み、本町の魅力を積極的に発信することで、誘客の促進と関係性の構築に努めます。

プロジェクト

定住・交流・関係人口の拡大

観光振興事業の推進／移住・定住の促進
／関係人口の創出・など

事業年度・事業費

令和4年度～6年度

—



美人の湯 十勝川温泉



■お問合せ先

音更町企画財政部企画課

☎ 0155-43-2111

✉ kikakuka@town.otofuke.hokkaido.jp

新得町

人口 5,506人 (2024.2)
主な観光ポイント
しんとく新そば祭り、トムラウシ温泉、サ
ホロリゾート

新得らしさを活かして人を呼び込み・ 呼び戻す事業



サホロリゾートスキー場



スポーツ合宿

交流人口の拡大と新たな人の流れの創出へ

戦略的な観光宣伝と観光客誘致活動、スポーツ合宿及び全国大会等の誘致、移住情報発信と移住体験、民間アパート整備促進や空き家活用による移住定住対策、地域活性化と移住を促進するための地域おこし協力隊招聘、テレワーク等の受入促進など、関係人口・交流人口の拡大と新たな人の流れの創出を推進していきます。

プロジェクト

新得らしさを活かして人を呼び込み・呼び戻す事業

追加インターチェンジ・道の駅整備事業、
移住定住住環境整備事業 など

事業年度・事業費

令和3年度～6年度

—



トムラウシ山



■お問合せ先

新得町地域戦略室地域戦略係

☎ 0156-64-0521

✉ chisen@town.shintoku.hokkaido.jp

芽室町

人口 17,908人 (2024.2)
主な観光ポイント
新嵐山展望台、芽室公園、愛菜屋

新たな人の流れを作る事業



スイートコーン



新嵐山展望台からの風景

地方への新しい「ひと」の流れをつくる

移住フェアなどでの情報発信体制の充実、効果的なシティプロモーション、郷土愛の醸成、奨励制度や空き家の活用による移住・定住促進、関係人口の創出、Uターン就職者への奨学金の償還の特例、東京圏から地方への移住や地方出身者の地元での就職を促進するなど、地方への新しい「ひと」の流れをつくります。

プロジェクト

新たな人の流れを作る事業

シティプロモーション推進事業

事業年度・事業費

令和2年度～7年度

—



芽室公園



■お問合せ先
芽室町政策推進課
☎ 0155-62-9721
↓ k-kikaku@memuro.net

広尾町

人口 6,001人 (2024.2)
主な観光ポイント
大丸山森林公園、サンタの家

サンタの森を活用し、林業振興・交流人口の拡大をめざす！



町産木材のウッドイルミネーション



旧野塚小学校のカフェスペース

町産木材のブランド化と廃校再生に向けて

広尾町の約8割を覆う豊かな森林「サンタの森」を活用した二つの事業を展開します。「広尾サンタランドウッドプロジェクト」では、町産木材のブランド「広尾サンタランドウッド」の利用促進や価値向上、ゼロカーボンの実現に取り組めます。「集いの杜プロジェクト」では、廃校となった小学校を、広尾町ならではの体験活動やワーケーション等ができる複合施設へと整備し、笑顔・魅力・やりがいが集まる場所に再生します。

本町の取組を応援していただける企業の皆様からの連絡をお待ちしております。

プロジェクト

サンタの「杜」・「森」創造事業

広尾サンタランドウッドプロジェクト／集いの杜プロジェクト など

事業年度・事業費

令和6年度

9,552千円



旧野塚小学校の整備作業の様子



■お問合せ先
広尾町企画課企画防災係
☎ 01558-2-0184
↓ k-kikaku@town.hiroo.lg.jp

広尾町

人口 6,001人 (2024.2)
主な観光ポイント
大丸山森林公園、サンタの家

広尾サンタランドの魅力を発信、関係人口の増加をめざす！



大丸山森林公園のイルミネーション



イルミネーション点灯式の様子

夢とロマンあふれる、まち全体がサンタランド

広尾町は、サンタの故郷ノルウェーオスロ市から認められた、日本で唯一の「サンタランド」で、令和6年に認定40周年を迎えます。この「唯一」であることの価値を町民が再認識し、町外から来る人も町民も、あらゆる人が楽しむことができるよう、まちぐるみで「サンタランド」の魅力に磨きをかけます。

本町の取組を応援していただける企業の皆様からの連絡をお待ちしております。

プロジェクト

サンタランドの魅力向上プロジェクト

イルミネーション設置、購入事業／サンタツリー点灯式

事業年度・事業費

令和6年度

31,203千円



観光案内所「サンタの家」の店内



■お問合せ先
広尾町企画課企画防災係
☎ 01558-2-0184
✉ k-kikaku@town.hiroo.lg.jp

本別町

人口 6,160人 (2024.2)
主な観光ポイント
道の駅「ステラ★ほんべつ」、本別公園、神居山展望公園

本別公園魅力創出事業



本別公園全景



本別公園のゴーカート

本別公園ゼロカーボン化への挑戦

年間10万人以上の方が訪れる本別公園は、天然記念物文化財や各種アトラクションが充実しており、一日中ファミリーで楽しめる場所となっています。

今後の本別公園は、訪れる人を楽しませてきた遊具やアトラクションの充実化から脱却し、自然環境と森林資源を活かしたSTEAM教育の実践の場と、リブランディングするキャンプ場を軸にサステナブルな拠点を構築し、交流人口を拡大します。

プロジェクト

本別への新しい人の流れを作る事業

観光入込拠点の整備や地域イベント等による本別の発信

事業年度・事業費

令和3年度～6年度



静山キャンプ場



■お問合せ先
本別町未来創造課
☎ 0156-22-8121
✉ msouzo@town.honbetsu.hokkaido.jp

標茶町

人口 6,987人 (2024.2)
主な観光ポイント
釧路湿原、多和平

観光情報と環境保全啓発の発信拠点再整備による交流人口の拡大と上質な滞在環境の創出



完成イメージパース図



左から原研哉氏、隈研吾氏、佐藤町長

上質な滞在環境の創出

釧路湿原国立公園内にある唯一の宿泊施設が経営破綻により休業状態となっていることから、建築家隈研吾氏の設計とデザイナー原研哉氏のデザインにより、アドベンチャーツーリズムやインバウンドに対応できる魅力ある観光施設として再生します。

周辺のキャンプ場や遊歩道等を活用した野生生物観察などの自然体験アクティビティとも連携した形での魅力ある宿泊体験・自然体験を提供し、国立公園らしい上質な滞在環境を創出し、交流人口の拡大と町の活性化を目指します。

プロジェクト

釧路湿原国立公園茅沼地区観光宿泊施設エリア上質化事業

宿泊施設のリノベーション／周辺施設の環境整備

事業年度・事業費

令和3年度～6年度



シラルトロ湖の夕日



■お問合せ先
標茶町企画財政課企画調整係
☎ 015-485-2111
↓ k_kikaku@town.shibecha.lg.jp

羅臼町

人口 4,350人 (2024.2)
主な観光ポイント
道の駅「知床・らうす」、前浜の観光船、羅臼湖

人手不足におけるマッチング事業の推進と移住定住事業



町風景



マッチング事業の様子

域外からの働き手の確保と関係人口の創出

生産年齢人口の減少により、多くの事業所で人手不足が発生していることから、短期就労のマッチング事業や外国人労働者の受け入れを支援します。また、地域コミュニティの持続性も考慮した総合的な移住施策に取り組みます。

プロジェクト

人口減少対策事業

マッチング事業での人材確保／外国人労働者受け入れ支援／移住体験モニター

事業年度・事業費

令和6年度～



ちょっと暮らし住宅



■お問合せ先
羅臼町企画財政課
☎ 0153-87-2114
↓ kikaku.r@rausu-town.jp

函館市

人口 239,434人 (2024.2)
主な観光ポイント
函館山、西部地区、五稜郭

- 1 市民一人ひとりの幸せを大切にする事業
- 2 函館の経済を支え強化する事業
- 3 快適で魅力あるまちづくりを進める事業



函館の夜景



子育て環境

函館市では、市民が幸せを実感しながらいつまでも住み続けたいまちとなるよう、福祉拠点を中心とした地域で見守り支え合う仕組みづくりや、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備、観光振興による交流人口の拡大、若者をはじめとする雇用の場の確保など、各種施策を推進しています。

プロジェクト

「函館市まち・ひと・しごと創生推進計画」の方向性に沿った各種事業

事業年度・事業費

—
—



食のイベント



■お問合せ先

函館市企画部計画推進室計画調整課

☎ 0138-21-3693

📧 keikakuchosei@city.hakodate.hokkaido.jp

旭川市

人口 320,055人 (2024.2)
主な観光ポイント
さんろく街、旭山動物園、北彩都ガーデン

新時代をリードする北・北海道の中心都市



多くの飲食店が並ぶ「さんろく街」



eスポーツ施設「ICTパーク」

DX×デザイン×食×医療で北海道を牽引

旭川市は、自然と都市機能が調和した日本最北の拠点都市です。DX・デザイン・食・医療を中心としたまちづくりに取り組んでおり、IT企業進出の支援やICT技術を活用した市民サービスの提供、「ユネスコ・デザイン都市旭川」としてのデザイン思考による産業振興や人材育成、安心安全な地場の農産物を活用した食品加工や市場開拓、医療集積の特長を生かした都市機能の充実など、旭川大雪圏の周辺町と連携して様々な事業を展開しています。

令和5年度に生まれ変わった新庁舎を象徴に、新時代をリードしながら魅力あふれるまちづくりを進めていきます。

プロジェクト

先端技術や地域の強みを活用したまちづくり

IT企業進出支援／デザイン推進／農産物等流通拡大支援／旭川大雪圏プロモーション など

事業年度・事業費

令和2年度～

—



新庁舎とともに新時代を歩む



■お問合せ先

旭川市行政改革課

☎ 0166-25-6205

📧 gyoukaku@city.asahikawa.lg.jp

千歳市

人口 97,919人 (2024.2)
主な観光ポイント
支笏湖、新千歳空港、サケのふるさと千歳水族館

賑わいの創出と地域の活性化を図る事業



まちライブラリー



市内から見える空

人と人の関わりがつくる本棚

千歳市街地の重要な憩いの場・交流の場である「まちライブラリー」を運営し、賑わいの創出と地域の活性化を目指します！

蔵書数は約8,000冊で、北海道の作家や自衛隊関連の本のコーナーを設けるなど、千歳ゆかりの本が充実しているのが特徴です。

Wi-Fiを整備しているほか、キッズスペースやドリンクコーナーもご用意しており、お子さんに本を読み聞かせたり、勉強やワークショップが出来たりと、市内有数の交流の場となっております。

プロジェクト

まちなか地域交流推進事業

まちライブラリーの運営

事業年度・事業費

令和6年度～

27,954千円



支笏湖

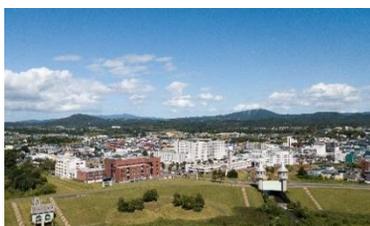


■お問合せ先
千歳市企画部企画課地方創生推進係
☎ 0123-24-0521
✉ seisakusuishin@city.chitose.lg.jp

砂川市

人口 15,447人 (2024.2)
主な観光ポイント
北海道子どもの国、砂川オアシスパーク、砂川ハイウェイオアシス館

安心して暮らし続けられるまちを目指して



砂川市の風景



乳児保健指導

子育て支援等により、住みやすいまちへ

砂川市は、札幌市と旭川市の間に位置し、緑と水辺が広がる自然豊かなまちです。

「これから住みたい」、「帰ってきたい」、「ずっと住み続けたい」と思えるまちづくりの推進に向け、次の取組を進めています。

- 安定した雇用を創出し、地域人材の活躍の場をつくる事業
- 新しい人の流れをつくる事業
- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業
- 安心して暮らし続けることができる地域をつくる事業

プロジェクト

砂川市まち・ひと・しごと創生推進事業

雇用対策／移住定住の促進／観光振興の推進／妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援 など

事業年度・事業費

—

—



義務教育学校(令和8年度開校予定)



■お問合せ先
砂川市総務部政策調整課企画調整係
☎ 0125-74-8767
✉ kikaku@city.sunagawa.lg.jp

富良野市

人口 19,845人 (2024.2)
主な観光ポイント
フラノマルシェ、ニングルテラス、富良野
スキー場

パウダースノー実証事業



富良野の特別なパウダースノーを求めて国内外から多くの方が訪れています

雪質定量化と観光資源化の取り組み

富良野市では、パウダースノーの雪質定量化を通して観光資源化する事業を実施しています。

雪の乾湿を表す「雪水比」をもとに「ふわサラ度予測」を公開しています。空から舞い降りる雪を数字で表すもので、最大数値を100とし、50を超えると極上のパウダースノー（Furano bonchipowder）が楽しめるとして、2023シーズンから試験的に情報発信しています。

今後は、降り積もった雪の定量化に向け、専門家らと検証を進めていきます。

Webサイト <https://bonchipowder.com/>

プロジェクト

Furano bonchi powderプロジェクト

専用ウェブサイトで「ふわサラ度」を予測／bonchi powderのブランディング

事業年度・事業費

令和6年度

11,050千円



Furano bonchi powder



■お問合せ先
富良野市経済部商工観光課
☎ 0167-39-2312
✉ kankou@city.furano.hokkaido.jp

恵庭市

人口 70,294人 (2024.2)
主な観光ポイント
花の拠点（はなふる）

アプリを使ったつながるまちづくり



公式ポータルアプリ えにわか



花の拠点 はなふる

異なる分野をつなげる一体的な施策展開

恵庭市では公式ポータルアプリを開発し、①観光、②市民生活、③経済、④まちづくり、4つの異なる施策をつなげ、楽しみながら歩く工夫により、効果的な健康増進に取り組み、持続可能なまちづくりを目指しています。

- 通年で全世代が参加できる仕組みによる体力・健康増進
- 歩く環境の更なる充実、自転車活用による環境負荷低減
- マイクロツーリズムによる地域経済循環の創出
- 交流人口、関係人口の増加による更なる魅力の拡充

プロジェクト

恵庭らしさを活かした魅力あるまちづくり

新ガーデンデザインプロジェクト推進事業

事業年度・事業費

令和6年度

7,400千円



公式ポータルサイト ロゴ



■お問合せ先
恵庭市企画課企業版ふるさと納税担当
☎ 0123-33-3131
✉ kikaku@city.eniwa.hokkaido.jp

石狩市

人口 57,578人 (2024.2)
主な観光ポイント
道の駅石狩「あいろーど厚田」、はまなすの丘公園、浜益温泉

産業と共に成長する一人ひとりに寄り添った住みよいまちへ



石狩湾新港



トレッキング事業

企業誘致と移住定住の事業を展開

石狩市は札幌市に隣接し、都市の便利さがありつつも、日本海、石狩川など豊かな自然に恵まれたまちです。道内最大級の工業団地である石狩湾新港地域の発展を進め、地域で暮らす住民が住みよい街になるように次の取組を進めています。

- 地域の特性を活かした産業活性化推進事業
- 多世代や外国人が安心して生活できる共生のまち推進事業
- 人のつながりが街の愛着につながるまちづくり事業
- 街の魅力が街の誇りとなるまちづくり事業

プロジェクト

地方創生推進プロジェクト

観光／移住定住／企業誘致／地域公共交通／文化芸術／スポーツ

事業年度・事業費

—
—



観光デジタルマップ



■お問合せ先
石狩市企画経済部企画課
☎ 0133-72-3161
↓ kikaku@city.ishikari.hokkaido.jp

当別町

人口 15,270人 (2024.2)
主な観光ポイント
スウェーデンヒルズ、道民の森

ロイズタウン駅を中心としたまちの新たな周遊空間の創造



ロイズタウン駅と自動運転バス



駅前広場

新駅を活かしたまちの魅力発信拠点へ

大手チョコレート製造メーカーである(株)ロイズコンフェクトの集客機能を兼ね備えた工場の増設を契機に、(株)ロイズコンフェクトと当別町がJR北海道に対し申請した新駅【ロイズタウン駅】が令和4年3月に開業しました。ロイズタウン駅を中心に、ロイズコンフェクトロイズタウン工場、道の駅、いちご観光農園、温泉施設など周遊性を向上させ、当別町の魅力を発信するとともに、交流人口の増加を狙うほか、周辺農地を活用した農業と観光を調和させたまちづくりなどの取組を、公民連携で推進していきたいと考えています。

プロジェクト

新しいまちの顔づくりプロジェクト

農業テーマパークなどの誘致／スマート農業／自動運転実証／5G環境の整備／地中熱の活用

事業年度・事業費

令和2年度～未定
1,590,000千円



自動運転バス



■お問合せ先
当別町企画部事業推進課事業推進係
☎ 0133-23-3198
↓ toshikei@town.tobetsu.hokkaido.jp

知内町

人口 3,900人 (2024.2)
主な観光ポイント
北島ギャラリー、矢越クルーズ、北海道最古の温泉

知内町ふるさと創生事業



農業用ドローン



担い手センター

地域ニーズに応じた総合的な施策

知内町では、全国の過疎地と同様に人口減少や少子高齢化が進んでいます。

そのため、地域産業の活性化や人口減少の抑制、生活利便性の向上、移住・定住の促進、就労人口の確保、省エネ機器等の導入促進に向けた取り組みなど、総合的な対策として「知内町ふるさと創生事業」を実施しています。

目まぐるしく変化する時代に対応したまちづくりに向け、ぜひ、ご支援をよろしくお願いいたします。

プロジェクト ふるさと創生プロジェクト

くらし／産業／子育て／移住定住／再エネ導入促進等に向けた総合的な支援

事業年度・事業費

令和5年度～
38,000千円



知内町（空撮）



■お問合せ先
知内町政策調整課
☎ 01392-5-6161
✉ mono@town.shiruichi.hokkaido.jp

鹿部町

人口 3,553人 (2024.2)
主な観光ポイント
しかべ間歇泉、ひょうたん沼公園

地域経済の好循環拡大と定住移住に取り組む



鹿部漁港と北海道駒ヶ岳



道の駅しかべ間歇泉公園

笑顔あふれ 光り輝くまちづくり

鹿部町では、「第2期鹿部町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標を推進させることで、鹿部町に住む人の年齢や価値観、暮らし方などはさまざまですが、日々の生活を幸せに感じながら、笑顔で住み続ける人が多く見られるまちづくりをめざしています。

また、鹿部町を訪れる人達には、笑顔で暮らしている住民を見て、また来たい、住んでみたいという気持ちや行動がうまれるまちづくりを進めています。

プロジェクト 創生総合戦略に基づく事業

沿岸漁業振興対策事業／拠点観光施設運営事業／教育費の負担軽減／道路ネットワーク など

事業年度・事業費

令和3年度～6年度



鹿部稲荷神社例大祭(稚児行列の子ども)



■お問合せ先
鹿部町企画振興課
☎ 01372-7-5297
✉ kikaku@town.shikabe.hokkaido.jp

江差町

人口 6,806人 (2024.2)
主な観光ポイント
かもめ島、江差追分会館、いにしえ街道

観光客や住民が集う拠点施設を整備 ～北の江の島構想～



江差町のシンボルかもめ島と開陽丸



かもめ島ではマリンスポーツが楽しめる

エエ町江差でエエ時間を

江差町のシンボル「かもめ島」とその周辺の海は、駐車場からも近く春夏秋に安全に遊べる場所として道南でも数少ない自然豊かな海浜公園です。

拠点施設はその自然環境に加え天候を気にすることなく「子育て世代が日常的に集い、交流し、憩う場」とするべく子どもの遊び場を中心に据えつつ、大人のニーズも捉えた施設とし、親子連れにとって道南エリア満足度ナンバーワンの施設を目指します。

プロジェクト

北の江の島拠点施設整備

海の駅「開陽丸」に新たに道の駅機能を付加した観光拠点・町民が集う施設を整備

事業年度・事業費

令和3年度～



実寸大で復原された開陽丸(内部は記念館)



■お問合せ先
江差町まちづくり推進課
☎ 0139-52-6712
✉ etsuko.akiyama@town.hiyama-esashi.lg.jp

乙部町

人口 3,229人 (2024.2)
主な観光ポイント
滝瀬海岸 (シラフラ)、緑柱、元和台海浜公園

住み続けられる魅力あるまちづくり



滝瀬海岸 (シラフラ)



緑柱

持続可能なまちづくりのための総合的な施策

乙部町では「第2期乙部町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重点戦略を推進させることで、少子化対策や地域資源を活用した産業・雇用の場を創出するほか町民が安心して子育て、乙部町に住み続けたいという希望を叶えるためのまちづくりを進めています。

プロジェクト

創生総合戦略に基づく事業

地域産業振興対策／企業立地対策／交流・関係人口創出対策 など

事業年度・事業費

令和2年度～6年度



元和台海浜公園



■お問合せ先
乙部町地域振興対策室
☎ 0139-62-2311
✉ kikaku@town.otobe.lg.jp

せたな町

人口 6,906人 (2024.2)
主な観光ポイント
太田神社、三本杉、パノラマ線

稼ぐ地域づくりと安心して働けるまちづくり



三本杉



パノラマ線

町内各産業の雇用を創出します

地域の事業者等が行う産業活動に対して町が経済的な支援をすることにより、地域産業の活性化と安定・定着を図るとともに若者の雇用創出と定住・定着を促進し、地域雇用活性化を図ることとしています。



太田神社



■お問合せ先
せたな町まちづくり推進課
☎ 0137-84-5111
↓ setanamachidukuri@town.setana.hokkaido.jp

プロジェクト

産業等活性化補助金

農林漁業や商工業などに新規で就く方を支援

事業年度・事業費

令和2年度～6年度
17,000千円 (R6)

黒松内町

人口 2,553人 (2024.2)
主な観光ポイント
歌オブナ林、黒松内温泉「ぶなの森」

訪れたいくなるまちをつくる



道央と道南を結ぶ交通拠点でもある道の駅くろまつない



大人気のドイツパン風ピザ

まちの顔となる「道の駅」のリニューアル

黒松内町の観光の拠点施設である「特産物展示販売施設道の駅くろまつない トワ・ヴェールII」は開館から20年余りが経過し、手作りパンやピザなどでしか味わえないオリジナルの特産品が好評です。

しかし、施設の老朽化が進んでいることや、コロナ禍におけるニューノーマルを踏まえた新たな対応が求められていることから、全面的なリニューアルを行い、これまで以上に観光客や地域住民が集まり交流人口が拡大し、町の活性化に寄与する施設として整備します。

プロジェクト

ブナ里ビレッジプライドプロジェクト

道の駅くろまつないの大規模改修 など

事業年度・事業費

未定



黒松内町の農村の風景



■お問合せ先
黒松内町企画環境課
☎ 0136-72-3376
↓ kikaku@town.kuromatsunai.hokkaido.jp

奈井江町

人口 4,801人 (2024.2)
主な観光ポイント
にわ山森林自然公園、道の駅「ハウスマル
ピ奈井江」、奈井江町文化ホール

奈井江版生涯活躍のまち事業



にわ山からの全景



コンチェルトホール

新たな「ひと」の流れをつくる

地元住民をはじめ、関係人口も含めて、誰もが居場所と役割を持ち、多様な人々とのつながりを持ちながら新たな共奏コミュニティを形成します。

このプロジェクトでは、空いた時間で仕事を選んで行う「しごとコンビニ」事業や地域資源を活かした音楽やコミュニティづくりなど一人一人が活躍できる地域づくりを進めます。

プロジェクト

誰もが躍動し 寄り添い集う全世代共奏のまちづくり

新たな活力を生み出す「しごと」づくり事業／「仕事コンビニ」事業

事業年度・事業費

令和4年度～8年度

589,125千円



■お問合せ先
奈井江町企画財政課政策推進係
☎ 0125-65-2112
↓ kikaku@town.naie.lg.jp

妹背牛町

人口 2,608人 (2024.2)
主な観光ポイント
妹背牛温泉ペベル、遊水公園うらら、妹背牛町カーリングホール

地域特性を最大限に生かしたゼロカーボンシティ事業



公園で遊ぶ子どもたち



導入候補地公共施設群

カーボンニュートラルの実現を目指します

公共施設への太陽光発電設備等の導入調査により明らかとなった福祉ゾーンへの率先的な太陽光発電導入を進めるために、マイクログリッドの構築に向け、今年度は再生可能エネルギーの設備等の導入に係る調査・計画策定を行い、短期間での導入及び利用推進を目指します。また、災害時には避難所等へ電力供給を行い地域防災力の強化に繋げ、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。

プロジェクト

ひとが集う、安心して暮らすことができるまちをつくる

再生可能エネルギーの設備等の導入に係る調査・計画策定

事業年度・事業費

令和6年度

11,000千円



ソーラーパネル設置イメージ



■お問合せ先
妹背牛町企画推進グループ
☎ 0164-34-8581
↓ shinkog@town.moseushi.lg.jp

鷹栖町

人口 6,559人 (2024.2)
主な観光ポイント
パレットヒルズ

オール鷹栖による持続可能な地域づくり拠点形成事業



地域運営組織の活動



関係人口との共創活動

小さな拠点の地域づくり

地域社会で地方創生を担う人材育成と、地域の課題を自ら解決していく仕組みづくりを図る。暮らしを支える小さな拠点を形成していく住民の参画力を最大限に発揮する仕組みづくりを図る。小さな拠点と多様な主体とが、複層的に連携を図って地方創生を進めていくために、民間活力や広域連携、関係人口との関りを、積極的に推進する地域づくりを実現する。

プロジェクト

小さな拠点における地域課題解決の取組み推進

地域の実情に応じて、拠点ごとに住民協議で計画化した課題解決

事業年度・事業費

令和5年度～9年度

88,700千円



大雪山を望む田園風景



■お問合せ先
鷹栖町まちづくり推進課
☎ 0166-74-3831
↓ kikaku2@town.takasu.lg.jp

比布町

人口 3,4577人 (2024.2)
主な観光ポイント
いちご狩り、比布スキー場、良佳村エリア

プロスポーツチームと共に歩むプロジェクト



北海道比布町



VOREAS 北海道

町内各産業の雇用を創出します

比布町ではプロバレーボールチーム「ヴォレアス北海道」の運営主体である(株)VOREASと今後のまちづくりを共に進めるパートナーとして協力協定を締結しました。その取り組みの一環として、解体を予定していた旧中学校校舎を「つながる」をコンセプトに文化・教育、食、娯楽などの複合施設として改修を進めており、令和5年4月には小規模保育所が開業しました。

今後も町とVOREASが一体となり、改修事業を加速させ、町民・VOREAS・町外の方が「つながる」ことを実現したいと思っています。

プロジェクト

旧比布中学校改修補助事業

事業年度・事業費

令和3年度～

1,000,000千円



旧中学校校舎



■お問合せ先
比布町総務企画課総合政策室
☎ 0166-85-2111
↓ seisaku@town.pippu.hokkaido.jp

羽幌町

人口 6,124人 (2024.2)
主な観光ポイント
はぼろバラ園、天売島赤岩展望台、焼尻島
オンコ原生林

町立天売高等学校の魅力化



町立天売高等学校



水産実習

地域の特性を活かした郷土愛の心の育成

羽幌町の沖合に位置する人口300人弱の「天売島」。絶滅危惧種のオロロン鳥やウトウなどの海鳥と人間が共生する世界的にも貴重な島です。

昭和29年に開校した北海道の離島で唯一の町立夜間定時制課程普通科の高等学校で、地域を担う人材の育成という観点にたち、普通科でありながら教育課程の中に地域の基幹産業である水産の授業を取り入れ、関係機関連携のもと水産物の高度利用や漁業加工の必要性及び水産資源保護の重要性を学んでいます。全国からの生徒募集や生活・学習環境の整備など高校存続の取組にご支援をお願いします。

プロジェクト

羽幌町立「天売高校」学びの環境整備プロジェクト

高等学校魅力向上事業

事業年度・事業費

令和2年度～6年度



空から見た天売島



■お問合せ先
羽幌町地域振興課政策推進係
☎ 0164-68-7013
↓ c-seisaku@town.haboro.lg.jp

佐呂間町

人口 4,661人 (2024.2)
主な観光ポイント
サロマ湖、サロマ湖展望台、キムアネップ岬

佐呂間町まち・ひと・しごと創生推進事業



キムアネップ岬



サロマ湖展望台

「活力のある持続可能な地域社会」の実現

「サロマ湖」の認知度の高さを活用した、本町のブランド力向上を目指し、「佐呂間町サポーターズ倶楽部事業」などによる関係人口、交流人口拡大施策と「サロマ大収穫祭」など、町内イベントによる観光振興や首都圏・都市圏、経済交流都市などで開催される各種イベントに参加し、本町のPR活動を積極的に推進することに努めます。

プロジェクト

佐呂間町まち・ひと・しごと創生推進事業

地域間交流、観光・物産の振興

事業年度・事業費

令和2年度～6年度



サロマ大収穫祭



■お問合せ先
佐呂間町企画財政課企画係
☎ 01587-2-1214
↓ kikaku@town.saroma.hokkaido.jp

安平町

人口 7,281人 (2024.2)
主な観光ポイント
早来学園、道の駅「あびらD51ステーション」、葉の花

未来へつながる地域コミュニティ施設の再生プロジェクト

合宿所機能追加

スポーツが可能な
屋内運動場機能追加

非常用電源搭載
施設の耐震化



早来町民センターが生まれ変わります！

地域住民のコミュニティ施設である安平町早来町民センター。北海道胆振東部地震の発災時には避難所や臨時校舎になるなど、地域の拠点として機能を果たしてきました。しかし、施設自体は耐震基準に合致せず、更には町内スポーツ合宿所は地震の影響で使用不可に。そこで当センターを、耐震化と併せて合宿施設や屋内運動場機能を兼ね備えた複合施設として改修整備し、災害時には避難所として、平時には地域のコミュニティ施設や町外スポーツ団体等の活動拠点として生まれ変わります！

プロジェクト

未来へつながる復興まちづくりプロジェクト

防災支援施設改修事業

事業年度・事業費

令和6年度
1,258,000千円



「日本一の公教育を目指すまち、安平町」



■お問合せ先
安平町政策推進課
☎ 0145-29-2751
↓ k-yuuchi@town.abira.lg.jp

日高町

人口 11,089人 (2024.2)
主な観光ポイント
門別競馬場、日高国際スキー場、沙流川オートキャンプ場

「日高町まち・ひと・しごと創生推進計画」に沿った各種事業



沙流川オートキャンプ場



日高国際スキー場

地域の強みや魅力を活かした総合的な施策

山・川・海と豊かな自然環境を有する本町に誇りを持ち、住み続けたいと思えるよう、生涯にわたり安心していきいきと生活できる環境づくり、子育て支援、教育環境の充実を継続的に推進します。また、本町の魅力をPRし、移住・定住につなげるとともに、産業の振興や雇用の創出を目指し地方創生につなげます。

プロジェクト

日高町まち・ひと・しごと創生推進事業

一次産業の振興／子育て支援の充実／住みよい環境づくり／移住・定住施策の推進 など

事業年度・事業費

—

—



移住生活体験ハウス



■お問合せ先
日高町企画財産課
☎ 01456-2-6181
↓ kikaku01@town.hidaka.hokkaido.jp

新冠町

人口 5,135人 (2024.2)
主な観光ポイント
レコード館、サラブレッド銀座、判官館森林公園

思いやりと笑顔あふれるまちづくり



新冠町町並み風景



幌尻岳

多様な連携による地域とひとづくり

企業や住民、多自治体等多様な連携を図り、時代と環境にあった福祉、医療の整備、自然環境の保全や社会基盤、防災未来に繋がるまちづくりに取り組みます。

プロジェクト

思いやりと笑顔あふれるまちづくり事業

医療施設体制の強化／防災・減殺対策／危機管理体制の強化 など

事業年度・事業費

—
—



判官館森林公園



■お問合せ先
安平町政策推進課
☎ 0145-29-2751
✉ k-yuuchi@town.abira.lg.jp

音更町

人口 42,904人 (2024.2)
主な観光ポイント
十勝川温泉、2つの道の駅、白樺並木

ひとが集う、安全・安心で快適に住み続けられるまちをつくる事業



音更町市街地の様子



広大な農村風景

まちの魅力化

誰もが安全・安心でいつまでも快適に過ごすことができるよう、効率的で効果的な行政運営を推進するとともに、地域の多様な担い手の参画と地域内外の連携を図り、町民の生活を取り巻く課題の解決と地域の強みを活かしてまちの魅力化に取り組み、支え合いのまちづくりを推進します。

プロジェクト

まちの魅力化

循環型社会づくりの推進／防災対策の充実／地域福祉の推進／コミュニティ活動の促進 など

事業年度・事業費

令和4年度～6年度

—



美人の湯 十勝川温泉



■お問合せ先
音更町企画財政部企画課
☎ 0155-42-2111
✉ kikakuka@town.otofuke.hokkaido.jp

中札内村

人口 3,888人 (2024.2)
主な観光ポイント
六花の森、六花亭アートヴィレッジ中札内
美術村、花畑牧場

まちなかにぎわいを創出する事業



キッチンスタジオ



飲食スペース

住民同士が交流できる拠点づくり

市街地中心に新しい機能や役割を担い、生活者の利便性や新しいにぎわいを生み出していくために、住民同士が交流できる拠点として「まちなかキッチンスタジオ」を建設し、既存の隣接施設である農村環境改善センターと一体的な運営を行います。

プロジェクト

まちなかにぎわいの拠点施設整備事業

キッチンスタジオ（調理スペース、飲食スペース等）の整備と運営

事業年度・事業費

令和6年度～8年度



キッチンスタジオ外観



■お問合せ先
中札内村産業課産業グループ
☎ 0155-67-2495
✉ s-sangyo@vill.nakasatsunai.hokkaido.jp

浦幌町

人口 4,160人 (2024.2)
主な観光ポイント
昆布刈石展望台、うらほろ森林公園

想いをつないで未来を創る、“わたしたちのまち”うらほろ



昆布刈石展望台



うらほろマラソン「キッズチャレンジ」

子どもを軸とした持続可能なまちづくり

浦幌町では、少子高齢化や人口減少などの地域課題に一体的に取り組むため、「第2期浦幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる基本目標のもと、まちづくりを進めています。

「うらほろスタイル推進事業」では、次世代を担う子どもたちの育成に地域総ぐるみで取り組んでおり、まちに愛着と誇りをもって育った子どもたちが、将来は浦幌に戻ってきたいと思える環境をつくるために、地域・行政・企業で協働するまちづくりを目指します。

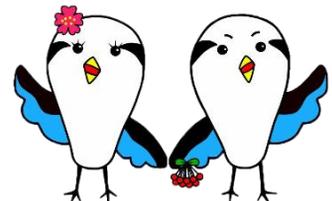
プロジェクト

浦幌町まち・ひと・しごと創生推進事業

うらほろスタイル推進事業／結婚お祝い事業／定住住宅取得補助事業／新規創業等促進事業外

事業年度・事業費

令和2年度～6年度



子どもたちの提案から生まれたキャラクター「うらは・ほろま」



■お問合せ先
浦幌町まちづくり政策課
☎ 015-576-2112
✉ mati@urahoro.jp

釧路町

人口 18,588人 (2024.2)
主な観光ポイント
釧路湿原国立公園、厚岸霧多布昆布森国定公園

釧路町の認知度向上を目指して



釧路湿原



釧路湿原でのカヌーツアー

あらゆるものを超えていく「釧路超」

釧路町はひがし北海道に位置し、2050年に向けたゼロカーボンシティ宣言をするなど、豊かな自然と生きがいあふれるまちを目指しています。

自然・食・文化・暮らしなどのあらゆる分野において多種多様な魅力をアピールするため、新しいキャッチコピーとロゴマークを定めました。

釧路超ロゴを活用したまちのブランディング推進の取り組みを展開していきます。

プロジェクト

釧路超ブランディング推進プロジェクト

町の認知度向上に向けた各種事業

事業年度・事業費

令和6年度

30,761千円



釧路町ロゴ



■お問合せ先
釧路町ふるさと納税推進室
☎ 0154-62-2310
✉ furusato@town.kushiro.lg.jp

厚岸町

人口 8,369人 (2024.2)
主な観光ポイント
道の駅「厚岸味覚ターミナル・コンキリエ」、町のシンボル「厚岸大橋」、桜の名所「子野白公園」

離れたくないまち“あっけし”実現プロジェクト



町民の叫び



厚岸産のカキ&厚岸ウイスキー

私たちの命と暮らしを守ってください！！

生まれ育ったふるさとに住み続けることは地方創生の推進に大きく寄与する重要な施策の一つです。

ブランドカキ「カキえもん」「弁天かき」や「厚岸ウイスキー」などの特産品を全国に送り届け続ける厚岸町を守るため、本事業へのご支援を、どうぞよろしくお願いたします。

～ご寄附をいただいた企業様へのお礼～

新しい施設が完成したあかつきには、完成写真と併せて地区住民から直接、お礼のお手紙を差し上げたいと考えております。

プロジェクト

(仮称) 厚岸町防災交流センター整備事業

津波災害時の避難をより確実なものとするため、津波避難施設を整備

事業年度・事業費

令和4年度～7年度

3,190,275千円



厚岸大橋



■お問合せ先
厚岸町総合政策課
☎ 0153-52-3131
✉ seisaku@akkeshi-town.jp

中標津町

人口 22,411人 (2024.2)
主な観光ポイント
開陽台展望台、格子状防風林

外国『人財』の誘致と多文化共生のまちづくり



町民と在留外国人との地域交流



日本語学校

海外の成長エネルギーを地域の活力へ

中標津町では、令和3年4月に開校した日本語学校を中心に、その留学生を含めた多文化共生の推進を図っています。人口減少・少子高齢化が進行する中、町の産業人材の不足に対応するためには、外国人材を地域における貴重な『人財』として、海外の成長エネルギーや新たな発想力を地域の活力とする事が重要であり、海外プロモーションによる外国人材の誘致や、日本語学校留学生に対する生活支援、地域交流を進め、町の活性化を図ります。

プロジェクト

外国人材誘致推進事業・多文化共生推進事業

外国人材誘致に向けた海外プロモーション／日本語学校留学生支援／留学生地域交流 など

事業年度・事業費

令和5年度～

—



留学生母国紹介



■お問合せ先
中標津町総務部政策推進課
☎ 0153-73-3111
↓ kikaku@nakashibetsu.jp

釧路市

人口 157,288人 (2024.2)
主な観光ポイント
釧路湿原、和商市場、阿寒湖

特別天然記念物北海道タンチョウ生息域外保全促進事業



学術交流



台湾で生まれたヒナ（リーホー）

ヒナ「哩鶴」のペアリングに向けて

2011年、生息域外保全を目的として台湾へ渡り、台北市立動物園で飼育・展示されている釧路市動物園所有の北海道タンチョウ「ビッグ」と「キカ」に2022年待望のヒナ「哩鶴（リーホー）」が誕生。今後も北海道タンチョウとおした両園による生息域外保全への促進を図り、将来は台湾で誕生したヒナたちが本来の生息地である北海道に戻り放鳥させるなど、野生個体群の保全につながる事業を目指す。

プロジェクト

北海道タンチョウの生息域外保全の促進プロジェクト

技術向上を目的とした両園による学術交流の実施とペアリング候補となるタンチョウの移送

事業年度・事業費

令和7年度～11年度

30,000千円



母（キカ）とヒナ（リーホー）



■お問合せ先
釧路市教育委員会生涯学習部動物園ソル担当
☎ 0154-56-2121
↓ zoo-crane@city.kushiro.lg.jp

長万部町

人口 4,832人 (2024.2)
主な観光ポイント
おしゃまんべ公園、あやめ公園、地域のマイクログリッド

地域のマイクログリッド化事業



東京理科大学長万部キャンパス



長万部町けがにまつり

災害に強い街をつくりたい！

長万部町は胆振東部地震によるブラックアウトや水柱噴出による水害等、災害に直面しました。2023年度には「ゼロカーボンシティ長万部」を宣言し、町の拠点となる各公共施設から脱炭素化を進めながら、防災・再エネ導入による脱炭素化や経済の活性化を図ります。

プロジェクト

地域のマイクログリッド化事業

防災拠点となる公共施設への太陽光設備、蓄電池設置、公共施設のLED化、EVの導入

事業年度・事業費

令和6年度～



EV車



■お問合せ先
長万部町まちづくり推進課
☎ 01377-2-2450
↓ m.s-k@town.oshamambe.lg.jp

乙部町

人口 3,229人 (2024.2)
主な観光ポイント
滝瀬海岸(シラフラ)、緑桂、元和台海浜公園

交流・関係人口や観光客の増加に向けて



宮の森公園



シラフラ展望台

滝瀬海岸（シラフラ）環境整備事業を提供

乙部町は北海道の南西部に位置し、日本海側ならではの様々な岬などの観光資源を活かし、交流・関係人口や観光客の増加に向けた取組を進めています。

中でも、滝瀬海岸（シラフラ）の展望台や駐車場、海岸への階段等を整備するリノベーションを図り、観光地としての魅力や町の知名度の向上及び観光客の増加を目指していきます。

プロジェクト

滝瀬海岸(シラフラ)環境整備事業

滝瀬海岸（シラフラ）の展望台や駐車場、海岸への階段等を整備するリノベーションを図り、観光地としての魅力や町の知名度の向上及び観光客の増加を目指す

事業年度・事業費

令和5年度～6年度



シラフラ



■お問合せ先
乙部町総務課企画係
☎ 0139-62-2311
✉ kikaku@town.otobe.lg.jp

京極町

人口 2,787人 (2024.2)
主な観光ポイント
ふきだし公園、羊蹄山

北海道遺産「ふきだし湧水」を守る



ふきだし公園湧水口



ふきだし公園下池（逆さ羊蹄）

羊蹄山が育む豊かな水資源

蝦夷富士「羊蹄山」に降った雪や雨が長い年月をかけて濾過され流れ出る「京極のふきだし湧水」は、1日に約8万トン、30万人の生活水に匹敵する湧水量を誇る国内最大級の湧水であり、おいしい水を求めて多くの人を訪れます。北海道遺産や名水百選にも選ばれている、この自然の恵みを次の世代に残していくため、「ふきだし湧水」の保全と活用を目的として、水源地周辺の植樹や隣接するふきだし公園施設などの環境整備を進めていきます。

プロジェクト

水資源の保全と活用

水源地周辺の植樹／公園施設等の環境整備

事業年度・事業費

令和2年度～



ふきだし公園内のリス



■お問合せ先
京極町企画振興課
☎ 0136-42-2111
✉ kikaku@town-kyogoku.jp

長沼町

人口 10,056人 (2024.2)
主な観光ポイント
道の駅「マオイの丘公園」

タンチョウも住めるまちづくり



舞鶴遊水地で繁殖したタンチョウ親子
(提供：タンチョウも住めるまちづくり検討協議会)



長沼舞鶴小学校(令和2年3月閉校)

タンチョウが繁殖した遊水地や小学校跡地を活用した拠点づくり

長沼町はかつて沼や湿原が広がり、タンチョウの繁殖地として知られていました。「環境保全」と「産業振興」の両立を目指して、平成28年度から「タンチョウも住めるまちづくり」を開始し、令和2年、町内の治水施設・舞鶴遊水地でタンチョウの雛が100年以上ぶりに誕生しました。タンチョウの保護と主要産業である農業との共生、持続可能な観光を実現するため、舞鶴遊水地を核に近隣の長沼舞鶴小学校跡地（令和2年3月閉校）等を活用した「田園と自然の共生拠点」整備構想を検討しています。

プロジェクト

舞鶴遊水地周辺を活用した交流拠点づくり

田園と自然の共生施設整備

事業年度・事業費

未定



舞鶴遊水地の自然を活用した環境学習
(奥の建物は観覧施設「鳥の駅マオイトー」)



■お問合せ先
長沼町政策推進課
☎ 0123-76-8016
✉ seisakusuishinka@ad.maoi-net.jp

栗山町

人口 10,885人 (2024.2)
主な観光ポイント
いきもの里オオムラサキ館

ハサンベツ里山の保全活動事業



薪づくり体験



田植え体験

豊かな自然と子どもの笑顔を次世代に

市街地に隣接した栗山町ハサンベツ地区一帯は、約20年の歳月をかけ「人と自然との共生」をテーマとした自然体験教育フィールドに再生しました。これまでに、ホテル・トンボ水路の整備や、子ども達が遊べる小川や体験田んぼの造成、ハサンベツ川の環境再生など町民主体の里山計画を実践しており、現在子ども達がこの環境を活用した自然体験教育を行っています。今後もこの豊かな自然環境と子ども達の笑顔を次世代へ残し続けるため、保全活動事業を進めていきます。

プロジェクト

自然環境の保全・再生活動への支援

ハサンベツ里山の整備／自然体験教育の充実

事業年度・事業費

令和2年度～



自然体験教育



■お問合せ先
栗山町教育委員会社会教育課
☎ 0123-72-1117
✉ syakaikyoku-g@town.kuriyama.hokkaido.jp

東神楽町

人口 9,813人 (2024.2)
主な観光ポイント
東神楽森林公園、森のゆ花神楽、ウバシの森

ゼロカーボン象徴！緑に囲まれた新庁舎！



新庁舎（正面）



新庁舎（鳥瞰）

豊かな森林資源の回復を目指す

役場機能を含めた新しい町のシンボルとなる複合施設を整備します。東神楽町出身の建築家で、2025年大阪・関西万博会場デザインプロデューサーを務める藤本壮介氏が設計し、環境や景観に配慮したプランが完成しました。既存の建物を活かしつつ、円形回廊などを巧みに組み合わせ、新施設全体を取り囲むように木々を配しています。自然との調和がとれた「緑に囲まれた新庁舎」は、全国でも他に例を見ません。正面には「花のまち」らしい約3,600㎡の美しいガーデンを造成予定であり、いただいた寄附金はガーデンの整備に活用させていただきます。

プロジェクト

東神楽町複合施設整備事業

ゼロカーボンのシンボルとなる複合庁舎のガーデン整備

事業年度・事業費

令和5年度～6年度

158,620千円



新庁舎（外道）



■お問合せ先
東神楽町まちづくり推進課
☎ 0166-83-2113
↓ kikaku@town.higashikagura.lg.jp

東川町

人口 8,562人 (2024.2)
主な観光ポイント
旭岳温泉、天人峡温泉、キトウシの森

天人峡地区の復興へ向けて



天人峡の景色（春・秋）



天人峡のシンボル「柱状節理」

日本が誇る美しい景観地を取り戻す

大雪山国立公園に指定されている天人峡は、複数軒あった温泉宿が、現在1軒の宿を除き、温泉宿の建物が廃墟と化し、美しい景観が阻害された状況となっています。日本が誇る美しい景勝地を取り戻すため、林野庁、環境省、国土交通省、北海道、地元東川町、美瑛町と連携し、天人峡温泉地区の復興を目指します。

プロジェクト

天人峡地区の復興へ向けて

廃屋撤去・跡地造成、天人峡復興の取組

事業年度・事業費

令和4年度～

250,000千円



写真の町宣言



■お問合せ先
東川町企画総務課
☎ 0166-82-2111
↓ sousei@town.higashikawa.lg.jp

厚真町

人口 4,282人 (2024.2)
主な観光ポイント
大沼野営場、浜厚真海岸

被災から、森林再生に向けて



被害木を整理した斜面



地震により崩壊した森林

豊かな森林資源の回復を目指す

平成30年北海道胆振東部地震により、町内では3,200ha (32km²) を超える森林が崩壊しました。発災前の森林へ再生させるには、長い年月とともに多額の費用もかかります。下流域の災害対策や漁業の観点からの土砂の流出防止等、ゼロカーボンに向けたCO2吸収源としても捉えながら、森林資源の回復を図っています。

いただいたご寄付は、作業道の整備、被災機木の搬出、植栽の実施、定期的な間伐等に活用する予定です。また、企業版ふるさと納税に限らず、企業の皆様との連携もあわせて行っています。

プロジェクト 森林再生プロジェクト

作業道の整備／被災木の搬出／植栽／定期的な間伐 など

事業年度・事業費

—
—



植樹活動の様子



■お問合せ先
厚真町まちづくり推進課
☎ 0145-27-3179
↓ kikaku@town.atsuma.lg.jp

鹿追町

人口 5,036人 (2024.2)
主な観光ポイント
大雪山国立公園「然別湖」、神田日勝記念美術館、とかち鹿追ジオパーク

「バイオガスプラント」を核としたまちづくり



MIRAI COUNTRY プロジェクト



中鹿追環境保全センター施設

鹿追型ゼロカーボンシティの推進

「脱炭素先行地域」に選定されている鹿追町で実施する、バイオガスプラントの充実や水素エネルギーの活用といった脱炭素に向けた先進的な取組を推進し、多様なエネルギー循環と地域のレジリエンス強化、環境価値の向上を図り、2030年までに2019年比で49%の二酸化炭素削減を目指す事業です。

リンク：<https://www.town.shikaoi.lg.jp/kigyuu/about/>

プロジェクト MIRAI COUNTRY創生事業

公共施設ZEC化整備事業／ゼロカーボンパーク化事業 など

事業年度・事業費

令和4年度～12年度



ZERO CARBON
HOKKAIDO
SHIKAOI

バイオガスプラント ロゴ



■お問合せ先
鹿追町総務課
☎ 0156-66-2311
↓ soumu@town.shikaoi.lg.jp

鹿追町

人口 5,036人 (2024.2)
主な観光ポイント
大雪山国立公園「然別湖」、神田日勝記念美術館、とかち鹿追ジオパーク

とかち鹿追ジオパークと共に持続可能な未来へ



鹿追町全景



然別風穴（ふうけつ）地帯

大地を感じるストーリー

とかち鹿追ジオパークは、北海道十勝地方の北西部に位置する、鹿追町全域をエリアとするジオパークで、火山と寒冷な気候下でつくられた地形や地質、育まれている生態系や人の営みが特徴です。

当ジオパークでは、地域の活性化と同時に地域の地形地質を含む自然遺産・文化遺産を保全し、次の世代へ繋げる取り組みを行なっています。

これらの活動は、SDGsや鹿追町が掲げるゼロカーボンシティ宣言と協調し行われ、地域全体でより良い未来について考え活動しています。

リンク：<https://www.shikaoi-story.jp>

プロジェクト

火山と凍れが育む命の物語

地域資源の保護・保全活動／教育活動／地域振興・ツーリズム／ネットワーク活動 など

事業年度・事業費

平成25年度～



とかち鹿追ジオパーク
ジオパーク ロゴ



■お問合せ先
鹿追町総務課
☎ 0156-66-2311
✉ soumu@town.shikaoi.lg.jp

鶴居村

人口 2,500人 (2024.2)
主な観光ポイント
つるいむら湿原温泉ホテル、どさんこ牧場、鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

自然環境に配慮した森づくりを目指して



高密度に整備された路網



釧路湿原の上流森林として

上流森林として自然に配慮した森づくりを

釧路湿原国立公園の上流域に位置する鶴居村では、上流森林として特に自然環境に配慮した森林施業を率先して実施しており、高密度な路網を整備することによって、これらの施業を行うことができるほか、昨今ではマウンテンバイクコースや乗馬コース等に利用するなど、多面的な利用を行っています。

これらを推進することによって、鶴居村の林業を衰退させないよう安定した事業量を確保しつつ、周辺環境の保護・保全を図るとともに地域観光等を活性化させます。

プロジェクト

森林整備推進プロジェクト

村有林の森林整備推進をはじめ、私有林の森林整備推進が図られる施策を実施する

事業年度・事業費

令和5年度～

100,000千円 (R5)



手入れが行き届いた森林



■お問合せ先
鶴居村企画財政課
☎ 0154-64-2112
✉ tsuruiumurazukuri@vill.tsurui.lg.jp

羅臼町

人口 4,350人 (2024.2)
主な観光ポイント
道の駅「知床・らうす」、前浜の観光船、羅臼湖

世界自然遺産地域で取り組むゼロカーボンシティ



地熱エネルギーの活用



太陽光等自然エネルギー活用

脱炭素社会の実現を目指して

世界自然遺産「知床」羅臼町は、2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現を目指してゼロカーボンシティを表明し、豊富な自然資源を最大限に活用しつつ、温泉熱をはじめとする再生可能エネルギーを起点とした地域活性化を図るとともに、サステイナブルな地域として持続的に発展し続ける地域を目指します。

プロジェクト

ゼロカーボンシティ推進事業

再生可能エネルギー導入可能性調査／ブルーカーボンの取組／地熱水の適正管理

事業年度・事業費

令和6年度～未定



E V 自動車の導入



■お問合せ先
羅臼町企画振興課
☎ 0153-87-2114
↓ kikaku.r@rausu-town.jp

帯広市

人口 162,155人 (2024.2)
主な観光ポイント
ばんえい競馬、食べ物、キャンプ

フードバレーとかちマラソン



フードバレーとかちマラソン

走る×自然×食で、交流人口を拡大!

広大な“フードバレーとかち”の畑の眺めや面前に広がる“日高山脈”の雄大さを感じられるマラソン大会となっています。全国的にも日照日が高く、“とかち晴れ”と呼ばれるほどスッキリとした青空と秋の涼しさを感じながら走ることができ、全国各地からもたくさんのランナーに出場いただいています。

また、ゴール後には食料自給率が全国トップレベルである十勝の食材を存分に使った絶品料理を堪能できます。参加者の満足度をさらに上げ、大会を通して交流人口を増加させるため、協働していただければ幸いです。

プロジェクト

フードバレーとかちマラソンによる交流人口の増加

健康促進／観光／スポーツ／産業／市民協働 など

事業年度・事業費

平成24年度～



移住就職応援プラン



■お問合せ先

帯広市教育委員会生涯学習部
スポーツ室スポーツ課

☎ 0155-65-4210

📧 sports@city.obihiro.hokkaido.jp

北見市

人口 111,405人 (2024.2)
主な観光ポイント
ハッカ記念館、ピアソン記念館

トップアスリートのニーズに対応する先導的なカーリングホルルの活用



アルゴグラフィックス北見カーリングホール



最先端の競技力向上支援システム

合宿関連産業への経済波及効果を期待

北見市では、地域資源であるカーリングを活用した地方創生を推進しています。令和2年10月には、北見工業大学の最先端スポーツ科学研究を実用化した高度な競技力向上支援機能を有する先導的な施設「アルゴグラフィックス北見カーリングホール」がオープンしました。

当施設を活用し、合宿誘致や体験型観光、北京オリンピックで銀メダルを獲得した女子チーム「ロコ・ソラーレ」の後進となる人材の育成、国内外大会の開催、小中学校の授業での活用など、カーリングの持続的発展と地域の活性化に向けて様々な取組を進めていきます。

プロジェクト

地域資源カーリングを活かした交流人口拡大プロジェクト

合宿誘致／国内外大会の開催／人材育成 など

事業年度・事業費

令和2年度～



カーリングのまち北見市



■お問合せ先

北見市企画財政部企画課

☎ 0157-25-1103

📧 kikaku@city.kitami.lg.jp

美唄市

人口 19,332人 (2024.2)
主な観光ポイント
宮島沼、アルテピアッツァ美唄

ベースボールを核とした地域活性化



美唄ブラックダイヤモンドズ



清掃ボランティア活動

美唄からNPBへ！若者の夢を応援！！

北海道初の野球独立リーグの立ち上げ当初から、美唄市に本拠地を置く球団「美唄ブラックダイヤモンドズ」。野球や地域活動等を通じ、労働力不足の解消や交流人口の増加、関係人口の創出、コミュニティの形成、シビックプライドの醸成など地域に大きな活力をもたらしています。本プロジェクトで集まった寄附は、球場等の環境整備、スポーツを通じたこどもの育成・地域の振興、交流人口・関係人口拡大事業など、地域活性化に向けた取組に広く活用します。

プロジェクト

「美唄ブラックダイヤモンドズ」応援プロジェクト

球場等の環境整備／スポーツを通じたこどもの育成／交流人口・関係人口拡大など

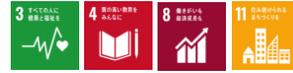
事業年度・事業費

令和3年度～

15,000千円



市内の子どもたちと交流



■お問合せ先
美唄市企画財政課戦略係
☎ 0126-35-7751
↓ kikaku@city.bibai.lg.jp

名寄市

人口 25,315人 (2024.2)
主な観光ポイント
ピヤシリスキー場、天文台

冬季スポーツ拠点化プロジェクト



クロスカントリースキー合宿



カーリングジュニアキャンプ

冬季スポーツ拠点化とジュニア世代の育成強化

名寄市では、スポーツを通じて子どもたちの「生きる」を育む環境づくりを進めるとともに、スポーツによる市民の健康づくりや交流人口拡大・地域経済活性化を図り、スポーツによる幅広い地域振興を推進しています。本プロジェクトは産官学連携組織のNスポーツミッションを中心として、世界的にも価値が高まっている天然雪などの自然環境や集約された冬季スポーツの施設環境の強みを生かして、合宿・大会誘致や子どもたちの体力・競技力向上を推進するとともに、冬季スポーツを通じて故郷への誇りと愛着を持てる人づくりに取り組んでいます。

プロジェクト

冬季スポーツ拠点化プロジェクト

全道・全国規模の大会開催／ジュニア世代を対象としたトレーニング・教育プログラムの提供 など

事業年度・事業費

令和2年度～8年度

370,000千円



名寄市ピヤシリシャンツェ



■お問合せ先
名寄市総合政策部スポーツ・合宿推進課
☎ 01654-2-2218
↓ ny-sport@city.nayoro.lg.jp

深川市

人口 18,643人 (2024.2)
主な観光ポイント
まあぶオートキャンプ場、市内観光果樹園

「スポーツ」がもたらす効果でコロナ禍や人口減少に負けないまちづくり



ホクレン・デ・イスタスチャンツ 深川大会



エフパシオのトレーニング室

スポーツを核とした地域活性化を目指して

深川市では、冷涼な気候と市内のスポーツ施設を活用し、陸上競技を中心とするスポーツ合宿招致を重要施策として取り組んでいます。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、数多くの合宿やスポーツイベントのキャンセルが相次ぎ、飲食・旅館業などでも深刻な影響を受けています。

このようなコロナの影響のほか、人口減少に負けない強いまちづくりを目指して、スポーツに関連する4つの柱を軸に、各種施策に取り組みます。

プロジェクト

「北のスポーツ都市ふかがわ」によるスポーツを核とした地域活性化プロジェクト

市民参加型スポーツイベント等の開催、スポーツ合宿招致活動の強化 など

事業年度・事業費

令和4年度～6年度

15,000千円

▼スポーツを通じた4つの柱

★自ら行うスポーツ

市民参加型の「運動きっかけ教室」などの開催

★呼び込むスポーツ

イベントの開催や合宿招致促進

★携わるスポーツ

指導者養成講習会などの人材育成

★育てるスポーツ

スポーツを通じた次世代人材育成



■お問合せ先

深川市企画総務部まち未来推進課企画係

☎ 0164-26-2246

📧 machimi@city.fukagawa.lg.jp

北広島市

人口 56,870人 (2024.2)
主な観光ポイント
北海道ボールパークFビレッジ、エルフィンロード、旧島松駅通所

北海道ボールパークFビレッジ J R新駅建設プロジェクト



エスコンフィールド北海道



小さなまちの、大きな挑戦

北広島市は、2023年3月に、北海道日本ハムファイターズの新球場「エスコンフィールドHOKKAIDO」を核とした「北海道ボールパークFビレッジ」が開業したまちであり、挑戦しつづけるまちです。

このFビレッジの隣接地に、J R新駅を整備するための取組を推進しており、2027年度の開業を予定しております。J R新駅の整備で北海道の新たなランドマークとして更なる地方創生を推進していきます。

プロジェクト

J R新駅建設プロジェクト

J R千歳線への新駅整備

事業年度・事業費

令和5年度～9年度

8,500,000～9,000,000千円



出典：北海道旅客鉄道株式会社のJ R新駅イメージ図



■お問合せ先

北広島市企画部企画課

☎ 011-372-3311

📧 kikaku@city.kitahiroshima.lg.jp

東川町

人口 8,562人 (2024.2)
主な観光ポイント
旭岳温泉、天人峡温泉、キトウシの森

世界中の写真と出逢い、世界中の人々がふれあい、世界中が笑顔に溢れる写真文化首都



写真甲子園



国際写真フェスティバル

写真文化首都の創造を目指して

1985年に「写真の町」を宣言し、写真文化を通じて潤いと活力のある町づくりに取り組み、写真文化と世界中の人々を繋ぐ「写真文化首都」の創造を目指しています。現在、日本は過疎・過密の二極化が進行している中、写真文化の首都として地方から世界へ写真文化を発信するために「写真甲子園」をはじめとした写真の町に関わる事業や写真文化のアーカイブスなどの取組を行い、写真文化首都を推進します。

プロジェクト

写真文化首都「写真の町」プロジェクト

写真甲子園の開催／写真文化アーカイブス事業 など

事業年度・事業費

令和2年度～
200,000千円



写真の町宣言



■お問合せ先
東川町企画総務課
☎ 0166-82-2111
↓ sousei@town.higashikawa.lg.jp

東川町

人口 8,562人 (2024.2)
主な観光ポイント
旭岳温泉、天人峡温泉、キトウシの森

「デザインミュージアムの実現に向けて」



デザインミュージアム (イメージ1)



デザインミュージアム (イメージ2)

旭川家具産地で家具デザイン文化を世界へ

大雪山を望む旭川家具をはじめとした全国的に名高い家具の産地。

東川町では、建築家隈研吾氏との連携を進め、KAGUデザインコンペによる学生の人材育成や、新たな暮らしのデザインを発信しています。

そんな「旭川家具産地」であるこの地域で、「家具デザイン文化」を世界へ発信するデザインミュージアムの実現を目指します。

プロジェクト

「デザインミュージアムの実現に向けて」

KAGUデザインミュージアムの実現

事業年度・事業費

令和4年度～
2,000,000千円



写真の町宣言



■お問合せ先
東川町企画総務課
☎ 0166-82-21111
↓ sousei@town.higashikawa.lg.jp

上富良野町

人口 10,000人 (2024.2)
主な観光ポイント
土の博物館「土の館」

活火山の恵みと脅威を活力に

～「十勝岳」魅力再発見プロジェクト～

北海道を代表する秀峰であり、数多くの恵みと時に大きな災いをもたらす町のシンボル、十勝岳。上富良野町では、国内外から多くの観光客を呼び込む不動のコンテンツとして十勝連峰の魅力を最大限に活かしてまいります。

代表的な取組として、活火山である十勝岳がかつて上富良野に惨劇をもたらした噴火泥流災害にまつわる実話を基に、昭和文壇を代表する作家・三浦綾子が著した小説『泥流地帯』の実写映画化を目指しています。

大規模自然災害が頻発する昨今、96年前に「全滅」と言われながらも奇跡と称される復興を果たした上富良野開拓民の物語を、企業の皆様とともに全国のスクリーンにお届けできるよう、ご支援をお待ちしています。

※詳しくは当プロジェクトPRページをご覧ください。

<http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp/index.php?id=2137>

プロジェクト

三浦綾子『泥流地帯』映画化プロジェクト

二度にわたる噴火災害の実話を元にした映画の製作・全国のスクリーンへ届けるための支援

事業年度・事業費

平成29年度～

80,000千円



三浦綾子『泥流地帯』映画化プロジェクト



■お問合せ先

上富良野町企画商工観光課

☎ 0167-45-6983

📧 shouko@town.kamifurano.lg.jp

遠軽町

人口 18,000人 (2024.2)
主な観光ポイント
瞰望岩、太陽の丘えんがる公園

10トンディーゼル機関車に再び汽笛を



10トンディーゼル機関車搬入



森林鉄道蒸気機関車雨宮21号

全国に類を見ない「森林鉄道の聖地」に向けて

国内で唯一動態保存されている森林鉄道蒸気機関車「雨宮21号」は「木のまち」遠軽町の象徴として、住民運動によりスクラップを免れた貴重な産業遺産です。

町ではこの「雨宮21号」を中心に全国に類を見ない「森林鉄道の聖地」を目指しており、このたび新たに、昭和31年製造の10トンディーゼル機関車を復元するロマンあふれるプロジェクトを実施しています。

■「10トンディーゼル機関車」製造年：昭和31年／製造会社：協三工業（福島県福島市）

昭和31～昭和35年 北海道濁川森林鉄道（滝上町）
昭和36～昭和40年 長野県王滝森林鉄道（長野県上松町）
昭和51～平成30年 愛知県瀬戸市自然休養林（動態保存）
平成30年10月～ 遠軽町丸瀬布森林公園いこいの森入線

プロジェクト

ロマンあふれる「森林鉄道の聖地」10トンディーゼル機関車動態復元等整備プロジェクト

10トンディーゼル機関車の復元

事業年度・事業費

未定

2,100千円



雨宮21号が走行するいこいの森キャンプ場



■お問合せ先

遠軽町総務部企画課

☎ 0158-42-4818

📧 kikaku@engaru.jp

厚真町

人口 4,282人 (2024.2)
主な観光ポイント
浜厚真海岸、大沼野営場

「浜厚真」を盛り上げたい！



白浜を攻めるサーファー



キッズ対象のサーフィン

「訪れたい交流拠点」を目指して

厚真町最南端に位置する臨海ゾーンには、年間約6万人のサーファーが訪れるサーフスポット浜厚真海岸のほか、ATV（四輪バギー）オフロードパークやサッカー場、フェリーターミナルなどが立地しています。

町ではこの臨海ゾーンをさらに魅力あふれる「訪れたい交流拠点」として環境を整え、地方創生の一助にしたいと考えています。

サーフィンの世界大会等イベント誘致や周辺環境の整備に対し、企業の皆さまのご支援をお願いいたします。

プロジェクト

浜厚真臨海ゾーン活性化プロジェクト

イベント誘致／周辺環境整備 など

事業年度・事業費

—
—



砂浜が続く浜厚真海岸



■お問合せ先
厚真町まちづくり推進課
☎ 0145-27-3179
↓ kikaku@town.atsuma.lg.jp

浦河町

人口 11,401人 (2024.2)
主な観光ポイント
優駿さくらロード

浦河町出身 田中光敏監督による映画製作の実現



浦河町出身 田中光敏監督



1950年代の砂漠化したえりも岬

先人が残した日本人のあるべき姿を未来へ

浦河町では、様似町、えりも町及び広尾町と連携して浦河町出身の田中光敏監督によるえりも岬の緑化事業を題材とした映画化の実現に向けて取り進めております。

これは、1950年代に森林伐採で砂漠化した荒れ地に地元漁師らが木を植え続け、豊かな森と海をよみがえらせた史実です。

日本の先人が残した自分たちの魂、日本人のあるべき姿を未来へ伝え残すため、映画製作の実現に向けて皆様のご協力をお願いします。

プロジェクト

「北の流水(仮題)」映画製作応援プロジェクト

事業年度・事業費

令和2年度～
350,000千円



蘇った森と海



■お問合せ先
浦河町商工観光課
☎ 0146-26-9014
↓ kanko@town.urakawa.hokkaido.jp

様似町

人口 3,867人 (2024.2)
主な観光ポイント
アポイ岳、親小岩、エンルム岬

映画「北の流氷（仮題）」制作の実現に向けて



えりも（現在）



えりも（当時）

映画化に向けてぜひ応援してください！

様似町・浦河町・えりも町・広尾町の四町では、各町が協力して、浦河町出身の田中光敏監督による、えりも町の緑化事業を題材とした映画制作の実現に向けて取り組んでいます。

実話に基づくこの映画をより多くの方に見ていただき、日本の先人が残した自分たちの魂、日本人のあるべき姿を未来へ伝え残したいという思いで事業を進めています。

プロジェクト

映画「北の流氷」（仮題）の製作事業

映画製作／準備委員会への参加 など

事業年度・事業費

令和2年度～



周辺マップ



■お問合せ先
様似町企画調整課
☎ 0146-36-2122
✉ kikakutyouseika@samani.jp

幕別町

人口 25,554人 (2024.2)
主な観光ポイント
明野ヶ丘公園 ビラ・リ、忠類ナウマン公園、十勝ヒルズ

幕別町アイヌ文化拠点空間整備事業



アイヌ文化拠点（イメージ）



ナウマン象

第2のウポポイを幕別町に

アイヌの人々が誇りを持って築き上げてきた伝統文化を次世代に継承し、その素晴らしさを広く伝えるため、幕別町は「第2のウポポイ」を目指して地域を挙げてアイヌ文化の保存伝承の拠点となる施設を整備し、アイヌ文化の展示・保存、研修、体験ができる一体的空間を作ります。儀式や文化伝承活動、交流の場となる生活館棟と、歴史的価値の高いアイヌ文化資料を収蔵・展示する展示館棟の建設、昭和に地元アイヌが建設した宝物堂の耐震改修を行います。全国を対象に公設では初のアイヌ語の公営塾を現地・リモート開催するなど、ソフト事業の充実を図ります。

プロジェクト

幕別町アイヌ文化拠点空間整備事業

生活館棟／展示館棟の建設／宝物堂の移設改修／アイヌ文化伝承事業／チセの復元 など

事業年度・事業費

令和5年度～7年度

1,394,000千円



町章



■お問合せ先
幕別町企画総務部政策推進課
☎ 0155-54-6610
✉ seisakutanto@town.makubetsu.lg.jp

鶴居村

人口 2,500人 (2024.2)
主な観光ポイント
音羽橋、伊藤・タンチョウサンクチュアリ、
鶴見台

音楽祭による新たな地域文化の創出に向けて



村内在住の指揮者「石川征太郎」氏



スポーツ・健康増進施設ファミスポ・アップ

むらの子ども達に音楽を

鶴居村の文化・芸術活動を推進することを目的に、鶴居村民スポーツ・健康推進施設（体育館）をはじめ、豊かな自然環境を活かした音楽祭を実施します。

単なる演奏会を開催するだけでなく、村内小中学校で子ども達にプロの演奏家による演奏を届ける他、少人数で活動に制限のある鶴居中学校吹奏楽部との共同演奏実施の計画等を図ります。

この音楽祭の実施に当たっては、村内在住の指揮者「石川征太郎」氏に監修をしてもらいます。

プロジェクト

音楽祭プロジェクト

演奏会を開催するだけでなく、週末を通して音楽を楽しむことができる取り組みを行う

事業年度・事業費

令和5年度～

3,000千円



特別天然記念物「タンチョウ」



■お問合せ先

鶴居村企画財政課

☎ 0154-64-2112

↓ tsuruimurazukuri@vill.tsurui.lg.jp

白糠町

人口 7,112人 (2024.2)
主な観光ポイント
アイヌミュージアム「ボコロ」

「ウレシパ・シラリカ」ロケツーリズム推進プロジェクト



白糠アイヌ協会天内会長とプロジェクトロゴ



『シサム』今秋、全国公開©映画「シサム」製作委員会

アイヌ民族をテーマにした映画制作

先住者であるアイヌの人々によって白糠町の礎が築かれた歴史的な経過・背景を踏まえ、まち全体がイオル（伝統的な生活空間）であるという認識のもと、ウレシパ（互いに育む）の意識でまちづくりを進めてきました。

国内外においてアイヌ文化の復興・創造に向けた機運が高まっている中、本町を拠点にアイヌ民族をテーマにした映画制作が決定したことから、全町を挙げて支援・協力を行うとともに、作品や撮影終了後のセットなどを新たな観光資源として広く発信し、持続的な交流人口・関係人口の創出・拡大と地域の活性化を図ります。

プロジェクト

「ウレシパ・シラリカ」ロケツーリズム推進プロジェクト

アイヌ民族をテーマにした映画制作に対する支援・協力及び新たな観光資源としての活用

事業年度・事業費

令和2年度～6年度

500,000千円



「映画『シサム』キャスト陣」



■お問合せ先

白糠町企画総務部企画財政課

☎ 01547-2-2171

↓ kikakuchosei@town.shiranuka.lg.jp

小樽市

人口 106,082人 (2024.2)
主な観光ポイント
小樽運河、おたる水族館、天狗山スキー場

安心して子どもを育てることのできる環境づくりプロジェクト



包括支援センター①



包括支援センター②

子育て世代へ切れ目のない支援を。

本市にとっての最重要課題は、毎年約2,000人ずつ減少をする人口の問題であり、年間出生数も減少傾向にあります。2023年の出生数は357人と過去最少の出生数でした。この状況を改善するため、少子化対策の取組を進め、出生数の増を目指すことが必要と考えております。

そのために、「子どもを育てやすい環境づくり」「充実した教育環境の整備」の2本の柱で妊娠から出産、子育て期の切れ目のない支援事業を推進し、「安心して子どもを育てることのできるまち」を目指します。

プロジェクト

安心して子どもを育てることのできる環境づくり

子育て包括支援センターの運営／小樽市保育士等就労定着支援事業 など

事業年度・事業費

令和2年度～6年度



包括支援センター③



■お問合せ先
小樽市総務部企画政策室
☎ 0134-32-4111
✉ kikaku@city.otaru.lg.jp

室蘭市

人口 76,385人 (2024.2)
主な観光ポイント
地球岬、室蘭水族館、白鳥大橋

子育て世代が希望をもって住み続けられるまちづくり事業



地球岬



工場夜景

子育て支援策で子育て世代の定着を図ります

子育て支援策をとおして、子育て世代の定着を図るとともに、子育て前の世代に対する結婚や子育て等の希望を叶える取り組みを進めることで若者の定着を図ります。

市有地などを活用した定住環境整備に取り組み、長期的な視点で継続して出生率向上に取り組むとともに、安心して子育てできる環境づくりを進めます。また、令和5年度には「こども未来づくり基金」を新たに設置し、こども達が多様な活動を通じ地域に愛着を感じながら健やかに成長できるように「こどもの未来づくり」に取り組めます。

プロジェクト

子育て世代が希望をもって住み続けられるまちづくり事業

出会いの場サポート事業／結婚・出産新生活応援事業／待機児童対策 など

事業年度・事業費

令和2年度～6年度



■お問合せ先
室蘭市総務部総務課
☎ 0143-25-2215
✉ soumu@city.muroran.lg.jp

釧路市

人口 157,288人 (2024.2)
主な観光ポイント
釧路湿原、和商市場、阿寒湖

安心して子どもを産み育てられる環境を整備



園内で遊ぶ子どもたち(阿寒幼稚園)



乳幼児対象の遊び場(ちびっこマन्दレー)

子育て世帯が働きやすい環境を整備

釧路市では、共働き世帯や出産後の就労を希望する母親が増加傾向にあり、子育て世帯が安心して働くことができるよう、定期的に利用できる教育・保育施設などの保育の受け皿機能の確保が求められています。

少子化やそれに伴う子どもを取り巻く家庭・社会環境の変化の中で、子どもの成長にしっかりと向き合いながら、質の高い教育・保育や子育て支援の安定的な提供に向け、保育所等の整備や、乳幼児対象の遊び場の充実など、子ども・子育て支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。

プロジェクト

子育て環境整備・支援事業

保育環境の整備/子育て環境の充実など

事業年度・事業費

令和2年度～



特別天然記念物のタンチョウ



■お問合せ先
釧路市総合政策部都市経営課
☎ 0154-31-4502
📧 to-kikaku@city.kushiro.lg.jp

網走市

人口 32,672人 (2024.2)
主な観光ポイント
網走監獄、流氷館、能取岬

医療提供体制のさらなる充実に向けて



医療MaaS

道内初 移動型オンライン診療

医師不足や高齢化等の問題に対応するため、従来の対面診療や訪問診療以外の新たな診療手段として、患者宅を訪問した車両内でオンライン診療ができる移動型の医療サービス(医療MaaS)を導入しました。今後、医療機関の拡大やスポーツ大会などでのメディカルケアへの展開を目指します。

プロジェクト

移動型医療サービス推進事業

医療MaaSの運行

事業年度・事業費

令和5年度～



車両内部



■お問合せ先
網走市企画総務部企画調整課
☎ 0152-67-5380
📧 ZUSR-KS-KIKAKU-KIKAKU@city.abashiri.hokkaido.jp

芦別市

人口 11,513人 (2024.2)
主な観光ポイント
道の駅「スタープラザ芦別」

子ども一人ひとりのニーズに合わせた特別支援



特別支援学級での指導



特別支援学級での指導

児童生徒に対し、きめ細やかな支援を

芦別市では、通常の学級における困り感やつまづき感のある児童生徒に対し、きめ細やかな支援を行うため、全ての小中学校に学習支援員を配置しているほか、特別支援学級の児童生徒の学習や生活の補助をするため特別支援学級補助員を配置しています。

また、教育をはじめ、児童生徒に関わる関係者を対象として、特別支援教育の研修会を開催するなど、知識や専門性を高める取組を行っています。

プロジェクト

特別支援教育推進プロジェクト

学習支援員／特別支援学級補助員の配置など

事業年度・事業費

令和5年度～

38,740千円



通常学級との交流



■お問合せ先
芦別市企画政策課まちづくり推進係
☎ 0124-27-7061
↓ kikaku@city.ashibetsu.hokkaido.jp

士別市

人口 16,807人 (2024.2)
主な観光ポイント
羊と雲の丘、世界のめん羊館

めん羊振興事業



士別サフォーク



合宿の聖地創造

木のまちと つぎの未来へ

士別市では「第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で3つの重点プロジェクトを掲げ、コンパクトタウンの推進や“羊のまち士別”ブランドの確立、スマート農業の推進やサフォーク羊の供給体制の充実、スポーツ合宿の招致や生涯スポーツの推進など、各種事業を実施しています。

プロジェクト

総合戦略重点プロジェクト

コンパクトタウン関連事業／持続可能な足腰の強い農業農村事業／合宿の聖地関連事業 など

事業年度・事業費

令和2年度～7年度



農業未来都市創造



まちの未来創造



■お問合せ先
士別市総務部企画課
☎ 0165-26-7814
↓ hishoshitsu@city.shibetsu.lg.jp

歌志内市

人口 2,664人 (2024.2)
主な観光ポイント
チロルの湯温泉、かもい岳国際スキー場、
かもい岳山頂からの雲海

子どもを産み、育てやすい環境をつくる



認定こども園



歌志内学園

オンリーワンの子育て・教育の実現

歌志内市の魅力的な子育て支援
教育環境の一層の充実を図り、オンリーワンの子育て環境
の形成を目指した取り組みに共感していただき、以下の取
組と一緒に推進していただける企業を募集しています。

【具合的事業】

- ・ 児童館等一元化施設の建設（R 6年度建設予定）
- ・ 認定こども園の保育料と給食費の無料化

プロジェクト

子育て教育施設の集約化、経済的 な子育て支援の充実

0～14歳児までの一貫した子育て・教育
を推進し、児童館等一元化施設の建設や、
保育料・給食費の無料化に活用

事業年度・事業費

令和6年度
690,927千円



児童館一元化施設周辺のイメージ図



■お問合せ先

歌志内市企画財政課企画広報グループ

☎ 0125-42-3214

↓ kikaku.koho@city.utashinai.hokkaido.jp

伊達市

人口 31,691人 (2024.2)
主な観光ポイント
北黄金貝塚、北湯沢温泉郷

「こころ」も「からだ」も健康に暮ら せるまち



就農支援センター



子育て環境の充実

健康に暮らすなら伊達市

伊達市では、「第2期伊達市まち・ひと・しごと創生人口
ビジョン・総合戦略」において3つの基本目標を掲げ、温
暖な気候と豊かな自然環境を生かし「健康」をコンセプト
に、伊達市を選び、定住し、産み、育て、健やかに住み続
ける人が増えることを目指し、生涯にわたっていきいきと
暮らせるまちづくりを進めています。

< 3つの基本目標 >

健康産業の創造

定住促進のための環境整備

生涯現役社会の実現

プロジェクト

総合戦略に基づく事業

健康産業を創造する事業／定住促進のため
の環境を整備する事業／生涯現役社会
を実現する事業 など

事業年度・事業費

令和2年度～6年度



三階滝



■お問合せ先

伊達市企画課

☎ 0142-82-3114

↓ kikaku@city.date.hokkaido.jp

木古内町

人口 3632人 (2024.2)
主な観光ポイント
道の駅みそぎの郷きこない、新幹線ビュー
スポット、サラキ岬

木古内町みらいある事業



移住体験住宅外観



給食費無償化事業

木古内町みらいある事業

木古内町は、北海道で最初に新幹線が停まる町であり、渡島半島の交通資源を活かし、交流・関係人口の獲得に向けた取組を進めています。

移住・定住を促すため、新築や物件購入に係る費用の助成やリフォームに対する助成や、移住希望者を対象に生活を体験する機会の創出し交流・関係人口の獲得を強化しています。

また、妊産婦への支援から出生お祝い、入学お祝い事業、18歳まで医療費の無償化といった切れ目のない子育て支援を展開しています。

プロジェクト

木古内町みらいある事業

出生お祝い事業／入学お祝い事業／マイホーム取得促進事業 など

事業年度・事業費

令和4年度～

71,800千円



出生お祝い事業



■お問合せ先

木古内町まちづくり未来課

☎ 01392-2-3131

📧 info@town.kikonai.hokkaido.jp

七飯町

人口 27,486人 (2024.2)
主な観光ポイント
大沼国定公園、道の駅なないろ・ななえ

子どもたちの笑顔をたくさん見たい！



『おいしい給食』の甘利田先生もビックリ！

七飯町では、地元産の農作物や加工品などの食材をふんだんに使った給食「プレミアムななえデー」を月に2回実施しています。これは児童・生徒全員が、給食マニアの教師の甘利田先生が登場するドラマ・映画『おいしい給食』のようなワクワクする給食を楽しみ、笑顔あふれる学校生活を送れるようにするための事業です。おいしい給食を食べる『子どもたちの笑顔こそが地域の何よりの財産』と考えています。また、地元産の食材を使った給食を継続していくことは、地産地消の推進や地元経済への貢献、児童・生徒への食育効果や郷土愛を深めることにもつながります。

プロジェクト

「おいしい、うれしい、楽しい給食」プロジェクト

子育て支援／地産地消／食育 など

事業年度・事業費

令和元年度～

10,000千円



■お問合せ先

七飯町政策推進課

☎ 0138-65-5792

📧 121-seisaku-c@town.nanae.lg.jp

森町

人口 13,803人 (2024.2)
主な観光ポイント
駒ヶ岳、さくら、鷲ノ木遺跡

子育てしやすい環境を目指して



漁業体験授業を受ける児童



札幌市で開催した森町PRイベントの様子

入学・卒業祝金を支給

森町は、駒ヶ岳をシンボルに持ち、裾野には資源豊かな噴火湾の広がる自然に富んだ町です。自然の豊かさを感じながら生活できるまちづくりを進めています。

施策のひとつとして、小中学校入学及び中学校を卒業する児童又は生徒の養育者に入学・卒業祝金を支給することにより、その入学及び卒業を祝福し、子育て世代への経済的負担の軽減を図ります。森町の近隣に住む人が、結婚、妊娠、出産、子育てに対し前向きに考えられるような環境づくりを目指しています。

プロジェクト

交流・関係人口拡大プロジェクト

地域ブランドの推進／移住定住の促進／結婚・出産・子育て支援 など

事業年度・事業費

令和3年度～

33,300千円



駒ヶ岳と噴火湾に囲まれた森町市街地



■お問合せ先
森町役場企画振興課
☎ 01374-7-1283
↓ kikaku@town.hokkaido-mori.lg.jp

倶知安町

人口 16,432人 (2024.2)
主な観光ポイント
羊蹄山、ニセコアンヌプリ

くっちゃんで暮らす幸せを感じるための事業



お楽しみ会(町立保育所ぬくぬく)



雪ん子の集い(認定こども園)

待機児童ゼロと日曜・祝日等の実施に向けて

国際リゾートニセコエリアの中心地である倶知安町は、観光業等のサービス業に携わる若い世代が多く、子どもを産みたい、育てたいと思える環境づくりを進めています。待機児童ゼロ、一時預かりや延長保育、日曜・祝日保育実施のため、町立保育所と3つの私立認定こども園が連携し、保育士・保育教諭への一時金給付、奨学金返還支援、くっちゃんの魅力・特徴を活かしたPR事業などに取り組み、保育士・保育教諭確保を目指します。

プロジェクト

くっちゃん先生になろう！
～保育士・保育教諭等確保事業～
保育士・保育教諭への一時金給付／奨学金返還支援／PR・募集パンフレット作成 など

事業年度・事業費

令和3年度～6年度



国際リゾート「ニセコヒラフ」



■お問合せ先
倶知安町総合政策課総合政策係
☎ 0136-56-8001
↓ sousei@town.kutchan.lg.jp

仁木町

人口 3,030人 (2024.2)
主な観光ポイント
観光果樹園

「NIKI交流プラザ（仮称）」の整備



子育て支援拠点施設イメージ図



特産品のさくらんぼ

子育て世帯を中心に活用しやすい施設を整備

より効果的に地方創生を推進していくため、令和5年度供用開始予定である「子育て支援拠点施設」に隣接する形で新たに「多目的拠点施設（NIKI交流プラザ（仮称）」）の整備を予定しています。

子育て世帯が安心して仕事ができるよう、テレワークに特化したコワーキングスペースの導入をはじめ、気軽に立ち寄れるカフェ、商工団体や金融機関などの経済拠点を一箇所に複合することで、幅広い世代の地域住民が集う交流の場となり、リビングシフトに対応したさまざまな働き方を提供する施設を目指しています。

プロジェクト

多目的拠点施設整備事業

「NIKI交流プラザ(仮称)」の建設・運営

事業年度・事業費

未定

—



仁木町の風景



■お問合せ先
仁木町企画課未来創生係
☎ 0135-32-3953
↓ kikaku02-niki@town.niki.hokkaido.jp

増毛町

人口 3,603人 (2024.2)
主な観光ポイント
旧商家丸一本間家

「高血圧ゼロ」で元気に長生きできるまち



高血圧ゼロのまちを目指します！



イベントでの血圧相談

高血圧を予防し健康寿命を延伸

増毛町が実施する「高血圧ゼロのまちプロジェクト」は、日本高血圧学会が実施する高血圧ゼロのまちモデルタウン事業の第1号として認定されています。

貸出用の血圧計の整備や運動施設の維持管理など、血圧対策を多くの町民に拡充し、健診、血圧測定、運動、減塩を習慣化させることで健康寿命を延ばし、生涯現役（高齢者の収入増加と就労促進）と社会保障の安定（医療費、介護費の適正化）を目指します。

プロジェクト

高血圧ゼロのまちプロジェクト

健康診断の推進／運動施設の維持管理／減塩の普及 など

事業年度・事業費

令和2年度～6年度

各年度20,000千円



子ども達への減塩教室



■お問合せ先
増毛町福祉厚生課保健指導係
☎ 0164-53-3111
↓ fukusi@town.mashike.hokkaido.jp

初山別村

人口 1,041人 (2024.2)
主な観光ポイント
みさき公園

地域公共交通対策事業



車輛 (しょさまる号)



初山別診療所

住民との協働によるデマンド型車両運行

初山別村では、交通空白地帯を解消する持続可能な新しい地域公共交通の構築を目的として、令和3年4月から自家用車を持たない高齢者を対象に、デマンド型車両を運行しています。

本事業の主な利用目的は通院、催し物・会合への参加、買い物等で多くの方に利用されています。

地域住民（ボランティアドライバー）の献身的な行動により、人と人とのつながりが深まり、本村が掲げる「協働の村づくり」に添った事業の展開が図られています。

プロジェクト

定住・移住促進、生活環境プロジェクト

交通弱者対策「地域公共交通対策事業」

事業年度・事業費

令和6年度

7,910千円



みさき台公園



■お問合せ先
初山別村役場企画振興室
☎ 0164-67-2211
↓ soumu.kikaku@vill.shosanbetsu.lg.jp

中頓別町

人口 1,505人 (2024.2)
主な観光ポイント
鍾乳洞、敏音知岳

新たな交通手段により誰もが安心して暮らせる町へ



しばさくら



ピンネシリ岳

デマンドバスとスクールバスで利用しやすく

日本最北の宗谷地域に位置する本町は、地域の拠点病院や大型の商業施設等がある都市部との距離が離れているほか、最寄りの高校は約20km離れた隣町にあります。

こうした状況の中、従来の路線バスに代わり、予約制デマンドバス及び高校通学用スクールバスを従来の小中学校スクールバスと連携して運行することにより、自家用車を持たない高齢者や公共交通に頼らざるをえない児童生徒をはじめとした町民の足として、地域の公共交通を将来にわたり確保し誰もが暮らしやすいまちを目指していきます。

プロジェクト

地域公共交通確保対策プロジェクト

デマンドバス及びスクールバスの運行

事業年度・事業費

令和4年度～

運行経費：各年度32,000千円



デマンドバス



■お問合せ先
中頓別町政策経営課
☎ 01634-8-7671
↓ kikaku@town.nakatombetsu.lg.jp

壮瞥町

人口 2,383人 (2024.2)
主な観光ポイント
昭和新山、洞爺湖、壮瞥公園

選ばれるまちを目指して



昭和新山



壮瞥公園から望む洞爺湖

子育て環境の整備及び地域産業の担い手確保

壮瞥町では、第2期総合戦略の基本目標の一つに「人材育成と子育て支援の強化」を掲げています。

選ばれるまちを目指し、子育て世代への切れ目ない支援の充実、良質な住環境の供給による移住・定住促進、「生きる力」を育む特色ある教育の実践、町立高校（地域農業科）の教育環境整備、就農支援対策の充実、地域産業を担う人材の育成・確保など、さまざまな施策を推進しています。

プロジェクト

子育て支援・担い手確保事業

安心して子どもを産み育てられる環境の整備／起業・産業従事しやすい環境の整備 など

事業年度・事業費

令和3年度～6年度



■お問合せ先
壮瞥町企画財政課
☎ 0142-66-2123
✉ kikaku@town.sobetsu.lg.jp

新冠町

人口 5,135人 (2024.2)
主な観光ポイント
レコード館、サラブレッド銀座、判官館森林公園

結婚・出産・子育ての希望を叶えるまちづくり



サラブレッド銀座



子育て支援

若い世代が安心して暮らせる環境づくり

若い世代が安心して結婚、出産、子育てできるよう途切れの無い支援を行なうほか、ICTを効果的に活用した最適で充実した学びの場づくりに取り組みます。

プロジェクト

結婚・出産・子育ての希望を叶えるまちづくり事業

出産に関する環境の整備／ICTを活用した学びの場の充実 など

事業年度・事業費

—

—



特定診断



■お問合せ先
新冠町企画課まちづくりグループ企画係
☎ 0146-47-2498
✉ teijyu@niikappu.jp

音更町

人口 42,904人 (2024.2)
主な観光ポイント
十勝川温泉、2つの道の駅、白樺並木

結婚・出産・子育ての希望をかなえる まちをつくる事業



音更町市街地の様子



広大な農村風景

結婚・子育て支援の充実

結婚を望む人や子どもが欲しい人の希望がかなえられるまちの実現に向け、地域の実情に応じたきめ細かな支援を行います。家庭や職場などでのジェンダー平等、女性の活躍、仕事と出産・子育ての両立など仕事と生活、社会活動の調和の実現に向け、地域社会、教育機関、企業などと連携して取り組みます。

プロジェクト

結婚・子育て支援の充実

教育環境の整備／義務教育内容の充実／母子保健の充実／子育て支援拠点の充実など

事業年度・事業費

令和4年度～6年度

—



美人の湯 十勝川温泉



■お問合せ先

音更町企画財政部企画課

☎ 0155-42-2111

📧 kikakuka@town.otofuke.hokkaido.jp

士幌町

人口 5,814人 (2024.2)
主な観光ポイント
道の駅ピア21しほろ、道の駅しほろ温泉、ヌブカの里

結婚・出産・子育てへの支援を充実させる事業



給食風景



元気に運動会の様子

士幌で子どもを育てたい・教育したいを応援

本町で結婚し生活を送ることを希望する人達が増えるよう、結婚につながる出会いの場を充実させます。

また、子供を産みたい人、多くの子どもを産み育てたい人など、それぞれの希望が叶うよう支援します。

さらに、子育て支援や教育に関する環境づくりとともに、子育てにかかる負担の軽減に引き続き努めることで、本町で子どもを育てる魅力を高め、子育て世帯の定住促進と町外からの移住を促します。

プロジェクト

認定こども園整備改築事業

未来を担う子どもたちが伸び伸びと健やかに過ごすことができる園の整備

事業年度・事業費

令和5年度～7年度

—



認定こども園「なかよし」



■お問合せ先

士幌町地域戦略課

☎ 01564-5-5212

📧 chousei@town.shihoro.lg.jp

清水町

人口 8,873人 (2024.2)
主な観光ポイント
清水公園、十勝千年の森、日勝峠展望台

子どもを安心して産み・育てられるまち



しみず認定こども園の様子



御影小学校運動会でよさこいを披露

まちぐるみで子育てを応援

清水町では、人口減少の加速に対応するため、まちぐるみで子育て世帯を支え、応援するまちづくりを推進しています。妊娠から出産、子育てなどライフステージに合わせた切れ目のない支援により、子育て家庭を応援しています。未来を担う子どもたちの健やかな成長のために家庭、学校、地域そして企業が連携をしながら、社会全体で子どもを支える環境づくりを進めています。

プロジェクト

まちぐるみで子育て応援プロジェクト

不妊・不育治療支援／出産祝い金／第2子以降保育料無料化／18歳までの医療費無料化 など

事業年度・事業費

令和2年度～

—



日照峠から望む清水町



■お問合せ先

清水町企画課

☎ 0156-62-2114

↓ kikaku@town.shimizu.hokkaido.jp

池田町

人口 5,998人 (2024.2)
主な観光ポイント
ワイン城、DCT garden IKEDA、千代田堰堤

結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業



高校生発表会



北海道池田高等学校

子育て環境を整備します

結婚、妊娠・出産・育児の切れ目のない支援体制を構築するとともに、子どもの育ちへの適切な対応、様々な体験活動の提供などを通じて、結婚・出産・子育ての希望をかなえ、安心して子どもを産み育てられる地域づくり、社会全体で子どもを守り育てる環境を整備します。

プロジェクト

池田高等学校総合学科支援事業

北海道池田高等学校の存立と安定した間口の確保並びに生徒の進路活動等の支援

事業年度・事業費

～令和6年度

12,850千円



町章



■お問合せ先

池田町地域振興課

☎ 015-572-3218

↓ chiiki@town.hokkaido-ikeda.lg.jp

標津町

人口 4,828人 (2024.2)
主な観光ポイント
標津サーモン科学館、ポー川史跡自然公園、
野付半島

標津町まち・ひと・しごと創生事業



アイヌ文化ガイド（鮭の聖地）



幼児期からの運動習慣形成

出産・子育て、暮らしと仕事を応援します

出産・子育て・教育などの子育て支援、安心して暮らし続けられる生活環境や施設などの基盤の整備、サケ・ホタテを主とした水産業と酪農業の基幹産業の持続・発展のほか、新たな産業振興への支援など、様々なライフステージに応じた支援と、日本有数の食の生産基地としての役割を果たします。

また、当地域で遥か10000年前から連綿と続く“鮭”にまつわるストーリーである、日本遺産「鮭の聖地」の物語を軸とした観光振興と鮭にまつわる文化的新興の発信などにより、交流人口や関係人口を創出します。

プロジェクト

標津町まち・ひと・しごと創生推進事業

子育て支援／住み続けられるまちづくり／防災対策、日本遺産「鮭の聖地」の取り組み

事業年度・事業費

令和6年度



高校生による中学生への防災出前授業



■お問合せ先
標津町企画政策課
☎ 0153-85-7240
✉ kikaku@town.shibetsu.lg.jp

羅臼町

人口 4,350人 (2024.2)
主な観光ポイント
道の駅「知床・らうす」、前浜の観光船、
羅臼湖

地域公共交通の充実



循環バスの維持・確保



実証実験

観光2次利用も含めた公共交通の充実

羅臼町ではバスの便数も少なく、また、ハイヤーの営業時間も短いことから、高齢者や運転免許返納者及び観光利用時に交通の不便が生じています。運転手不足の解消や交通空白時間帯の穴埋め、ライドシェアの導入などを推進します。

プロジェクト

地域公共交通実証・実装事業

実証実験の実施／地域公共交通計画の策定／新たな公共交通の実装／人材雇用

事業年度・事業費

令和6年度～未定



ライドシェア導入の検討



■お問合せ先
羅臼町企画振興課
☎ 0153-87-2114
✉ kikaku.r@rausu-town.jp

羅臼町

人口 4,350人 (2024.2)
主な観光ポイント
道の駅「知床・らうす」前浜での観光船、
羅臼湖

■プロジェクト

憩いの場の整備と公共施設の適正管理

町民が集える公園等の整備／消防署の建替／文化施設、観光施設の改修等の検討

憩いの場の整備と公共施設の適正管理



多世代が集える講演の整備



消防署棟公共施設改修

町民ニーズの実現と時代にあった施設整備

羅臼町では、町民が集える憩いの場や文化施設が無く、それらの整備について多くの声が寄せられています。また、消防署や福祉施設などの各種施設もの老朽化も著しく、築40年を超える施設も増加傾向です。

多世代の住民が集い、交流ができる公園等の施設を整備するとともに、安心安全に暮らすことが出来るよう各種施設を更新してまいります。

事業年度・事業費

令和6年度～未定



情報教育環境の充実



■お問合せ先
羅臼町企画振興課
☎ 0153-87-2114
↓ kikaku.r@rausu-town.jp

室蘭市

人口 76,385人 (2024.2)
主な観光ポイント
地球岬、室蘭水族館、白鳥大橋

まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の場の創出事業



地球岬



工場夜景

様々な振興策により雇用基盤を維持します

働き手確保の視点から、新卒者を含めた幅広い世代において、地元企業への就職促進を図るとともに、若者定着には、製造業のほかにも多様な雇用の場が必要であることから、様々な分野の企業誘致や魅力ある雇用の創出に取り組みます。

また、仕事と合わせた移住情報の発信などに力を入れ、出身者のUターンを推進します。

プロジェクト

産業振興と魅力ある雇用の場の創出事業

移住推進事業 / 大学連携推進事業 / 働き手確保支援事業 / 市内創業支援等事業など

事業年度・事業費

令和2年度～6年度



■お問合せ先
室蘭市総務部総務課
☎ 0143-25-2215
📧 soumu@city.muroran.lg.jp

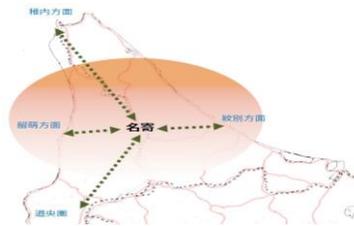
名寄市

人口 25,315人 (2024.2)
主な観光ポイント
ピヤシリスキー場、天文台

「北・北海道物流拠点構想」の実現に向けて



物流オープンプラットフォーム



北北海道の交通の要衝・名寄

物流の拠点を目標して

名寄市では、稚内・紋別・留萌方面のすべてに道がつながっているという位置的優位性を活かした「北・北海道物流拠点構想」の実現に向けた取組を進めています。

物流の拠点として名寄市にモノが集まり、モノの輸送を効率化していくことで、地域経済の維持・発展につなげ、道北圏域の生産空間を維持していくために、オープンプラットフォーム（多様な業種がスペースを共有する物流拠点となるもの）の構築を進めます。

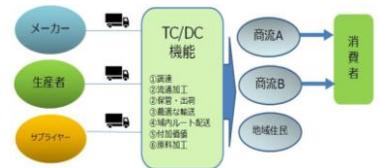
プロジェクト

物流オープンプラットフォームの構築

物流オープンプラットフォームの建設など

事業年度・事業費

未定



物流拠点化イメージ



■お問合せ先
名寄市総合政策部総合政策課
☎ 01654-3-2111
📧 ny-sousei@city.nayoro.lg.jp

三笠市

人口 7,406人 (2024.2)
主な観光ポイント
三笠市立博物館、三笠鉄道記念館、道の駅三笠

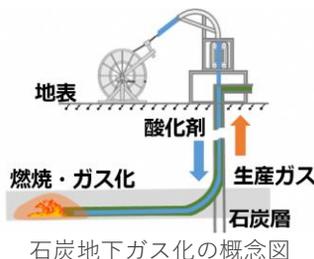
国産クリーン水素の製造拠点へ



H-UCG：ハイブリッド石炭地下ガス化

三笠市の豊富な地域資源である石炭と木質バイオマスを活用してクリーン水素を製造するH-UCG（ハイブリッド石炭地下ガス化）事業に、室蘭工業大学と連携して取り組んでいます。

水素製造時に発生するCO₂は、昔の石炭採掘跡などに埋め戻すという、地域特性を生かした陸域CCSを目指します。これまでに、地下約400mにCO₂を埋め戻して固定する実験や、露頭炭層を使った水素製造実験を行いました。本事業は2021年と2023年の2度NEDOの採択を受け、継続して取組を進めています。



■お問合せ先
三笠市産業開発課
☎ 01267-3-7090
↓ sangyok@city.mikasa.hokkaido.jp

八雲町

人口 14,913人 (2024.2)
主な観光ポイント
噴火湾パノラマパーク

北海道初のトラウトサーモン海面養殖事業で地域活性化を図る！



産業活性化と雇用創出に向けて

するめいか、すけとうだら、さけ漁の不漁が続く、漁獲量・漁獲金額ともに大幅な減少となるなか、新たな水産資源の開発及び持続的かつ安定的な漁業経営に資する取り組みが必要です。

こうした背景のもと八雲町は、寿司種や刺身などで人気の高いサーモンに着目し、北海道初となるトラウトサーモンの海面養殖に挑戦するとともに、種苗生産にも着手し、八雲町の基幹産業の1つである漁業の活性化および雇用創出を目指します！

プロジェクト

サーモン試験養殖事業

北海道初となるトラウトサーモンの海面養殖

事業年度・事業費

令和2年度～
1,880,000千円



令和4年7月15日付で特許庁から商標原簿に登録された旨が通知された



■お問合せ先
八雲町政策推進課
☎ 0137-62-2300
↓ seisaku@town.yakumo.lg.jp

奥尻町

人口 2,257人 (2024.2)
主な観光ポイント
なべつる岩、球島山、神威脇温泉

奥尻町まち・ひと・しごと創生推進事業



サーモン



生け簀

とる漁業からつくり・育てる漁業へ

奥尻町は古くから漁業のまちとして栄えてきましたが、近年の地球温暖化による海水温上昇により、回遊魚であるイカやホッケの不振が続き、漁獲量は漁業を取り巻く環境は厳しさを増しております。この状況を打開し、漁業経営の安定ならびに地域活性化を図ることを目的に令和3年度からトラウトサーモンの養殖に取り組んでいます。新たなブランドとして「奥尻サーモン淡雪」の事業化を目指します。

プロジェクト

サーモン試験養殖事業

トラウトサーモンの養殖及び奥尻ブランドとしての事業化

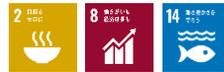
事業年度・事業費

令和6年度

36,680千円



刺身



■お問合せ先
奥尻町地域政策課政策推進係
☎ 01397-2-3402
↓ info@town.okushiri.lg.jp

共和町

人口 5,422人 (2024.2)
主な観光ポイント
神仙沼、西村計雄記念美術館

「らいでん」ブランドを守る農業の担い手確保と育成



農産特産品



一本の樹と初夏の田園風景

農業後継者育成・支援事業

共和町では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に4つの基本目標を掲げています。基幹産業である農業では、担い手や新規就農者の確保のため、農業技術習得のための資格取得や研修参加費用などを支援しています。

スイカ・メロンに代表される「らいでん」ブランドの維持のため、寄附を通じて支援くださる企業をお待ちしています。

プロジェクト

農業後継者育成・支援事業

農業後継者対策協議会への支援（資格取得・研修参加費用、農業大学校就学支援など）

事業年度・事業費

令和5年度～

3,433千円



稲穂



■お問合せ先
共和町企画振興課
☎ 0135-67-8796
↓ kikaku@town.hokkaido-kyowa.lg.jp

岩内町

人口 11,081人 (2024.2)
主な観光ポイント
いわない温泉、オートキャンプ場マリンビュー

施設一体型義務教育学校導入プロジェクト



岩内町全景



義務教育学校

子どもたちのより良い教育環境をめざして

岩内町では、子どもたちのより良い教育環境づくりを目指し、令和8年4月開校に向け後志管内初の試みとなる「施設一体型義務教育学校 岩内中央学園」の整備を進めています。義務教育9年間を通じて子供たちのさらなる学力や体力の向上、精神的な発達の促進はもちろんのこと地域活性化の足掛かりとなるよう取り組んでまいります！

プロジェクト

施設一体型義務教育学校導入プロジェクト

令和8年4月開校に向け義務教育学校の施設整備や学習プログラムの検討

事業年度・事業費

令和4年度～7年度

6,964,952千円



校内図



■お問合せ先
岩内町経営企画部企画財政課
☎ 0135-62-1011
↓ kikaku@town.iwanai.lg.jp

余市町

人口 17,143人 (2024.2)
主な観光ポイント
余市宇宙記念館、ニッカウキスキー余市蒸留所、ニトリ観光果樹園

よいちガストロノミーーツーリズムプロジェクト



重文ニッカウキスキー余市蒸留所



日本有数のワイン用ぶどうの産地

ガストロノミー（食文化）による観光推進

豊富な海産物や農産物、酒などの豊富な食資源からなる「食の産地」としての特性を最大限発揮し、食と酒と文化を有機的に一体のストーリーとして結び付け、高付加価値化された料理や商品に落とし込むことで、観光消費額拡大に向けた「稼ぐ観光」を推進します。また、商品等と町内の文化財を活用し、ガストロノミー要素を取り入れた高単価な旅行商品造成など、観光客を通年かつ安定的に受け入れることができる体制整備を図り、将来にわたって持続可能な地域づくりを進めます。

プロジェクト

食資源の生産力強化及び受入環境体制の構築

持続可能な一次産業の生産基盤の確立／イベント等を通じたPR・食文化形成の機運醸成など

事業年度・事業費

令和6年度～8年度

172,468千円



豊富な食資源



■お問合せ先
余市町総合政策部政策推進課
☎ 0135-21-2117
↓ s.cyousei@town.yoichi.hokkaido.jp

赤井川村

人口 1,382人 (2024.2)
主な観光ポイント
キロロリゾート、山中牧場、道の駅あかがわ

新規就農者育成プロジェクト



パラグライダーに乗って



研修風景

農業の担い手育成から持続的な村づくりを！

赤井川村は、四方を山々に囲まれた国内でも珍しい「カルデラの里」で、日本で最も美しい村連合に加盟する人口1300人ほどの小さな農村です。

120年前の開拓の頃より農業の営みが続いておりますが、農家世帯はゆるやかに減少しています。地域農業の衰退は、農村風景や地域経済はもとより、地域の様々な暮らしの支え合いにも大きな影響を及ぼしていきます。

村では新規就農受入の取組を平成7年度から進めてきておりますが、令和3年度からは受入体制を拡充して、地域の担い手育成に取り組んでいきます。

プロジェクト

新規就農者の育成、営農実習支援金の拡充／遊休農地保全事業
営農実習支援金の拡充0／遊休農地保全事業

事業年度・事業費

令和3年度～6年度
5,500千円



赤井川村内の風景



■お問合せ先
赤井川村総務課企画地域振興係
☎ 0135-34-6211
↓ soumuka@akaigawa.com

赤井川村

人口 1,382人 (2024.2)
主な観光ポイント
キロロリゾート、山中牧場、道の駅あかがわ

エネルギー転換によるゼロカーボンシティを目指して



赤井川村の眺望



温泉施設

エネルギー転換による住民意識啓発

赤井川村は四方を山々に囲まれた国内でも珍しい「カルデラの里」で、日本でも最も美しい村連合に加盟する人口1,300人ほどの小さな村です。

令和4年度にカルデラ温泉の泉源を新たに掘削、令和5年度には、カルデラ温泉に熱交換機材を導入し、温泉に隣接する村体育館（指定避難所）へ暖房用の熱供給を行っています。熱交換を行った際の熱量や現在の電気使用量などをモニターすることで住民や利用者にリアルタイムでお知らせし、エネルギー転換によるゼロカーボン事業の機運醸成を行うためのシステムの導入を目指します。

プロジェクト

エネルギー転換による住民意識啓発プロジェクト
熱交換時の熱量の表示や電気使用量などのモニターシステム

事業年度・事業費

令和6年度
—



新しい泉源の探掘



■お問合せ先
赤井川村産業課産業係
☎ 0135-48-6276
↓ sangyou3@vill.akaigawaa.lg.jp

南幌町

人口 7,803人 (2024.2)

主な観光ポイント

南幌温泉ハート&ハート、子ども室内遊戯施設はれっば、三重湖公園

地域活性化と交流人口増加を目指す観光拠点整備事業



コンチェルトホール



しごとコンビニ

多様なニーズに対応できる観光拠点施設へ

観光拠点である「なんぽろ温泉ハート&ハート」は、2025年4月に新たな魅力を持つ施設としてリニューアルオープンします。開業から33年が経過し老朽化した施設や設備を改修し、ウェルネスツーリズム対応施設としてのニーズやサウナー需要、キャンパーやサイクリストに必要な環境を整え、子育て世代や高齢者にとっても魅力あふれる施設として生まれ変わります。札幌市や北海道ボールパーク近郊の周遊拠点施設として、新たな人の流れを取り込み、地域の活性化と交流人口の増加を目指します。

プロジェクト

地域活性化と交流人口を増加を目指す観光拠点整備事業

露天風呂／サウナ特化型施設／オートローウリユース等のリニューアル

事業年度・事業費

令和6年度

945,882千円



多世代交流イベント



■お問合せ先

南幌町役場まちづくり課

☎ 011-398-7019

📧 kikaku@town.nanporo.hokkaido.jp

月形町

人口 2,814人 (2024.2)

主な観光ポイント

月形樺戸博物館、皆楽公園

産業を元気にして、月形町ににぎわいを創る



ミニトマト



メロン

月形町の新規就農者を応援します

月形町の基幹産業である農業（メロン、トマト、花き）の振興を図るとともに、高齢化などで離農する農産物生産人口の減少対策として、新規就農者の確保を強化しています。新規就農を目指す方が継続して農業を続けられるよう、就農する農産物を生産している農家への実習、技術指導などの研修制度の充実、地域おこし協力隊インターン制度、協力隊制度を活用し実習期間の研修に要する経費に対する支援や、就農時の農業用機械購入や住宅取得に対する経費への補助など、月形町の基幹産業の担い手育成に力を注いでいます。

プロジェクト

新規就農者への支援

新規就農を目指す者の研修に要する経費に対する奨励金を交付

事業年度・事業費

—

23,941千円



花き



■お問合せ先

月形町企画振興課企画係

☎ 0126-53-2325

📧 kikaku@town.tsukigata.hokkaido.jp

新十津川町

人口 6,304人 (2024.2)
主な観光ポイント
しんとつかわキャンプフィールド、ふるさと公園、かぜのび

安定した就業創出事業



稲刈り



田起こし

産業を活性化し、安定就業を創出します。

基幹産業として地域経済を牽引し続けてきた農業の基盤や就労環境の整備を支援し、豊かな自然環境や食などの地域資源を生かした産業の展開を目指す事業、町内への企業進出や既存企業の規模拡大を促し、事業者の人材の確保や育成を支援することで、雇用の継続や拡大につながる環境づくりに努めます。

プロジェクト

安定した就業創出プロジェクト

次世代農業の普及／担い手の育成及び確保体制の推進／町内消費拡大取組への支援 など

事業年度・事業費

未定



観光PRキャラクター「こめぞー」



■お問合せ先
新十津川町
☎ 0125-76-2131
↓ soumuka@town.shintotsukawa.lg.jp

秩父別町

人口 2,223人 (2024.2)
主な観光ポイント
ローズガーデン、屋内遊戯場ちっくる、野外遊戯場キュービックコネクション

ゼロカーボンシティの実現に向けて



田園刎頭が広がる秩父別町市街地



地域マイクログリッド構築事業イメージ

地域マイクログリッド構築事業

秩父別町は令和3年12月にゼロカーボンシティ宣言を行い、地球温暖化の課題に対し、再生可能エネルギーの利用促進や省エネルギーの強化などの取組みを進め、持続可能なまちづくりを推進しています。令和4年度から6年度には、指定避難所を含む複数の公共施設が密集している秩父別温泉周辺で、太陽光発電と蓄電池を組み合わせた地域マイクログリッドを構築します。これにより、平時には再生可能エネルギーの地産地消によるゼロカーボンの推進を図り、大規模停電時には指定避難所などへの電力供給を可能とすることで地域のレジリエンス強化を図ります。

プロジェクト

秩父別町まち・ひと・しごと創生推進事業

将来にわたり安心して暮らせるまちづくり

事業年度・事業費

令和3年度～6年度



秩父別温泉ちっぷゆう&ゆ



■お問合せ先
秩父別町企画課
☎ 0164-33-2111
↓ kikakuka@chippubetsu.jp

北竜町

人口 1,638人 (2024.2)
主な観光ポイント
ひまわりの里、サンフラワーパーク北竜温泉、
金比羅公園

ひまわりを活用した魅力あるまちづくり



ひまわり油



ひまわり刈り取り作業

ひまわりを活かした6次産業化の推進

北竜町では、町特産である「ひまわり油」の利活用促進に向けて、民間企業における豊富な知見や高い技術を活用し、農業や観光業などを中心とした地域経済の活性化や交流人口拡大の取組を行っています。

ひまわり油の知名度向上や新商品開発などに応援いただける企業の皆様からの連絡をお待ちしています。

プロジェクト

ひまわり油再生プロジェクト

ひまわりを活用した新商品開発と販路拡大／ひまわり油を原料とした食品や化粧品開発／飲料店等でのメニュー開発

事業年度・事業費

令和3年度～6年度

86,667千円



燦々ひまわり油



■お問合せ先

北竜町経済ひまわり推進室

☎ 0164-34-7032

↓ sangyo@town.hokuryu.hokkaido.jp

愛別町

人口 2,480人 (2024.2)
主な観光ポイント
総合スポーツ公園

人と文化が輝く愛別



産業の活性化



誰もが住みたくなるまちづくり

将来を担う人材の育成

愛別町は、北海道のほぼ中央に位置する上川盆地の東北端、北海道の屋根と呼ばれる雄大な大雪山連峰の麓にあります。若い世代の結婚・妊娠・出産子育ての希望をかなえ、町の宝である子どもが一人でも多く生まれ、将来を担う人材として育つよう、子育て支援対戦の充実や子どもの教育体制の充実をリードする施策を推進します。

プロジェクト

子どもの笑顔かがやくまちづくりプロジェクト

不妊治療費助成事業／教育ICT推進事業
／スマート農業推進事業

事業年度・事業費

令和3年度～7年度



子育て環境の充実



■お問合せ先

愛別町総務企画課

☎ 01658-6-5111

↓ satou.k@town.aibetsu.lg.jp

和寒町

人口 2,892人 (2024.2)
主な観光ポイント
塩狩峠一目千本桜、夫婦岩、南丘森林公園

産業の振興により安定した雇用と活気をつくる事業



キャベツ



南瓜収穫

農業の振興と担い手の育成・確保

和寒町の基幹産業である農業は、家族労働で賄う家族経営体が多く、従事者の高齢化によって労働力不足が問題となっており、農繁期におけるパート労働者の雇用や高齢者事業団の活用のほか、人材派遣会社や外国人技能実習生を活用するなどして不足する労働力を補っている現状にあります。

持続的で安定した農業経営のためには、安定した農家所得を実現し、農家子弟の円滑な就農への継承やUターン者を含めた新規就農者の確保に向けた取り組みを進めます。

プロジェクト

産業の振興により安定した雇用と活気をつくる事業

新規就農者の確保・後継者育成振興の奨励

事業年度・事業費

令和2年度～6年度



夫婦岩



■お問合せ先
和寒町まちづくり推進係
☎ 0165-32-2421
↓ ki-kikaku@town.wassamu.hokkaido.jp

下川町

人口 2,933人 (2024.2)
主な観光ポイント
万里長城、五味温泉

SDGsを取り入れ、人も資源もお金も循環・持続するまちを目指して



下川町の市街地



下川町の森林

「持続可能な森林経営」のために

下川町は、町面積の約9割が森林で覆われ、約4,700haの町有林を有しています。年間約50haの伐採と植林、適正な森林管理「伐ったら必ず植える」を60年サイクルで続ける「循環型森林経営」を理念に、伐採された木材は、地域内で様々な形に加工し、付加価値を高めて地域外に流通させ、原木の安定供給と雇用の確保を図っています。循環型森林経営を基軸に、国から、環境モデル都市、環境未来都市、SDGs未来都市などの選定を受けながら、経済・社会・環境の三側面の調和による持続可能な地域社会の実現を目指しています。

プロジェクト

下川版SDGsによる地域創造事業

地域振興事業／林業・林産業振興事業／農業振興事業／快適住まいづくり促進事業 など

事業年度・事業費

令和5年度～6年度

175,980千円



植樹祭の様子



■お問合せ先
下川町総務企画課SDGs推進室
☎ 01655-4-2511
↓ seisaku@town.shimokawa.hokkaido.jp

美深町

人口 3,777人 (2024.2)
主な観光ポイント
松山湿原、道の駅びふか、チョウザメ館

まちの特性をいかした産業を振興し、働く場をつくる事業



キャビア



チョウザメ

チョウザメ産業の確立

チョウザメ振興事業は1983年、水産庁養殖研究所の積雪寒冷地での飼育試験として300匹が三日月湖に放流されたことから始まり、今年で40周年を迎えました。産学官連携しIoTやAIを駆使しながら養殖の研究を行い、チョウザメの町として、地場特産品の開発事業として取り組んでいます。

事業年度・事業費

令和6年度

46,222千円



松山湿原



■お問合せ先
美深町役場総務課企画グループ
☎ 01656-2-1617
↓ b-furusato@town.bifuka.hokkaido.jp

幌加内町

人口 1,288人 (2024.2)
主な観光ポイント
そばの作付面積・生産量日本一、朱鞠内湖、
日本最寒地記録マイナス41.2

日本一のそば加工施設づくり



そばの花



そば畑

売れるプライベートブランドづくり

幌加内町は、そばの作付面積・生産量ともに日本一の産地として、農業団体と連携協力し品質管理と共販体制の推進、栽培技術の向上に努めていますが、町内での加工製造・販売は、数量的にも少量にとどまっております。そばの加工製造技術を高め、販路を拡大する必要があります。そばの付加価値を高めるため、プライベートブランド商品の開発や営業力の強化、地元経済の発展のために応援いただける企業様のご連絡をお待ちしています。

プロジェクト

そば加工施設ブランド化事業

そば加工施設の建設

事業年度・事業費

令和6年度～

2,500,000千円



幌加内そば



■お問合せ先
幌加内町産業課
☎ 0165-35-2122
↓ soumu1@town.horokanai.hokkaido.jp

湧別町

人口 7,935人 (2024.2)
主な観光ポイント
かみゆうべつチューリップ公園

まちの人と農業を守り、未来へつなぐ



かみゆうべつチューリップ公園



牧草で伸び伸びと散歩する乳牛

ゆうべつの農業を新たに担う方を応援

湧別町は、まちの中央を流れる湧別川により肥沃な恵ある大地が広がり、平野部では畑作が、山間や河口域では乳牛飼育による酪農が盛んです。1次産業の就業人口が33%を占める農業と漁業のまちで、飼育されている牛の頭数は、人口の3倍以上にもなります。

少子高齢化や社会構造の変化に伴い、町内では農業を志す方の減少による後継者不足が問題になっており、後継者対策は喫緊の課題です。その課題を解決し、まちの農業を未来へつなぎ、日本の食卓を守るため、湧別町では新規就農者に対する手厚い支援を行い、農業の振興と経営の安定化を図っています。

プロジェクト

新規就農者の応援・早期経営安定化プロジェクト

農地・施設・設備・乳用牛等の取得・賃借費用の補助のほか、経営安定のための支援

事業年度・事業費

令和5年度～6年度

11,000千円



湧別町の様子



■お問合せ先
湧別町企画財政課
☎ 01586-2-5862
↓ kikaku@town.yubetsu.lg.jp

雄武町

人口 4,074人 (2024.2)
主な観光ポイント
ホテル日の出岬、日の出岬キャンプ場、道の駅展望台

雄武町の強みを活かした産業と雇用の場をつくる事業



ホテル日の出岬



道の駅展望台

自然資源を活かした魅力向上

日の出岬は、雄武町の観光シンボルである「日の出」を眺望できる観光ポイントです。

ホテルやキャンプ場などの施設もあり、雄武町を代表する観光スポットとなっています。

日の出岬をはじめとする観光施設等を整備することで、魅力向上を図り、観光集客力向上と関係人口の拡大を図ります。

プロジェクト

観光施設管理整備事業（日の出岬整備事業）

日の出岬をはじめとする観光施設の整備及び維持管理

事業年度・事業費

令和5年度～9年度

44,900千円



日の出岬



■お問合せ先
雄武町ふるさと納税推進室
☎ 0158-84-2121
↓ furusato@town.oumu.jg.jp

大空町

人口 6,606人 (2024.2)
主な観光ポイント
ひがしもこと芝桜公園、メルヘンの丘、
網走湖女満別湖畔

ひがしもこと芝桜公園リニューアルに向けた再整備事業



ひがしもこと芝桜公園



公園内の鳥居

干ばつに負けるな！！芝桜の活性化対策！！

ひがしもこと芝桜公園は、5月初めから5月末まで10haもの芝桜が咲き誇り、大空町の観光名所の一つとなっています。

近年、干ばつによる土壌の活力不足などにより公園の約3割の苗が枯れ、令和4年度は満開宣言ができませんでした。そのため、早急な対応が必要と考え、芝桜の活性化対策を進めます。また、今後の公園のあり方や方向性などについて基本構想を策定し、リニューアルに向けた再整備を進めます。本ふるさと納税は、芝桜の苗の購入やドローンによる液肥の散布、公園のリニューアルに向けた施設整備などに活用させていただきます。

プロジェクト

ひがしもこと芝桜公園リニューアルプロジェクト

芝桜の苗の購入やドローンによる液肥の散布、公園のリニューアルに向けた施設整備の実施

事業年度・事業費

令和5年度～
50,000千円



干ばつなどにより枯れた苗



■お問合せ先
まちづくり推進室地域戦略グループ
☎ 0152-74-2111
↓ senryaku-g@town.ozora.lg.jp

新冠町

人口 5,135人 (2024.2)
主な観光ポイント
レ・コード館、サラブレッド銀座、判官館
森林公園

産業振興の活性化によるまちづくり



主要産業（軽種馬）



主要産業（農業）

地域社会の礎となる人材の登用と育成

産業振興と雇用創出は、人口確保や地域活性化に不可欠のため、基幹産業の跡継ぎ確保と育成、企業誘致や企業支援による雇用の創出と人材の育成に取り組めます。

プロジェクト

産業振興の活性化によるまちづくり事業

農業担い手への支援強化／企業誘致・企業支援による雇用創出 など

事業年度・事業費

—
—



主要産業（ピーマン）



■お問合せ先
企画課まちづくりグループ企画係
☎ 0146-47-2498
↓ teijyu@niikappu.jp

音更町

人口 42,904人 (2024.2)
主な観光ポイント
十勝川温泉、2つの道の駅、白樺並木

地域経済を活性化させ、雇用の場をつくる事業



市街地の様子



広大な農村風景

地域経済の拡充

地域資源を活かした産業振興・企業誘致・起業支援などに関係機関が連携して取り組み、域内経済の基盤強化・活性化を図り、ワーク・ライフ・バランスを実現する安定した雇用の場をつくるとともに人材の育成・確保とその活躍を促進します。

プロジェクト

地域経済の拡充

農業経営の安定化／商業者の経営安定に向けた支援／農商工観連携の推進 など

事業年度・事業費

令和4年度～6年度

—



美人の湯 十勝川温泉



■お問合せ先
音更町企画財政部企画課
☎ 0155-42-2111
📧 kikakuka@town.otofuke.hokkaido.jp

大樹町

人口 5,318人 (2024.2)
主な観光ポイント
宇宙交流センターSORA、カムイコタン

大樹発！航空宇宙関連産業の集積による地域創生の推進



北海道スペースポート(HOSPO)将来イメージ



HOSPO全景図

北海道に「宇宙版シリコンバレー」を！

大樹町では、民間にひらかれた商業宇宙港「北海道スペースポート (HOSPO)」を運営し、航空宇宙産業の実験や企業誘致を進めています。

人工衛星用ロケット射場 (LC-1) やスペースプレーン (宇宙往還機) 実験機が離着陸可能な滑走路の整備を進めているほか、大樹町を拠点とする航空宇宙関連事業者への支援事業などを展開し、十勝を中心に多くの航空宇宙関連企業が集積する「宇宙版シリコンバレー」の形成を目指します。

プロジェクト

航空公園機能拡充事業・航空宇宙関連ビジネス推進事業

ロケット射場・滑走路・格納庫等の整備／宇宙関連事業者支援 など

事業年度・事業費

令和2年度～6年度

2,320,000千円



人工衛星用ロケット射場



■お問合せ先
大樹町企画商工課航空宇宙推進室
☎ 01558-6-2113
📧 uchu@town.taiki.hokkaido.jp

豊頃町

人口 2,922人 (2024.2)
主な観光ポイント
ハルニレの木、ジュエリーアイス、とよこ
ろ産業まつり

豊頃町まち・ひと・しごと創生推進事業



ハルニレの木



ジュエリーアイス

安定した雇用を創出します

豊頃町では、地域資源の発掘、研鑽による魅力ある地域産業づくりに取り組むとともに、新たな取り組みへの挑戦や起業しようとする事業者に対して支援を行います。

プロジェクト

豊かな資源を活かした「雇用創出」プロジェクト

豊頃町産業振興事業／互産互生（消）推進事業

事業年度・事業費

令和4年度～6年度



秋鮭即売会の様子



■お問合せ先
企画課町づくり推進係
☎ 015-574-2216
↓ kikaku@town.toyokoro.lg.jp

足寄町

人口 6,133人 (2024.2)
主な観光ポイント
オンネトー、里見が丘公園、足寄動物化石
博物館

定住促進、農山村地域の機能維持及び地域ネットワークの構築



オンネトーと雌阿寒岳



基幹産業の林業

新しい人の流れづくりに取り組みます

新しい人の流れをつくるため、空き家施策に取り組むとともに、企業等の移転や遠隔地勤務（テレワーク等）の環境整備を進めます。

さらに、学生や若者の町内への定着を図るため、学生の町内企業への就職促進や足寄高等学校の教育環境の充実を図り、地域産業を担う人材の育成に努めます。

また、市街地機能の充実、市街地と各集落間等のネットワークの充実を図り、人口減少社会における施設の効率的運用と長寿命化を進めます。

プロジェクト

定住促進、地域の機能維持及びネットワークの構築

移住施策の充実／住宅の新築・改修費等支援／交通ネットワークの充実 など

事業年度・事業費

令和2年度～6年度



足寄高校町内企業説明会



■お問合せ先
足寄町総務課企画財政室
☎ 0156-28-3851
↓ kikaku@town.ashoro.hokkaido.jp

別海町

人口 14,156人 (2024.2)
主な観光ポイント
野付半島、新酪農村展望台、旧奥行白駅

酪農支援プロジェクト



べつかい乳業興社



べつかいの牛乳屋さん三角パック

～乳製品を全国へ！～

別海町は日本一の生乳生産量を誇る酪農業とオホーツク海を中心とした漁業が盛んな町です。

しかし、コロナ禍により生乳の消費量が大きく落ち込み、酪農家は生乳の生産を抑制することを余儀なくされました。そこで、本町では酪農業の支援を行うため、町の第三セクターである「株式会社べつかい乳業興社」を再整備し、乳製品を安定供給する体制づくりを行い、地域課題の解決に向けて取り組んでいきます。

プロジェクト

酪農支援プロジェクト

乳製品加工施設を再整備し、安定供給の体制づくりを行う

事業年度・事業費

令和6年度

176,937千円



牧歌的風景



■お問合せ先
別海町総務部総合政策課
☎ 0153-74-9502
↓ sougouseisaku@betsukai.jp

羅臼町

人口 4,350人 (2024.2)
主な観光ポイント
羅臼町前浜での観光船、道の駅知床・らうす、羅臼湖

町民が「幸福」と感じられるまちづくりを目指す未来創造事業



町の風景



漁業

市街中心部の再活性化

新たな産業（水産業・観光業）の有り方を見つけ出し、課題解決に向かうための意見交換や課題点の抽出、未来の羅臼町を創造し実現できる可能性を探るため、先進地視察や自主研修、スキルアップ事業など、計画及び実行する事業に対し補助し、将来の人材育成を行います。

プロジェクト

未来創造事業

空き家や空き店舗を活用した市街地区中心部の再開発／「未来創造会議」の推進と実行

事業年度・事業費

令和6年度～未定



地域の活性化



■お問合せ先
羅臼町企画振興課
☎ 0153-87-2114
↓ kikaku.r@rausu-town.jp

岩見沢市

人口 75,280人 (2024.2)
主な観光ポイント
いわみざわ公園「バラ園」、メープルロッジ、北村温泉

新たな農業体制の構築による地域産業の持続性確保・農業所得向上



ロボットトラクターによる無人耕耘作業



農業ドローンによる農薬散布

スマート農業のさらなる発展

岩見沢市の基幹産業である「農業」の分野では、生産者の高齢化による作業負担の増加や担い手不足が深刻化しており、ロボット技術や5G等の未来技術を用いることで、作業の自動化や様々なデータの形式知化など、農業のスマート化に取り組んできました。

この「スマート農業」の次のステージとして、さらなる省力化の実現と収量・品質の向上を目指すとともに、生産コストの縮減や、マーケットを意識した高収益作物等の生産による農業所得の向上を図ることで、農業の持続性確保と、他産業への波及効果による地域経済の活性化に取り組んでいきます。

プロジェクト

農業DX推進事業

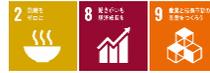
マーケティング分析による作物選定／新規作物導入に向けた農業基盤の改善 など

事業年度・事業費

令和4年度～
13,000千円



新たな農業体制の構築による
地域産業の持続性確保・農業所得向上



■お問合せ先
岩見沢市企画財政部企画室
☎ 0126-35-4834
📧 kikaku@city.iwamizawa.lg.jp

猿払村

人口 2,635人 (2024.2)
主な観光ポイント
さるぶつ公園、カムイト沼

IoTを活用し猿払に最適な施設園芸を！



令和2年9月末に完成した施設



令和2年10月からスタートした野菜栽培

猿払村から新たな産業を創造

猿払村では、進学で村を離れた若者が戻らず、移住希望者にも魅力的な就労先の選択肢が少ない状況にあります。将来的な企業誘致や新規就農者の受入れ増を目的に「新産業創造プロジェクト」を立ち上げ、IoTを活用した施設園芸の猿払モデルの構築に向けたイチゴや葉物野菜の栽培実証事業や、その収穫物を活用して村民の健康増進につなげる「食と健康のプロジェクト」などに取り組んでいます。

プロジェクト

新産業創造プロジェクト

イチゴや葉物野菜の栽培実証事業／食と健康のプロジェクト など

事業年度・事業費

令和2年度～7年度
104,000千円



旧小学校グラウンド跡地を利用



■お問合せ先
猿払村総務課
☎ 01635-2-3131
📧 furusato@vill.sarufutsu.lg.jp

上士幌町

人口 4,768人 (2024.2)
主な観光ポイント
ぬかびら源泉郷、タウシュベツ橋梁群

ICT先端技術を活用したスマートタウンの推進



定期運行を開始した自動運転バス デマンド交通 高齢者用UIの開発画面

Society5.0を見据えたまちづくり

上士幌町では、スマートタウンの推進に向けて「自動運転バスの定期運行・レベル4 走行実現」「高齢者向けオンデマンドバス予約アプリケーションの開発・実装」や「ドローンを活用した新スマート物流の構築」など、ICTを活用し地域住民の生活が持続的に向上することを目指しています。

また、町外からの利用者をターゲットに、企業や個人がワークスペースとして使用可能な「かみしほろシェアオフィス」も開設しています。

今後も、MaaSでの快適な移動等による生産性の向上やICTを活用した実証実験を進めていきます。

プロジェクト

スマートなまちづくりプロジェクト

上士幌型ヒト・モノMaaS導入／情報配信用タブレット導入／自動運転バス導入 など

事業年度・事業費

令和6年度
174,955千円



かみしほろシェアオフィス



■お問合せ先

上士幌町企画財政課ふるさと納税担当
☎ 01564-2-4290

↓ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp

更別村

人口 3,122人 (2024.2)
主な観光ポイント
農村公園大型遊具広場、すももの里、霧氷

更別村スーパービレッジ構想



スーパービレッジ構想



更別村空撮

100歳まで働けてしまう奇跡の農村

更別村は農業が基幹産業の村で、十勝平野の南部に位置しています。公共交通機関に関して、農村部の移動手段の確保が課題となっているため、自動運転レベル4の実装や無人ドローン配送、無人ロボット配送に取り組んでいます。畜産農家の長時間重労働や飼料の高騰に伴う経営悪化を防ぐため、自動農業対応作業機を開発したり、気象・農業ビッグデータから気象条件の変化に伴う生育予測を行う農業経営技術を構築しています。村民の生活を守るためデジタルの力を駆使し、課題解決に努めています。

プロジェクト

持続可能な農村エコシステム構築事業

自動運転レベル4の実装／無人ドローン配送／無人ロボット配送 など

事業年度・事業費

令和5年度～7年度
555,151千円



共助型地域交通物流システム



■お問合せ先

更別町企画政策課
☎ 0155-52-2114

↓ kikaku@sarabetsu.jp

羅臼町

人口 4,350人 (2024.2)
主な観光ポイント
羅臼町前浜での観光船、道の駅 知床らう
す、羅臼湖

住民サービスの向上を目指した自治体DXの推進



町の風景



公共交通への活用

デジタル技術の導入による業務改善

羅臼町では、全庁的にDXの検討が進んでおらず、専門知識を持つプロジェクトリーダーの確保が急務となっています。人材を確保しDX推進計画を策定するとともに、業務の改善を図り、より良い住民サービスを考える時間を創出しサービスの提供に取り組みます。

プロジェクト

住民サービスの向上を目指した自治体DXの推進事業

DX推進計画策定／デジタル交付金を活用したDXの推進／DXを担える人材育成

事業年度・事業費

令和6年度～未定



ドローンを活用した鳥獣対策



■お問合せ先
羅臼町企画振興課
☎ 0153-87-2114
↓ kikaku.r@rausu-town.jp

札幌市

人口 1,966,609人 (2024.2)
主な観光ポイント
大通公園、札幌テレビ塔

さっぽろ圏域を支える「ひと」の育成



魅力いっぱいの札幌圏



さっぽろ圏奨学金返還支援事業

『まちづくり』は『ひとづくり』

さっぽろ連携中枢都市圏では、「『まちづくり』は『ひとづくり』である」との考えのもと、圏域を支える人材を育成・確保し、持続可能な「まちづくり」につなげるため、若者の地元定着に向けた奨学金返還支援、子どもの文化芸術体験事業、周産期救急医療従事者スキル向上研修事業など、人材育成に関する幅広い取組を展開しています。

◆さっぽろ連携中枢都市圏

人口減少・少子高齢化社会にあっても圏域内の活力を維持し、魅力あるまちづくりを進めるために、札幌市と関係11市町村（小樽市・岩見沢市・江別市・千歳市・恵庭市・北広島市・石狩市・当別町・新篠津村・南幌町・長沼町）で形成。

プロジェクト

さっぽろ圏「ひとづくり」プロジェクト

地元就職者への奨学金返還支援／周産期救急医療従事者スキル向上研修／子どもの文化芸術体験事業 など

事業年度・事業費

令和2年度～



つながりが、新しい未来をつくる

さっぽろ
連携中枢都市圏

Sapporo • Otaru • Iwamizawa • Ebetsu • Chitose
• Etchu • Kaitumai • Ishikari
• Tebetsu • Shinshinotsu • Nanporo • Naganuma

さっぽろ連携中枢都市圏ロゴ



■お問合せ先

札幌市まちづくり政策局政策企画部
公民・広域連携推進室広域連携担当
☎ 011-211-2281
↓ ki.kouiki@city.sapporo.jp

釧路市

人口 157,288人 (2024.2)
主な観光ポイント
釧路湿原、和商市場

1人の雇用を生む100社の育成を目指して



k-Biz相談風景



k-Biz支援事例拡大サポート商品
食べる米ぬか「ぬかっご」

k-Bizによる売上UP策提案と実行支援

釧路市では、2018年に公設民営の無料経営相談所「釧路市ビジネスサポートセンター k-Biz」をオープン。相談企業が持つ真の価値や強みを見抜き、それを生かした具体的な売上UP策の提案と伴走型の実行支援を行うことで、「1人の雇用を生む100社の育成」を目指す取組を進めています。これまでの来所相談件数は10,000件にもものぼり、市内外から約1,100社が訪れる「行列のできる相談所」となっています。成功事例も多数生まれ、地域内外の事業者を結びつけるビジネスマッチングの実績もあります。企業版ふるさと納税等のご連絡をお待ちしております。

プロジェクト

k-Bizを核とした中小企業及び創業支援

経営相談を通じた売上UP策提案と伴走型実行支援／相談者同士のビジネスマッチング など

事業年度・事業費

令和6年度

51,482千円

KBIZ 釧路市ビジネス
サポートセンター



公式 HP



公式 Facebook



■お問合せ先

釧路市産業振興部商業労政課
☎ 0154-31-4611
↓ sho-shougyourousei@city.kushiro.lg.jp

赤平市

人口 8,687人 (2024.2)
主な観光ポイント
炭鉱ガイド施設、エルム高原

赤平市しごと・ひと・まち創生推進事



赤平小学校（空撮）



赤平小学校

安心して子どもを生み育てられる地域づくり

持続可能な地域社会として確立するため、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない施策を展開し、子どもを生み育てやすい環境をつくり、若者に住み続けていただき、将来のまちを築き上げていくことが重要です。子育て世代や若者の住環境整備を推進するほか、ひとり親世帯への支援をはじめ、子育て世帯が出産から子育てまで安心して暮らせるための経済的支援など、まち全体での応援体制を整備します。また、小中学校等と連携し義務教育期の基礎学力の向上を目指します。

プロジェクト

学力向上と教育環境の充実

ICT活用教育／公設学習塾／小中学校施設の充実

事業年度・事業費

令和2年度～6年度



授業風景



■お問合せ先
赤平市企画課
☎ 0125-32-1834
↓ kikaku@city.akabira.hokkaido.jp

滝川市

人口 37,148人 (2024.2)
主な観光ポイント
リバーサイド（石狩川沿い）エリア、菜の花畑、グライダー

国学院大学北海道短期大学の学生と一緒に応援してください！



国学院大学北海道短期大学部校舎



国学院大学北海道短期大学部学生

地域を支える人材の育成を目指して

国学院大学北海道短期大学部（以下、短大）は、昭和57年に開学して40年間、滝川市と共に歩んできた大切な学校です。短大では今日まで多くの学生が学び、約1万人の卒業生が全国で活躍されています。

滝川市では、学生が取り組む地域活動など、まちづくりへのチャレンジを応援し、地域を支える人材の育成を推進しています！

プロジェクト

国学院大学北海道短期大学部連携事業

学生による地域活動の支援など

事業年度・事業費

令和6年度



地域活動で活躍する学生



■お問合せ先
滝川市総務部企画課
☎ 0125-28-8004
↓ kikaku@city.takikawa.lg.jp

北斗市

人口 43,580人 (2024.2)
主な観光ポイント
きじひき高原、トラピスト修道院、北斗桜回廊

～若者の市内回帰の促進を～



新函館北斗駅



音楽のまち・ほくと

奨学金の償還支援で回帰を促進します！

北斗市では奨学金の返還について、市内への回帰を促進することを目的として卒業後又は償還中に北斗市に居住・移住し就職した場合に、償還の一部を補助する制度を実施しています。

本市においては人口減少問題を克服すること、企業においては人材不足解消といった重要課題の解決に繋がるものと考えています。

北斗市の未来を担う若者のため、ぜひ、本市の取組に対するご支援をよろしくお願いいたします。

プロジェクト

北斗市奨学金償還支援事業

教育／回帰

事業年度・事業費

令和3年度～



北斗市



■お問合せ先
北斗市総務部企画課
☎ 0138-73-3111
↓ kikaku@city.hokuto.hokkaido.jp

福島町

人口 3,440人 (2024.2)
主な観光ポイント
岩部クルーズ、青函トンネル記念館、横綱千代の山・千代の富士記念館

人材の育成により次世代のリーダー等を育成



キタムラサキウニの深浅移植事業



陸上養殖アワビ

人材育成により新たな未来を切り開く

福島町は北海道の南端、渡島半島の南西に位置しており、北海道と青森を結ぶ青函トンネル工事の北海道側の工事基地となりました。

豊かな地域資源を守り増やしながら、今ある産業をより安定したものにするため、地域力を高め、産業の軸に町内の経済を好循環させ、雇用の創出・拡大を目指します。

町づくりは、「人づくり」との視点から、次世代を担うリーダー等の育成を積極的に進めています。

プロジェクト

次世代を担うリーダー等育成プロジェクト

水産業担い手支援事業／チャレンジスピリット応援事業 など

事業年度・事業費

令和5年度～



■お問合せ先
福島町企画課
☎ 0139-47-3007
↓ kikaku@town.fukushima.hokkaido.jp

奥尻町

人口 2,257人 (2024.2)
主な観光ポイント
なべつる岩、球島山、神威脇温泉

奥尻町まち・ひと・しごと創生推進事業



スクーバダイビング授業



町おこしワークショップ

自然豊かで勉学に集中できる環境に離島留学

北海道奥尻高等学校では、平成29年度から離島留学を開始しています。潜水士の資格にも挑戦できる「スクーバダイビング授業」、今求められる地域創生を高校生の目線で生み出す「町おこしワークショップ」といった特色ある取り組みも実施しています。離島留学生を安定的に受け入れていくにあたり、島留学生受入推進事業、寄宿舎運営事業、スクーバダイビング事業等を推進しており、ICT教育の係る新規事業の実施も予定しております。

プロジェクト

北海道奥尻高等学校離島留学支援事業

島留学生受入推進事業／寄宿舎運営事業
／スクーバダイビング事業

事業年度・事業費

令和6年度

55,080千円



制服



■お問合せ先
奥尻町地域政策課政策推進係
☎ 01397-2-3402
↓ info@town.okushiri.lg.jp

岩内町

人口 11,080人 (2024.2)
主な観光ポイント
オートキャンプ場マリンビュー

岩内高等学校との連携事業



北海道岩内高等学校



「探究の時間」の課外活動の様子

岩内高等学校との連携・協働で地元へ愛着を

岩内町では、「働く場がない」「学べる場がない」という理由で、若者の地元離れが深刻化しています。こうした若者の地元定着を促進するため、岩内高等学校と連携し、地元へ愛着をもった若者の育成を目指します。

総合的な学習として実施される「探究の時間」に、地域おこし協力隊員を講師として派遣し、高校生が地域の魅力の発見や地域課題の解決を目指す機会を提供するほか、卒業後の進路について検討する場である、「地元企業研究会」へ参加し、「働く場」「学べる場」づくりを推進しています。

プロジェクト

岩内高等学校魅力化プロジェクト

企業と連携した進路の検討／総合学習での連携 など

事業年度・事業費

令和2年度



「地元企業研究会」の様子



■お問合せ先
岩内町経営企画部企画財政課
☎ 0135-62-1011
↓ kikaku@town.iwanai.lg.jp

上川町

人口 3,148人 (2024.2)
主な観光ポイント
層雲峡温泉、黒岳（大雪山国立公園）、大雪森のガーデン

風土水×地方×都市が育むWell-beingなライフスタイル推進プロジェクト



高校生と地域の大人の交流授業



ゼロカーボンをテーマにしたキャンプ

未来の上川人育成推進事業

個人と社会全体のウェルビーイングの実現を念頭に置きつつ、学習者主体の視点を強く意識した「人材育成」を展開する。そのためにICT機器を活用した個別最適な学びと協働的な学びを一体的に実施し、学習者の主体的・対話的で深い学びを実現する。本事業を通して多様で多彩な切れ目のない人材育成プログラムを展開する。

プロジェクト

上川高校魅力化プロジェクト

幼少期～大人まで連続した切れ目のない人材育成事業

事業年度・事業費

令和4年度～6年度

12,910千円



プログラミングを用いた授業の様子



■お問合せ先
地域魅力創造課地域魅力創造グループ
☎ 01658-2-4063
↓ kikaku@town.hokkaido-kamikawa.lg.jp

音威子府村

人口 636人 (2024.2)
主な観光ポイント
エコミュージアムおさしまセンター

村立おといねっふ美術工芸高校の魅力化



村立おといねっふ美術工芸高等学校



村立おといねっふ美術工芸高等学校（ロビー）

ものづくりを通じた人づくり

北海道で一番小さな村・音威子府村にある、北海道おといねっふ美術工芸高等学校は、美術・工芸を学ぶため全国各地から生徒が入学しています。

村立工芸科高校として、寮生活のもと「ものづくり」と向き合える環境、地域との交流を通じて、創造力豊かな「人づくり」を実践しています。

更なる高校魅力化を図るため、企業版ふるさと納税を通じた応援のほか、多種多様な経験を持つ人材や、企業ならではのノウハウの提供など、多角的な協力をいただける企業を募集しています。

プロジェクト

おといねっふ美術工芸高校振興事業ほか

木材購入／生徒作品展の開催／寮運営など

事業年度・事業費

105,720千円



ものづくりに取り組む生徒たち



■お問合せ先
音威子府村総務課地域振興室
☎ 01656-5-3311
↓ tiikishinkou@vill.otoineppu.hokkaido.jp

幌加内町

人口 1,288人 (2024.2)
主な観光ポイント
そばの作付面積・生産量日本一、朱鞠内湖、
日本最寒地記録マイナス41.2

日本一のそばの里で自分の魅力を再発見できる高校で学ぶ



農業科授業（農作物収穫）



地元スキー場で授業

子どもたちの未来をキラキラに輝かせる高校

高校2年生の1年間だけの留学制度「地域みらい留学365」と高校の3年間の留学制度「地域みらい留学」という、内閣府が実施する高校生の国内留学事業を活用し、主に本州からの留学生を受け入れています。この事業を通じ、留学した生徒の新たな学びの創出や地域の人達との交流を通じ、これまで体験したことのない地方の生活を体験し、卒業後も継続的に町との関係性を持ち続けてもらう（関係人口創出）事業です。国内留学生が質の高い学びと生活ができるよう活用させていただきます。ご支援のほどよろしくお願いいたします。

プロジェクト

幌加内高校魅力化支援事業

留学生をサポートするコーディネーター等の
人件費や留学生の募集経費や活動経費

事業年度・事業費

令和2年度～

100,000千円



地域みらい留学で自分を高めよう！



■お問合せ先
地域振興室
☎ 0165-35-2121
↓ soumu1@town.horokanai.hokkaido.jp

枝幸町

人口 7,290人 (2024.2)
主な観光ポイント
ウスタイベ千畳岩、三笠山展望閣

地域医療を支える人材育成・確保



枝幸町国民健康保険病院



枝幸町マスコットキャラクター「えさっしー」

医療体制維持に向けた支援制度

枝幸町では、医療技術者等が慢性的に不足しており、地域医療体制の維持は、重要かつ喫緊の課題となっています。地域医療や介護現場を支える人材の育成・確保に向けて、町内の事業所等への勤務を希望する医療従事者等に対する養成機関への修学の際の資金の貸付や、町内での就業を希望する方に対し、就業時の経済的援助を行う「医療技術者等修学資金貸付・就業時一時金貸付制度」などの支援を行っています。

プロジェクト

医療技術者の修学・就業支援

修学資金の貸付／就業時一時金貸付

事業年度・事業費

令和2年度～

各年度 12,000千円



枝幸町国民健康保険病院



■お問合せ先
枝幸町観光課
☎ 0163-62-4242
↓ kanko@esashi.jp

平取町

人口 4,521人 (2024.2)
主な観光ポイント
二風コタン、すずらん群生地、幌尻谷岳

子どもを産み育てやすく、豊かな心を育む環境をつくる事業



平取高校校舎と桜並木



平取高校部活動「とまとクラブ」 in 食の祭典びらとりととまと和牛まつり

子どもが健康で心豊かに育つよう取り組みます

子どもを産み育てやすい環境づくりのため、結婚、妊娠、出産、育児の切れ目のない支援と地域で子育てを支えるしくみを作るとともに、保育園、小中学校と地域、家庭、行政の連携により、子ども達が心身ともに健やかに心豊かに育つよう、効果的な取り組みを推進します。

プロジェクト

まちの資源を活かした特長的な「教育の場」を創る事業

平取高校魅力化プロジェクト・アイヌ文化教育推進事業 など

事業年度・事業費

未定



高校アイコン



■お問合せ先

平取町まちづくり課地域戦略係

☎ 01457-2-2222

📧 chiiki.senryaku@town.biratori.lg.jp

鹿追町

人口 5,036人 (2024.2)
主な観光ポイント
大雪国立公園「然別湖」、神田日勝記念美術館、とかち鹿追ジオパーク

「持続可能な社会の創り手」を育てるまちづくり



然別湖での探究学習



鹿追高2年 カナダ短期留学

小さな町から、大きな人材を育てていきます

鹿追町は新たな時代に向かって、「持続可能な社会の創り手」を育てています。予測困難で「ひとつの正解」を見出せない現代。

学校も地域社会も、今までと同じ方法では、複雑な社会問題を解決していく「人材」を生み出すことは難しいと考えています。

私たちは鹿追町を、そして世界を支える人材を育てていくことにチャレンジしています。

リンク：<https://shikaoui.ed.jp>

プロジェクト

北海道の小さな町で育む幼小中高一貫教育

探求教育、そしてバカロレア／一貫した教育とグローバル／誰一人取り残さない学校教育 など

事業年度・事業費

—

—



高校まで1人1台タブレット端末を整備



■お問合せ先

鹿追町総務課

☎ 0156-66-2311

📧 soumu@town.shikaoui.lg.jp

適正配置計画策定／地域から選ばれる魅力ある高校づくりへの支援

町内各学校の教育環境の充実



子ども達からまちづくりへの提案



ふるさと学習

子ども達の学習意欲の向上

羅白町では、幼小中高一貫教育やユネスコスクールなどを通じ郷土に誇りを持つ人材の育成を目指しています。IT機器の活用はもとよりICTによる地域間交流など、時代にあった教育に取り組んでおり、将来にわたり継続した支援を行っていきます。また、羅白高校においては入学者数が減少傾向であることから、「生徒や保護者から選ばれる魅力ある高校づくり」への支援を継続し高校の存続を目指します。



ダイビング実習



■お問合せ先
羅白町企画振興課
☎ 0153-87-2114
↓ kikaku.r@rausu-town.jp

道内市町村における協働の取組

地域課題の解決に向けた事業提案やタイアップ事業の実施、実証実験への参画など、行政と一緒に地域創生に取り組んでいただける企業の皆様を募集しています。ご支援をよろしくお願いいたします。



室蘭市



室蘭から新しいビジネスが始まる。 「サテライトオフィス室蘭」

ぜひ室蘭でのビジネス展開を！

室蘭市のサテライトオフィスは、「ビジネスチャンスを広げたい」「優秀な学生を採用したい」という室蘭市外の企業、個人事業主の皆様に利用いただける施設です。

室蘭市でのビジネス展開をお考えの際には、「サテライトオフィス室蘭」を検索してください。



サテライトオフィス室蘭の内観

サテライトオフィス室蘭

検索

- お問合せ先
公益財団法人室蘭テクノセンター
☎ 0143-45-1188
↓ techno@murotech.or.jp

苫小牧市



苫小牧での就職を促したい！

苫小牧市では、優秀な人材を探す企業や苫小牧市内で仕事を探す方向けに、苫小牧の企業と人を「しごと」でつなぐ、求人情報サイト「とまジョブ」を運営しています。

サイトの充実を図るため、掲載していただける企業様を募集しています。

ぜひ企業様からのご連絡お待ちしております。



市が運営する求人情報サイト（とまジョブ）

- お問合せ先
苫小牧市産業経済部工業・雇用振興課
☎ 0144-32-6436
↓ kogyo@city.tomakomai.hokkaido.jp

名寄市



名寄市のスポーツ競技施設を活用した スポーツツーリズム等の開発・販売

スポーツのまちづくり

名寄市では、スポーツを活用したまちづくりを推進しています。

国内最高峰の雪質といった自然環境や、スキー場・ジャンプ台といった競技施設を活用したスポーツツーリズム・アクティビティ商品の開発・販売に関してノウハウを提供いただける企業を募集しています。



クロスカントリースキー

■お問合せ先
名寄市総合政策部スポーツ・合宿推進課
☎ 01654-3-2111
✉ ny-sport@city.nayoro.lg.jp

北斗市



企業誘致に係る連携・支援

企業誘致活動のサポートをお願いします

区画整理事業により造成した新函館北斗駅前の商業地約5.3haのうち、現在約0.8haの活用が決まっていない状況です。

道南地区へ進出を検討する企業に対する立地環境や補助制度等についての情報提供をしていただける金融機関及びコンサルティング事業者を募集しています。



新函館北斗駅

■お問合せ先
北斗市経済部水産商工労働課商工労働係
☎ 0138-73-3111
✉ syoko@city.hokuto.hokkaido.jp

ニセコ町



SDGs～未来へ向けた持続可能なまちづくり～ 共感パートナーシッププロジェクト

ニセコ町のまちづくりに共感していただき、以下の取組と一緒に推進いただける企業を募集しています。

- ・新たな街区「NISEKO生活・モデル地区」での持続可能な開発
- ・CO₂の86%削減に向けた取組
- ・外国語教育、食育、スキーなどスポーツ教育の充実
- ・多様で多文化な交流イベントの開催 など



ニセコキッズパーク

■お問合せ先
ニセコ町企画環境課経営企画係
☎ 0136-44-2121
✉ kikaku@town.niseko.lg.jp

岩内町発祥の地域素材を活用した「イワナイブランド」の確立

地元産ホップ、アスパラガス、酒米の栽培・6次産業化

岩内町では、1871(イ・ワ・ナ・イ)年に道内で初めて発見されたビールの原料「ホップ」を始め、日本で初めて栽培に成功した「アスパラガス」など、岩内町に縁のある地元産品の栽培・活用し、新たな地域ブランドの確立を目指します。

6次産業化も視野に入れて、取組を進めてまいりますので、ご興味のある企業様は、是非ご連絡ください。



アスパラガス



アスパラガス発祥の地石碑



町内で栽培されたホップ



野生ホップ発見の地石碑

■お問合せ先
 岩内町経営企画部企画財政課地域創生係
 ☎ 0135-62-1011
 ↓ kikaku@town.iwanai.lg.jp

企業と連携して次世代型観光拠点を整備

「フルーツパークにき」を一新

仁木町は、果物を主とした観光のほか、近年はワイナリーも増加傾向にあり、これまで以上に魅力ある観光エリアとなる可能性があります。

今後、開通予定の国道5号、倶知安余市道路（仮称）仁木ICの降り口付近にある「フルーツパークにき」を一新し、次世代型観光拠点として整備していくため、ご協力いただける企業を募集しています。



農村公園フルーツパークにき

■お問合せ先
 仁木町産業課商工観光振興係
 ☎ 0135-32-3951
 ↓ syoukou02-niki@town.niki.hokkaido.jp

赤井川村での事業拠点の開設

集う、働く。北海道の山村で。

赤井川村では、キロロリゾートに近接し、小樽、余市、倶知安へのアクセスの好立地にある山村活性化支援センターを改修し、レンタルオフィスとコワーキングスペース機能を持つ「むらのあかり」を開設しました。当施設を拠点に起業支援、場所を選ばない働き方及びリゾート地に近いワーケーションフィールドとして、村内外の企業や個人でも利用可能な施設となっています。赤井川村で新たに起業や事業を行いたいと考えている方は是非ご活用ください。

<https://mura-no-akari.com>



山村活性化支援センター（むらのあかり）

■お問合せ先
 赤井川村総務課財務係
 ☎ 0135-34-6211
 ↓ zaimu1@akaigawa.com

タンチョウも住めるまちづくり

田園と自然の共生拠点整備構想

長沼町では、タンチョウの生息（繁殖）箇所である舞鶴遊水地内の野鳥観察小屋（鳥の駅マオイトー）やその近隣に位置する廃校跡地を活用し、田園と自然の共生拠点整備構想を検討しています。自然を守りながら、経済循環と多様な人の交流を生み出す拠点の活用方法にノウハウやアドバイスをいただける企業を募集しています。



舞鶴遊水池周辺に飛来するタンチョウ

- お問合せ先
長沼町政策推進課
☎ 0123-76-8016
↓ seisakusuishinka@ad.maoi-net.jp

東川オフィシャルパートナー制度

新たな社会的価値を創造していく取組

東川町とつながりのある企業とパートナーシップ関係を構築し地方や日本そして世界の未来を育む社会価値の共創を目指すものです。東川町のもつ「写真・家具」などの文化価値の創造事業や「介護福祉（外国人材）・オリンピック選手」などの人材育成事業など、共に取り組んでいただけるパートナーを募集しています。



東川オフィシャルパートナー企業との連携事業

- お問合せ先
東川町東川スタイル課
☎ 0166-82-2111
↓ brand@town.higashikawa.lg.jp

村立おといねっぷ美術工芸高校の魅力化

全国各地から生徒が集まる村立高校

美術工芸を学ぶために全国各地から生徒が入学する村立おといねっぷ美術工芸高校は、村の重要な魅力の一つです。生徒募集をはじめ、村立高校の魅力化のため、多種多様な経験を持つ人材や、企業ならではのノウハウの提供など、多角的な協力をいただける企業を募集しています。



村立おといねっぷ美術工芸高等学校（ロビー）

- お問合せ先
音威子府村総務課地域振興室
☎ 01656-5-3311
↓ tiikishinkou@vill.otoinepu.hokkaido.jp

小平町

おびら和牛の振興に向けて

スマート農業の実現にご協力ください

おびら和牛の振興のため、おびら和牛繁殖センターでは、AIやICTを活用した自動給餌機、哺乳ロボット等を導入し、クラウド牛群管理システム等の運用を開始しています。

スマート農業の実現に向けて、ノウハウを提供いただける企業を募集しています。



おびら和牛振興に向けて

- お問合せ先
小平町企画振興課
☎ 0164-56-2111
↓ hoshino@town.obira.lg.jp

枝幸町

労働力・人材不足の解消

機械化・技術革新へのご協力を

枝幸町では、過疎化、少子高齢化による漁業・酪農などの一次産業、水産加工や介護・福祉分野での労働力と人材不足が顕著となっています。

機械化や技術革新での課題解消に向けて協力いただける企業を募集しています。



ほたて漁船乗組員の水揚げ作業

- お問合せ先
枝幸町観光課
☎ 0163-62-4242
↓ kanko@esashi.jp

利尻富士町

新産業開拓プロジェクト

高齢者も移住者も一緒になって働ける場の創設

新たな産業を開拓し、退職後の方や高齢者が従事することで、生きがいの創出、稼げる化により地域の活性化を図るとともに、移住者も取り込みます。

日本名水百選の豊かな水と雄大な自然など、地域資源を活用した新たな産業の可能性について、調査・協力いただける企業を募集しています。



利尻富士町の漁業の様子

- お問合せ先
利尻富士町企画政策課
☎ 0163-82-2850
↓ kikaku@town.rishirifuji.hokkaido.jp

おとふけ町ビジネス創出拠点 「昭和商学校Palette」

自然豊かな環境でビジネス、起業準備等を！

廃校となった小学校をリノベーションし、令和5年4月から供用開始となった施設。サテライトオフィス、コワーキングスペース、シェアキッチンなどが整備され、町のビジネス創出拠点として民間事業者等と協力しながら様々な施策を展開しています。都会では決して味わうことのできない雄大な農村風景に囲まれた素敵な環境で、コワーキングや起業準備などにぜひご利用ください。



「町のビジネス創出拠点 昭和商学校palette」

■お問合せ先
音更町企画財政部まちづくり推進課
☎ 0155-42-2111
↓ machi-s@town.otofuke.hokkaido.jp

過疎地における地域内交通手段の確保

地域交通の確保に向けて

豊頃町では、高齢化の進展に伴い市街地と集落を結ぶ地域内交通手段の確保が課題となっています。市街地とJR駅を結ぶバスや町立医院を利用する方のためのバスを運行していますが、集落から市街地を結ぶ路線は整備されておらず、また広範囲に及ぶため行政だけでは対応が難しい状況にあります。これらの課題の解決に協働して取り組んでいただける企業を募集しています。



豊頃町コミュニティバス

■お問合せ先
豊頃町企画課まちづくり推進係
☎ 015-574-2216
↓ kikaku@toyokoro.jp

鶴居村/黒松内町/美瑛町/赤井川村/標津町/江差町/清里町/京極町/中札内村

日本で最も美しい村ビューティフルデー

自然、環境等を守り続ける活動

失ったら二度と取り戻せない「自然」、「環境」等を守り続ける活動の一つとして、各地域で一斉ゴミ拾い等のまちをキレイにする活動を行っています。実施期間は、10月4日の前後約1週間です。清掃ボランティアの方々へのお礼の品や、地域の清掃活動への参加などご協力いただける企業を募集します。企業の皆様からのご連絡をお待ちしております。



ビューティフルデーの様子

■お問合せ先
中札内村総務課企画財政グループ
☎ 0155-67-2491
↓ s-kikaku@vill.nakasatsunai.hokkaido.jp

道内市町村で利活用が可能な遊休施設

企業等の皆様が利活用可能な遊休公共施設を紹介しています。

サテライトオフィス設置、工場開設等、今後の道内での事業展開の際に、是非ご検討ください。企業の皆様からのご連絡をお待ちしております。

市町村所有施設

後志 蘭越町(1) 積丹町(2) 古平町(2)

日高 新冠町(1) 様似町(1) 新ひだか町(2)

上川 旭川市(3) 比布町(1) 上富良野町(2) 中富良野町(1)
南富良野町(1)

留萌 初山別村(1)

宗谷 稚内市(10)

十勝 士幌町(1) 上士幌町(1)

釧路 厚岸町(2) 標茶町(2)

道所有施設

空知 南幌町(1)

後志 小樽市(1)

渡島 函館市(1)

留萌 留萌市(1)

十勝 浦幌町(1)

蘭越町

おおゆぬま

大湯沼自然展示館



大湯沼自然展示館は、自然体験型施設として平成7年（1995年）から平成25年（2013年）まで使用されました。本施設は湯本温泉郷の雪秩父温泉の傍に所在しており、同所からの眺望も良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地
要相談

建物
要相談

概要

構造	鉄筋コンクリート造1階建
敷地面積	—
延床面積	校舎：406.80㎡
建築年	1995年
廃止年	2013年
利用条件等	要相談

所 蘭越町湯の里680番地15

自動車の場合
札幌市(中心部)から約2時間30分(約110km)

公共交通機関の場合(JR蘭越駅まで)
JR札幌駅から約3時間20分

■お問合せ先
蘭越町商工労働観光課
☎ 0136-55-6736
✉ kankou@town.rankoshi.lg.jp

積丹町

しゃこたん

積丹岬キャンプ場



積丹岬キャンプ場は、昭和63年（1988年）に完成し、平成18年（2006年）10月まで使用されていました。

本施設は、当町を代表する景勝地の1つ「島武意海岸」のすぐそばにあり、海岸までのアクセスも良好です。地域の活性化、発展に貢献できる事業等での活用を募集しております。

土地
賃貸借

建物
要相談

概要

構造	便所 2 棟、炊事場 4 基
敷地面積	緑地広場：5,600.00㎡ 駐車場：2,601.00㎡
延床面積	—
建築年	1988年
廃止年	2007年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業等であること

所 積丹町大字入舸町

自動車の場合
新千歳空港から約2時間30分（約140km）
札幌市（中心部）から約1時間35分（約95km）
※共に高速道路利用

■お問合せ先
積丹町企画課
☎ 0135-44-2114
↓ kikaku@town.shakotan.lg.jp

積丹町

いりか

旧入舸小学校



旧入舸小学校は、昭和59年（1984年）に完成し、平成22年（2010年）3月まで使用されました。

本施設は、当町を代表する景勝地の1つ「島武意海岸」を有する入舸町にあり、施設の立地も道道沿いに位置しており、交通のアクセスも良好です。地域の活性化、発展に貢献できる事業等での活用を募集しております。

土地
賃貸借

建物
要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造 体育館：鉄骨鉄筋コンクリート造
敷地面積	11,076.00㎡
延床面積	校舎：630.17㎡ 体育館：509.00㎡
建築年	1984年
廃止年	2010年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業等であること

所 積丹町大字入舸町158-2

自動車の場合
新千歳空港から約2時間20分（約140km）
札幌市（中心部）から約1時間35分（約95km）
※共に高速道路利用

■お問合せ先
積丹町企画課
☎ 0135-44-2114
↓ kikaku@town.shakotan.lg.jp

古平町

ふるびら

古平家族旅行村



古平家族旅行村は、昭和59年（1984年）に完成し、夏はキャンプ場、冬はスキー場としてアウトレジャーが楽しめる施設として営業しておりました。施設の老朽化等により、平成19年度にスキー場としての営業を休止し、令和2年度にはキャンプ場としての営業も休止しております。本施設は、札幌方面から古平町市街地への入口にあたる歌棄町にあり、海や山に近いことから雄大な自然を感じられる施設となっております。利活用については、地域の活性化、発展に貢献できる事業等での活用を募集しております。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	管理棟：コンクリート造、木造 センターハウス：鉄筋コンクリート造
敷地面積	255,108.35㎡
延床面積	管理棟：210.30㎡ センターハウス：303.57㎡
建築年	1984年
廃止年	2020年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業等であること

所 古平町大字歌棄町44番地1

自動車の場合
千歳空港から約2時間00分（約112km）
札幌市から約1時間30分（約72km）
※共に高速道路利用

■お問合せ先
古平町産業課商工観光係
☎ 0135-48-9840
✉ shoukankou@town.furubira.lg.jp

古平町

ふるびら

古平町営牧場



古平町営牧場は、平成5年（1993年）に完成し、令和元年（2019年）まで利用されました。本施設は、古平町を一望できる歌棄町にあり、後志自動車道及び札幌自動車道を利用して札幌中心部まで約2時間、新千歳空港まで約1時間30分となっています。利活用については、業種は指定せず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	管理用機械格納舎：軽量鉄骨造 衛生舎：鉄鋼造
敷地面積	113ha（山林）156ha（原野）
延床面積	60㎡（管理用機械格納舎）ほか
建築年	1987年
廃止年	2019年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業等であること

所 古平町大字歌棄町290番地ほか

自動車の場合
新千歳空港から約2時間（約112km）
札幌市（中心部）から約1時間30分（約72km）
※共に高速道路利用

■お問合せ先
古平町産業課農林係
☎ 0135-48-9840
✉ nourin.sct@town.furubira.lg.jp

新冠町

せつぷ

旧節婦小学校



旧節婦小学校は昭和53年（1978年）に完成し、平成20年（2008年）まで使用されました。本施設は、漁業を中心とした節婦地区にあり、高規格幹線道路日高自動車を利用して新千歳空港まで約1時間10分、札幌市までは約1時間50分となっています。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	鉄筋コンクリート造2階建 (一部木造)
敷地面積	1,606.09㎡
延床面積	1,524.00㎡
建築年	1978年
廃止年	2008年
利用条件等	地域住民の理解を得ることのできる事業実施及び経営を行うこと

所 新冠町字節婦町24-2

自動車の場合
新千歳空港から約1時間10分(約80km)
札幌市(中心部)から約1時間50分(約120km)
※共に高速道路利用

公共交通機関の場合(高速バス・JR東節婦駅まで)
JR札幌駅から約1時間50分

■お問合せ先
新冠町企画課まちづくりグループ企画係
☎ 0146-47-2498
✉ teijyu@niikappu.jp

様似町

旧ソビラ荘(特別養護老人ホーム)



特別養護老人ホーム「旧ソビラ荘」は平成2年（1990年）に完成し、平成29年（2017年）3月の施設移転に伴い、遊休化されました。本施設はJR北海道バス「様似築港前」停留所より徒歩4分（350m）の水産加工場等の多い港町地区にあります。利活用については、業種は指定せず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

無償貸与

建物

無償貸与

概要

構造	鉄筋コンクリート造平屋建 (車庫：鉄骨造平屋建)
敷地面積	13,017.01㎡
延床面積	2,227.75㎡
建築年	1990年(1999年増築)
廃止年	2017年
利用条件等	人口減少対策に繋がる、地方創生に資する事業であること

所 様似町港町

自動車の場合
新千歳空港から約2時間30分(約150km)
札幌市(中心部)から約3時間(約190km)
※共に高速道路利用
帯広市・帯広空港から約2時間30分(約150km)

■お問合せ先
様似町企画調整課企画係
☎ 0146-36-2122
✉ kikakutyouseika@samani.jp

新ひだか町

はるたち

旧春立小学校



旧春立小学校は、昭和50年（1975年）に完成し、平成24年（2012年）3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

無償譲渡

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄筋コンクリート造平屋建
敷地面積	21,446.00㎡
延床面積	校舎：1,748.00㎡ 体育館：585.00㎡
建築年	校舎：1975年 体育館：1976年
廃止年	2012年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること

所 新ひだか町静内春立349番1

自動車の場合
新千歳空港から約1時間40分(約100km)
札幌市(中心部)から約2時間20分(約150km)
※共に高速道路利用

■お問合せ先

新ひだか町総務部契約管財課管財係
☎ 0146-49-0276
✉ kanzai@town.shinhidaka.lg.jp

新ひだか町

けりまい

旧鳧舞小学校



旧鳧舞小学校は、平成4年（1992年）に完成し、平成23年3月まで使用されました。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

無償譲渡

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造平屋建
敷地面積	14,783.00㎡
延床面積	校舎：972.00㎡ 体育館：576.00㎡
建築年	校舎：1992年 体育館：1993年
廃止年	2011年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること

所 新ひだか町三石鳧舞120番

自動車の場合
新千歳空港から約2時間(約120km)
札幌市(中心部)から約2時間40分(約160km)
※共に高速道路利用

■お問合せ先

新ひだか町総務部契約管財課管財係
☎ 0146-49-0276
✉ kanzai@town.shinhidaka.lg.jp

旭川市

ちよがおか

旧千代ヶ岡小学校



旧千代ヶ岡小学校は、平成9年（1997年）に建築され、平成31年（2019年）まで使用されました。グラウンドを挟んで向かいに、旧千代ヶ岡中学校があります。利活用に関しては、一括売却を原則として、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	21,972.00㎡
延床面積	校舎：1,215.00㎡ 体育館：922.00㎡
建築年	1997年
廃止年	2019年
利用条件等	地域の活性化と振興発展に貢献できる事業であり、地域の要望を考慮した活用であること

- 所** 旭川市西神楽3線25号
- 自動車の場合**
旭川空港から約30分(約20km)
札幌市(中心部)から約2時間(約140km)
※高速道路利用
- 公共交通機関の場合**(JR旭川駅まで)
旭川空港から約35分(バス)
JR札幌駅から約1時間30分(特急利用)

■お問合せ先
旭川市教育委員会学校教育部教育政策課
☎ 0166-25-7534
📧 tekiseihaichi@city.asahikawa.lg.jp

旭川市

かむいこたん

旧神居古潭小中学校



旧神居古潭小中学校は、昭和51年（1976年）に建築され、平成19年（2007年）まで使用されました。利活用に関しては、一括売却を原則として、地域の活性化等に貢献できる事業を募集しています（市街化調整区域のため事業内容により都市計画法等の規制を受けることがありますので、関係法令を御確認ください）。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	10,840.00㎡
延床面積	校舎：1,240.00㎡ 体育館：724.00㎡
建築年	1976年
廃止年	2007年
利用条件等	地域の活性化と振興発展に貢献できる事業であり、地域の要望を考慮した活用であること

- 所** 旭川市神居町神居古潭
- 自動車の場合**
旭川空港から約30分(約20km)
札幌市(中心部)から約2時間(約140km)
※高速道路利用
- 公共交通機関の場合**
(JR旭川駅まで)
旭川空港から約35分(バス)
JR札幌駅から約1時間30分(特急利用)

■お問合せ先
旭川市教育委員会学校教育部教育政策課
☎ 0166-25-7534
📧 tekiseihaichi@city.asahikawa.lg.jp

旭川市

あさひかわ

旧旭川第2小学校



旧旭川第2小学校は、平成4年（1992年）に建築され、令和2年（2020年）まで使用されました。

利活用に関しては、一括売却を原則として、地域の活性化等に貢献できる事業を募集しています（市街化調整区域のため事業内容により都市計画法等の規制を受けることがありますので、関係法令を御確認ください）。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造平屋建
敷地面積	14398.00㎡
延床面積	校舎：1,800.00㎡ 体育館：698.00㎡
建築年	1992年
廃止年	2020年
利用条件等	地域の活性化と振興発展に貢献できる事業であり、地域の要望を考慮した活用であること

所 旭川市東旭川町旭正

自動車の場合
旭川空港から約30分(約20km)
札幌市(中心部)から約2時間(約140km)
※高速道路利用

公共交通機関の場合(JR旭川駅まで)
JR札幌駅から約1時間30分(特急利用)
旭川空港から約35分(バス)
札幌駅前から約2時間30分

■お問合せ先
旭川市教育委員会学校教育課
☎ 0166-25-7534
📧 tekiseihaichi@city.asahikawa.lg.jp

比布町

らんる

旧蘭留小学校



旧蘭留小学校は、昭和58年（1983年）に完成し、平成22年（2010年）3月まで使用されました。本施設は、町内の蘭留地区にあり、道央道比布北ICからも近く、旭川市中心部まで車で40分程度と都市にも近く自然豊かな場所に立地しています。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造平屋建
敷地面積	13,160.00㎡
延床面積	校舎及び給食施設：760.10㎡ 体育館：420.00㎡
建築年	1983年
廃止年	2010年
利用条件等	有償での賃貸借も可能ほか

所 比布町北9線14号

自動車の場合
旭川空港から約45分(約30km)
旭川中心部から約30分(約16km)

公共交通機関の場合(JR比布駅まで)
旭川空港から約1時間10分
※旭川空港～旭川駅間はバスのみ
JR旭川駅から約30分

■お問合せ先
比布町総務企画課財務係
☎ 0166-85-2111
📧 ichigo@town.pippu.hokkaido.jp

上富良野町

えほろ

旧江幌小学校



旧江幌小学校は、平成2年（1990年）に完成し、平成27年（2015年）3月末まで使用されました。

町の産業振興や雇用機会の拡大につながるよう、地域の活性化を前提とした事業の提案及び事業者を幅広く募集しています。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	鉄筋コンクリート造平屋建
敷地面積	22,400.00㎡
延床面積	校舎：563.54㎡ 体育館：476.75㎡
建築年	1990年
廃止年	2015年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること

 所 上富良野町西9線北29号

 自動車の場合
旭川空港から約30分(約23km)
旭川市中心部から約1時間(約40km)

 公共交通機関の場合(JR上富良野駅まで)
JR旭川駅から約50分

■お問合せ先
上富良野町総務課財政管理班
☎ 0167-45-6980
✉ zaisei@town.kamifurano.lg.jp

上富良野町

ひがしなか

旧東中中学校



旧東中中学校は、昭和52年（1977年）に完成し、平成26年（2014年）まで使用されました。

地域の活性化や、発展に貢献できる事業の提案及び、事業者を幅広く募集しています。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄筋コンクリート造平屋建
敷地面積	19,861.00㎡
延床面積	校舎：1,402.28㎡ 体育館：763.85㎡
建築年	校舎：1977年 体育館：1986年
廃止年	2014年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること

 所 上富良野町東8線北18号

 自動車の場合
旭川空港から約50分(約35km)
旭川市中心部から約1時間(約40km)

 公共交通機関の場合(JR上富良野駅まで)
JR旭川駅から約50分

■お問合せ先
上富良野町総務課財政管理班
☎ 0167-45-6980
✉ zaisei@town.kamifurano.lg.jp

中富良野町

みなみなか

旧南中小学校



旧南中小学校は、昭和61年（1986年）に完成し、平成29年（2017年）まで使用されました。体育館は地域の公民館として活用されています。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	鉄筋コンクリート造2階建
敷地面積	10,972.00㎡
延床面積	875.00㎡
建築年	1986年
廃止年	2017年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること

-  所 中富良野町鹿討農場
-  自動車の場合
旭川空港から約45分(約40km)
旭川市中心部から約1時間10分(約49km)
-  公共交通機関の場合(JR中富良野駅まで)
JR旭川駅から約1時間10分

- お問合せ先
中富良野町役場企画課未来戦略係
☎ 0167-44-2133
↓ kikaku@nakafurano.jp

南富良野町

きたおちあい

旧北落合小学校



旧北落合小学校は、農業地域にある小学校で、平成26年に町内の小学校と統合し廃止されました。一部2階もありますが、1階には3つの教室のほか、職員室や放送室などセパレートされた部屋が同じフロアにあり、また、体育館も併設しておりますので作業スペースや倉庫としての利用も可能です。光回線も利用可能となっておりますので、星空を見ながらリモートワークもできます。小学校には珍しいシャワールームも設置されております。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	鉄筋コンクリート造2階建
敷地面積	10,972.00㎡
延床面積	875.00㎡
建築年	1986年
廃止年	2017年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること

-  所 中富良野町鹿討農場
-  自動車の場合
旭川空港から約45分(約40km)
旭川市中心部から約1時間10分(約49km)
-  公共交通機関の場合(JR中富良野駅まで)
JR旭川駅から約1時間10分

- お問合せ先
中富良野町役場企画課未来戦略係
☎ 0167-44-2133
↓ kikaku@nakafurano.jp

初山別村

とよさき

旧豊岬小学校



旧豊岬小学校は、明治34年(1901年)に開校、平成22年(2010年)に閉校し、109年の歴史に幕を下ろしました。本施設は、村の観光拠点であるみさき台公園と同じ地区に位置することから、アクティビティーや公共交通手段の観点からも良い立地条件です。学校のグラウンドからは、日本海を臨むことができます。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	木造・鉄筋コンクリート
敷地面積	6,311.00㎡
延床面積	校舎：1,342.75㎡ 体育館：605.00㎡
建築年	1997年
廃止年	2010年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること

所 苫前郡初山別村字豊岬182-1

車 自動車の場合
旭川空港から約3時間10分(約160km)
旭川市中心部から約2時間50分(約145km)

■お問合せ先
初山別村企画振興室企画振興係
☎ 0164-67-2211
✉ soumu.kikaku@vill.shosanbetsu.lg.jp

稚内市

さらきとまない

旧更喜苦内小学校



旧更喜苦内小学校は、昭和55年(1980年)に完成し、平成14年(2002年)3月まで使用されました。本施設は、酪農業や畑作農業を中心とした勇知地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄骨その他造1階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	7,266.00㎡
延床面積	校舎：463.00㎡ 体育館：384.00㎡
建築年	校舎：1974年 体育館：1987年
廃止年	2002年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど

所 稚内市大字声問村字更喜苦内

車 自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間(約250km)
※高速道路利用

鉄 公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス)
JR旭川駅から約4時間(特急利用))

■お問合せ先
稚内市教育委員会教育部学校教育課
☎ 0162-23-6528
✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

まかりふち

旧曲渚小中学校



旧曲渚小中学校は、昭和53年（1978年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした沼川地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造3階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	11,272.00㎡
延床面積	校舎：1,719.00㎡ 体育館：459.00㎡
建築年	1978年
廃止年	2002年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど



稚内市大字声間村字曲渚



自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間(約250km)
※高速道路利用



公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス)
JR旭川駅から約4時間(特急利用)

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課
☎ 0162-23-6528
✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

かばおか

旧樺岡小中学校



旧樺岡小中学校は、昭和58年（1983年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした樺岡地区にあり、大規模草地やJR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	8,980.00㎡
延床面積	校舎：659.00㎡ 体育館：384.00㎡
建築年	校舎：1983年 体育館：1987年
廃止年	2002年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど



稚内市大字声間村字樺岡



自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間(約250km)
※高速道路利用



公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス)
JR旭川駅から約4時間(特急利用)

■お問合せ先

稚内市教育委員会教育部学校教育課
☎ 0162-23-6528
✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

とよべつ

旧豊別小中学校



旧豊別小中学校は、昭和55年（1980年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした豊別地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	7,625.00㎡
延床面積	校舎：663.00㎡ 体育館：360.00㎡
建築年	1980年
廃止年	2002年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど

所 稚内市大字声間村字下豊別

自動車 自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間(約250km)
※高速道路利用

公共交通機関 公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス)
JR旭川駅から約4時間(特急利用)

■お問合せ先
稚内市教育委員会教育部学校教育課
☎ 0162-23-6528
↓ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

かみしゅうとく

旧上修徳小中学校



旧上修徳小中学校は、昭和51年（1976年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした天興地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	鉄骨その他造2階建
敷地面積	22,374.00㎡
延床面積	校舎：767.00㎡ 体育館：384.00㎡
建築年	校舎：1976年 体育館：1988年
廃止年	2002年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど

所 稚内市大字声間村字天興

自動車 自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間(約250km)
※高速道路利用

公共交通機関 公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス)
JR旭川駅から約4時間(特急利用)

■お問合せ先
稚内市教育委員会教育部学校教育課
☎ 0162-23-6528
↓ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

ひがしうら

旧東浦小中学校



旧東浦小中学校は、昭和55年（1980年）に完成し、平成22年（2010年）3月まで使用されました。本施設は、水産業（主にホタテ業）を中心とした東浦地区にあり、日本最北端の地や宗谷丘陵も近く、JR稚内駅までのアクセスも良好です。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	6,443.00㎡
延床面積	校舎：655.00㎡ 体育館：384.00㎡
建築年	校舎：1980年 体育館：1986年
廃止年	2010年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど

所 稚内市大字宗谷村字東浦89

自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間(約250km)
※高速道路利用

公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス)
JR旭川駅から約4時間(特急利用)

■お問合せ先
稚内市教育委員会教育部学校教育課
☎ 0162-23-6528
↓ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

あけぼの

旧曙小学校



旧曙小学校は、昭和57年（1982年）に完成し、平成14年（2002年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした曙地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	7,173.00㎡
延床面積	校舎：329.00㎡ 体育館：280.00㎡
建築年	1982年
廃止年	2002年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど

所 稚内市大字声問村字曙

自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間(約250km)
※高速道路利用

公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス)
JR旭川駅から約4時間(特急利用)

■お問合せ先
稚内市教育委員会教育部学校教育課
☎ 0162-23-6528
↓ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

しもゆうち

旧下勇知小中学校



旧下勇知小中学校は、昭和58年（1983年）に完成し、平成25年（2013年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業や畑作農業を中心とした勇知地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	2,135.00㎡
延床面積	校舎：842.00㎡ 体育館：538.00㎡
建築年	1983年
廃止年	2013年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど

所 稚内市大字抜海村字下勇知

自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間(約250km)
※高速道路利用

公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス)
JR旭川駅から約4時間(特急利用)

■お問合せ先
稚内市教育委員会教育部学校教育課
☎ 0162-23-6528
✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

わっかないにし

旧稚内西小中学校



旧稚内西小中学校は、平成5年（1993年）に完成し、平成27年（2015年）3月まで使用されました。本施設は、水産業を中心とした西地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	18,429.00㎡
延床面積	校舎：2,567.00㎡ 体育館：817.00㎡
建築年	校舎：1993年 体育館：1979年
廃止年	2015年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど

所 稚内市西浜2丁目

自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間
※高速道路利用(約250km)

公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス)
JR旭川駅から約4時間(特急利用)

■お問合せ先
稚内市教育委員会教育部学校教育課
☎ 0162-23-6528
✉ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

稚内市

かみゆうち

旧上勇知小中学校



旧上勇知小中学校は、昭和54年（1979年）に完成し、平成28年（2016年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業や畑作農業を中心とした勇知地区にあり、JR稚内駅までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造3階建 体育館：鉄骨その他造2階建
敷地面積	12,197.00㎡
延床面積	校舎：1,653.00㎡ 体育館：458.00㎡
建築年	1979年
廃止年	2016年
利用条件等	地域(旧校区)の理解を得られる利用方法であることなど

所 稚内市大字抜海村字上勇知

自動車の場合
旭川市(中心部)から約4時間(約250km)
※高速道路利用

公共交通機関の場合(JR稚内駅まで)
稚内空港から約30分(連絡バス)
JR旭川駅から約4時間(特急利用)

■お問合せ先
稚内市教育委員会教育部学校教育課
☎ 0162-23-6528
↓ gakkou@city.wakkanai.lg.jp

士幌町

にしかみおとふけ

旧西上音更小学校



旧西上音更小学校は平屋建てで、平成7年（1995年）に完成し、令和元年（2019年）3月まで使用された施設です。校舎は農村地区にあり帯広市から車で約1時間、帯広空港まで約1時間30分とアクセス良好です。新たな雇用や改修に使える「最大500万円」補助制度があり、企業や個人のビジネス利活用者を募集しています。

土地

賃貸借

建物

賃貸借

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造平屋建 体育館：鉄骨その他造平屋建
敷地面積	19,600.00㎡
延床面積	校舎：1,150.00㎡ 体育館：585.00㎡
建築年	1995年
廃止年	2019年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であること

所 士幌町字上音更西3線229番地

自動車の場合
とち帯広空港から約1時間20分(60km)
札幌市から約3時間30分(210km)
※高速道路利用

公共交通機関の場合(JR帯広駅まで)
JR札幌駅から約2時間20分(特急利用)
JR帯広駅からバスで約60分

■お問合せ先
士幌町産業振興課商工観光労働係
☎ 01564-5-5213
↓ sansingroup1@shihoro.jp

上士幌町

ほくもん

旧北門小学校



旧北門小学校周辺は平坦な畑地に囲まれており、広大な十勝の景観を一望することができます。

また、国道241号に隣接しているため、場所も分かりやすく交通の利便性も高い立地条件となっています。住民の皆様との交流や連携を大切に、地域と共生いただける事業者を募集しております。

土地

賃貸借

建物

賃貸借

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造平屋建 体育館：鉄骨その他平屋建 住宅：木造平屋建
敷地面積	10,000.00㎡
延床面積	校舎：826.00㎡ 体育館：627.00㎡ 教職員住宅：50㎡～81㎡(1戸あたり)
建築年	校舎：1986年 体育館：1992年 教職員住宅：1980～1994年
廃止年	2016年
利用条件等	要相談

所 上士幌町字居辺東15線291番地

自動車の場合
帯広空港から約1時間30分(約75km)
札幌市(中心部)から約4時間(約220km)
※共に高速道路利用

■お問合せ先
上士幌町企画財政課
☎ 01564-2-4290
✉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp

厚岸町

かみおぼろ

旧上尾幌小中学校



旧上尾幌小中学校は、平成10年(1998年)に完成し、平成21年(2009年)3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした上尾幌地区にあり、釧路市までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

要相談

建物

要相談

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨その他2階建
敷地面積	25.893.00㎡
延床面積	校舎：2,076.00㎡ 体育館：772.00㎡
建築年	小学校校舎：1998年 中学校校舎：1978年 体育館：1979年
廃止年	2009年
利用条件等	地域の活性化や福祉の向上、雇用の創出、産業の振興等につながる事業であること

所 厚岸町上尾幌6番地

自動車を利用した場合
釧路空港から約1時間20分(約70km)
釧路市(中心部)から約1時間10分(約50km)

公共交通機関の場合(JR厚岸駅まで)
釧路空港から約2時間30分(バス) JR釧路駅から約1時間

■お問合せ先
厚岸町総合政策課政策調整係
☎ 0153-52-3131
✉ seisaku@akkeshi-town.jp

厚岸町

とこたん

旧床潭小学校



旧床潭小学校は、平成11年（1999年）に完成し、平成29年（2017年）3月まで使用されました。本施設は、沿岸漁業を中心とした床潭地区にあり、釧路市までのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地
要相談

建物
要相談

概要

構造	鉄筋コンクリート造2階建
敷地面積	18,070.00㎡
延床面積	校舎：1,732.00㎡ 体育館：664.00㎡
建築年	1999年
廃止年	2017年
利用条件等	地域の活性化や福祉の向上、雇用の創出、産業の振興等につながる事業であること

 厚岸町床潭128番地

 自動車の場合
釧路空港から約1時間20分(約70km)
釧路市(中心部)から約1時間10分(約50km)

 公共交通機関の場合(JR厚岸駅まで)
釧路空港から約2時間30分(バス)
JR釧路駅から約1時間

■お問合せ先
厚岸町総合政策課政策調整係
☎ 0153-52-3131
✉ seisaku@akkeshi-town.jp

標茶町

くちょう

旧久著呂中央小中学校



旧久著呂中央小中学校は、平成8年（1996年）に完成し、平成27年（2015年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした久著呂地区にあり、国道274号線が隣接し、たんちょう釧路空港へのアクセスも良好です。

利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地
売却・賃貸借

建物
売却・賃貸借

概要

構造	木造
敷地面積	24,000.00㎡
延床面積	校舎：1,752.00㎡ 体育館：684.00㎡
建築年	1996年
廃止年	2015年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であることなど

 標茶町字クチョロ原野256番地

 自動車の場合
釧路空港から約1時間30分(約70km)
釧路市(中心部)から約50分(約50km)
標茶市街地から約25分

 公共交通機関の場合(JR標茶駅まで)
JR釧路駅から約50分

■お問合せ先
標茶町企画財政課企画調整係
☎ 015-48-5-2111
✉ k_kikaku@town.shibeche.lg.jp

標茶町

いやさか

旧弥栄小学校



旧弥栄小学校は、昭和57年（1982年）に完成し、平成19年（2007年）3月まで使用されました。本施設は、酪農業を中心とした弥栄地区にあり、道道中標津標茶線沿いで、中標津空港までのアクセスも良好です。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地
売却・賃貸借

建物
売却・賃貸借

概要

構造	鉄筋コンクリート造
敷地面積	25,348.00㎡
延床面積	校舎：730.00㎡ 体育館：409.00㎡
建築年	1982年
廃止年	2007年
利用条件等	地域の活性化、発展に貢献できる事業であることなど

所 標茶町字上多和原野基線50-3、50-6番地

自動車の場合
釧路空港から約1時間30分(約70km)
釧路市(中心部)から約50分(約50km)
標茶市街地から約11分

公共交通機関の場合(JR標茶駅まで)
JR釧路駅から約50分

■お問合せ先
標茶町企画財政課企画調整係
☎ 015-485-2111
✉ k_kikaku@town.shibecha.lg.jp

北海道（南幌町）

なんぼろ

旧北海道南幌高等学校



旧北海道南幌高等学校は、平成3年（1991年）3月に建築され、令和5年（2023年）3月まで使用されました。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地
売却

建物
売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造2階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	58,065.78㎡
延床面積	校舎：2,931.71㎡ 体育館：966.48㎡
建築年	1991年
廃止年	2023年
利用条件等	有償での賃貸借も可能

所 空知郡南幌町元町3丁目889番3
(住居表示：空知郡南幌町元町3丁目2番1号)

自動車の場合
札幌市(中心部)から40分(約30km)

公共交通機関の場合
<バス>
札幌駅前ターミナル→町立病院前(約40分) 施設まで約200m
江別駅前→南幌中学校前(約25分) 施設まで約100m
北広島駅前→南幌町立病院前(約20分) 施設まで約200m

■お問合せ先
北海道教育庁総務政策局施設課
☎ 011-204-5709
✉ kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp

北海道（小樽市）

おたるろう

旧北海道小樽聾学校



旧北海道小樽聾学校は、平成元年（1989年）に建築され、平成26年（2014年）3月まで使用されました。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造 2階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	16,169.00㎡
延床面積	校舎：2,198.00㎡ 体育館：505.00㎡
建築年	1989年
廃止年	2014年
利用条件等	有償での賃貸借も可能

所 小樽市入船町4丁目31-1
(住居表示:小樽市入船4丁目28番38号)

自動車の場合
札幌市(中心部)から約40分(約40km)
※高速道路利用

公共交通機関の場合
<JR>
札幌駅→小樽駅(46分) 施設まで約2.6km
小樽駅→南小樽駅(3分) 施設まで約1.7km

■お問合せ先
北海道教育庁総務政策局施設課
☎ 011-204-5709
↓ kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp

北海道（函館市）

と い

旧北海道戸井高等学校



旧北海道戸井高等学校は、平成7年（1995年）3月に建築され、平成27年（2015年）3月まで使用されました。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

売却

建物

売却

概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造 3階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	32,524.84㎡
延床面積	校舎：3,810.00㎡ 体育館：963.00㎡
建築年	1995年
廃止年	2015年
利用条件等	有償での賃貸借も可能

所 函館市浜町717-1(校舎)、861-2(グラウンド)

自動車の場合
函館空港から約30分(約23km)
函館駅から約40分(約28km)

公共交通機関の場合
<函館バス>
函館駅前→浜町(約1時間10分) 施設まで約0.8km

■お問合せ先
北海道教育庁総務政策局施設課
☎ 011-204-5709
↓ kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp

北海道（留萌市）

るもい

旧北海道留萌高等学校



旧北海道留萌高等学校は、平成12年（2000年）3月に建築され、平成30年（2018年）3月まで使用されました。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集します。

土地

売却

建物

売却

■概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造4階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	52,661.00㎡
延床面積	校舎：6,324.00㎡ 体育館：966.00㎡
建築年	2000年
廃止年	2018年
利用条件等	有償での賃貸借も可能

- 所** 留萌市東雲町1丁目84
- 自動車の場合**
札幌市(中心部)から約2時間(約150km)
※高速道路利用
- 公共交通機関の場合**
<高速バス>
札幌駅前ターミナル→元川町(約2時間15分) 施設まで約1km
<JR>
札幌駅→留萌駅(約2時間30分) 施設まで約2.4km

- お問合せ先
北海道教育庁総務政策局施設課
☎ 011-204-5709
↓ kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp

北海道（浦幌町）

うらほろ

旧北海道浦幌高等学校



旧北海道浦幌高等学校は、昭和59年（1984年）に建築され、平成22年（2010年）3月まで使用されました。隣接しているグラウンド（約30,000㎡）は、民間企業がメガソーラー用地として活用中です。利活用に関しては、業種の指定はせず、幅広い業種での利活用を募集しています。

土地

売却

建物

売却

■概要

構造	校舎：鉄筋コンクリート造3階建 体育館：鉄骨造
敷地面積	13,834.00㎡
延床面積	校舎：3,912.00㎡ 体育館：1,059.00㎡
建築年	1984年
廃止年	2010年
利用条件等	有償での賃貸借も可能

- 所** 浦幌町字帯富150-2
- 自動車の場合**
帯広空港から約1時間(約50km)
帯広市(中心部)から約1時間(約50km)
- 公共交通機関の場合**
<JR>
帯広駅→浦幌駅(50分 特急利用) 施設まで約2.1km

- お問合せ先
北海道教育庁総務政策局施設課
☎ 011-204-5709
↓ kyoiku.gakoshi1@pref.hokkaido.lg.jp



エールを北のチカラに。

ほっかいどう

応援団会議

企業の皆様と共に取り組むプロジェクト(令和6(2024)年5月)

発行 北海道
編集 北海道総合政策部官民連携推進局
住所 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
電話 011-204-5158